PC CARD Cellular
Data Adapter Cable
PCDC-96P 取扱説明書

74127-02

【本書での呼び方】

呼び方	意味
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating Systemおよび Microsoft® Windows® 98 Operating System Second Editionの総称
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows Me/98/95	Windows Me、Windows 98およびWindows 95の総称
Windows 98/95	Windows 98およびWindows 95の総称
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Operating System Version 4.0 Workstation
Windows CE	Microsoft® Windows® CE Operating System
Windows	Windows 2000, Windows Me, Windows 98, Windows 95, Windows NT 4.0, Windows CEの総称

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各１部だけ複写できるものとします。
7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
8) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に１台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
13) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
14) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft, Windows, Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- Apple, Macintosh, Power Macintosh, Mac, Mac OS は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

もくじ

もくじ ····· i
本製品を使用すれば ····· vi
本書の見方 ····· vii
本製品のご紹介 ····· viii
注意していただきたいこと ····· x

1 ご使用になる前に

箱を開けたら ····· 2
対応している機種と OS ····· 4

2 Windows 2000 で使うには

準備編

本製品で通信できるまでの流れ ····· 8
ステップ1 インストールする ····· 9
ステップ2 インストールは正常ですか？ ····· 20
ステップ3 端末速度を設定する ····· 22
ステップ4 発信情報を設定する ····· 26
ステップ5 パソコンから取り出す場合 ····· 30
ステップ6 再度取り付ける場合 ····· 32

インターネット接続編

Windows 2000 でインターネットに接続するには ····· 33
ステップ1 接続前の準備 ····· 34
ステップ2 接続に必要なソフトウェア ····· 35
ステップ3 インターネットを楽しもう ····· 50

3 Windows Me で使うには

準備編

本製品で通信できるまでの流れ ····· 58
ステップ1 インストールする ····· 59
ステップ2 インストールは正常ですか？ ····· 67
ステップ3 端末速度を設定する ····· 69
ステップ4 発信情報を設定する ····· 73
ステップ5 パソコンから取り出す場合 ····· 77
ステップ6 再度取り付ける場合 ····· 79

インターネット接続編

Windows Me でインターネットに接続するには ····· 80
ステップ1 接続前の準備 ····· 81
ステップ2 接続に必要なソフトウェア ····· 82
ステップ3 インターネットを楽しもう ····· 93

4 Windows 98/95 で使うには

準備編

本製品で通信できるまでの流れ ····· 100
ステップ1 事前の準備 ····· 101
ステップ2 インストールする ····· 104
ステップ3 インストールは正常ですか？ ····· 123
ステップ4 端末速度を設定する ····· 125
ステップ5 発信情報を設定する ····· 129
ステップ6 パソコンから取り出す場合 ····· 133
ステップ7 再度取り付ける場合 ····· 135

インターネット接続編

Windows 98/95 でインターネットに接続するには ···· 136
ステップ1 接続前の準備 ····· 137
ステップ2 接続に必要なソフトウェア ····· 138
ステップ3 インターネットを楽しもう ····· 150

添付ソフト編
「回線モニター」を使う（*Windows 98/95 のみ対応*）・・・・・155

5 Windows NT 4.0 で使うには

準備編
本製品で通信できるまでの流れ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・162
ステップ1 インストールする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・163
ステップ2 通信するための設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・173

インターネット接続編
Windows NT 4.0 でインターネットに接続するには・・・・176
ステップ1 接続前の準備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・177
ステップ2 接続に必要なソフトウェア ・・・・・・・・・・・・・・178
ステップ3 インターネットを楽しもう ・・・・・・・・・・・・・・・187

6 Windows CE で使うには

準備編
ハンドヘルド PC に取り付ける・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・192

インターネット接続編
Windows CE でインターネットに接続するには ・・・・・・・194
ステップ1 接続前の準備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・195
ステップ2 接続に必要なソフトウェア ・・・・・・・・・・・・・・196
ステップ3 インターネットを楽しもう ・・・・・・・・・・・・・・・199

7 Mac OS で使うには

準備編

本製品で通信できるまでの流れ ……204
ステップ1 パソコンに取り付ける ……205
ステップ2 設定ファイルをコピーする ……208

インターネット接続編

Mac OS でインターネットに接続するには ……210
ステップ1 接続前の準備 ……211
ステップ2 接続するための手順 ……213
[インターネット接続アシスタント]での接続 ……215
[PPP ダイヤラ]での接続 ……222

8 漢字 Talk で使うには

準備編

パソコンに取り付ける ……230

インターネット接続編

漢字 Talk でインターネットに接続するには ……233
ステップ1 接続前の準備 ……234
ステップ2 接続するための手順 ……236
[ConfigPPP]での接続 ……237
[FreePPP]での接続 ……241

付録1　困ったときには ・・・・・・・ 247

付録2　サービス品について ・・ 270

付録3　インストールしたソフトを削除するには・・・・・・ 273

付録4　仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 280

付録5　用語解説 ・・・・・・・・・・・・ 282

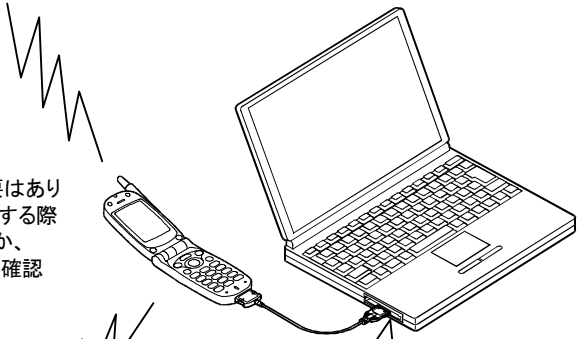
PLANT コールセンターへのお問い合わせ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・285
サービス品に関するお問い合わせ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・286
サポートソフトのバージョンアップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・287
ユーザー登録 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

本製品を使用すれば

本製品を使用すれば、パソコン上から、携帯電話を利用してインターネット接続や FAX の送受信ができます。

契約した
インターネットプロバイダ

※インターネットに接続するには、事前にインターネットプロバイダと契約しておく必要があります。
パケット通信対応携帯電話でパケット通信を行うには、さらにキャリアメーカーとパケット通信の契約も必要です。



※携帯電話を操作する必要はありませんが、本製品を使用する際には、電源が入っているか、電波の状態が良好か、を確認しておいてください。

PCカードスロットに
挿入した本製品

FAXの送受信

※添付のFAXソフト「まいと～くFAX 2001 Lite」をご利用ください。
「まいと～くFAX 2001 Lite」の対応OS:
Windows 2000、Windows 98/95、Windows NT 4.0

参考

「キャリア」とは

→「コモンキャリア」と呼ばれる自前の通信設備(特に回線網)を所有している通信事業者(第一種電気通信事業者)のこと。日本では NTT、KDDI、日本テレコムなどがこれにあたります。

本書の見方

本書は以下の流れに沿って、必要な個所をお読みください。

【1　ご使用になる前に】
（1～5ページ）

本製品の箱の中に入っているものや
本製品が対応しているパソコンや携帯電話
などについて説明します。

以下のお使いのOSの個所をお読みください。

※以下の各OSの個所では、【準備編】と【インターネット接続編】があります。
【準備編】は必ずお読みください。
インターネットに接続する場合は、さらに【インターネット接続編】もお読みください。

Windows 2000	【2　Windows 2000で使うには】(7～56ページ)
Windows Me	【3　Windows Meで使うには】(57～97ページ)
Windows 98/95	【4　Windows 98/95で使うには】(99～160ページ)
Windows NT 4.0	【5　Windows NT 4.0で使うには】(161～189ページ)
Windows CE	【6　Windows CEで使うには】(191～201ページ)
Mac OS	【7　Mac OSで使うには】(203～227ページ)
漢字 Talk	【8　漢字Talkで使うには】(229～246ページ)

本製品のご紹介

● PCカードの世界標準PC CARD規格に準拠

● PDC方式デジタル携帯電話で高速モバイル通信対応

最高28.8kbpsのパケット通信※1、または最高9600bpsのASYNC/FAX通信※2が可能。データ/FAXで 9600bps（class1 ECM有）でのモバイル通信を実現。

また、パケット通信は、時間や距離に関係なく、送受信したデータ量による従量課金なので、繋ぎっぱなしでも通信料金が課金されません。

※1 キャリアメーカーのパケット通信サービス対応機器を使って、最大通信速度28.8kbpsと9600bpsの2種類のパケット通信が可能です。2種類ともに、別途お申し込みおよび月額使用料が必要です。
「ドッチーモ」(NTTドコモ)では携帯モードによる9600bpsのPDC通信のみご利用いただけます。

※2 Macintoshでは、FAX通信には対応しておりません。

参考

「PDC 方式の携帯電話」とは

→PDC 方式とは日本国内におけるデジタル携帯電話の通信方式です。
携帯電話の通信方式には、この他に、cdmaOne 方式やアナログ方式があります。
本製品は、cdmaOne 方式やアナログ方式ではご使用いただけません。
お使いの携帯電話がどの方式かは携帯電話の取扱説明書などをご参照ください。

参考

「ASYNC 通信」→アナログモデムと同じ通信方式です。
「パケット通信」→データを小さなまとまり(パケット)に分割して、一つ一つ送受信する通信方式です。

参考

「キャリア」とは

→「コモンキャリア」と呼ばれる自前の通信設備(特に回線網)を所有している通信事業者(第一種電気通信事業者)のこと。日本では NTT、KDDI、日本テレコムなどがこれにあたります。

● モバイルに最適な低消費電流設計

パソコン本体のバッテリに負荷をかけない低消費電流設計です。

● 通信を楽しくするソフトウェアを多数添付

- □ 通信中の状況が一目でわかる「回線モニター」
  （Windows 98、Windows 95用）
  通信速度はもちろん、今月累計時間など、細かい情報が一目で確認できるソフトウェアです。インターネットのお供に。
- □ ベストセラーFAXソフト「まいと～くFAX 2001 Lite」
  （Windows 2000、Windows 98、Windows 95、Windows NT 4.0用）
  パソコン上で作成した文書やイラストを印刷しなくても、ダイレクト＆簡単に相手ファックスに送信できます。
- □ 「10円メールマスター」
  （Windows 98、Windows 95用）
  NTTドコモの携帯電話と接続し、パソコン上から10円メールを利用するためのソフトウェアです。
- □ Lotus NOTESのモデム設定ファイル
  Lotus NOTESでモバイル通信を行うための設定ファイルを添付。指定フォルダにコピーし、簡単な設定を行うだけです。

・「10 円メールマスター」を使用するには、マスターネット（㈱ゼロ）との契約が必要です。
・本製品は、Macintosh 用としてモデム設定ファイル（Apple Remote Access CCL ファイル）およびドライバソフトのみ添付しております。通信ソフトウェアなどのアプリケーションは添付しておりませんので、別途お買い求めください。
・本製品は発信者番号通知が「有効」となっております。「禁止」に設定する場合※は、モデムの追加設定に[AT^S0] (0=ゼロ)を追加してください。
※「10 円メールマスター」や mopera などを使用する場合は、「禁止」にしないでください。

● ATコマンド準拠

Hayes社のATコマンドを採用。市販の通信ソフトを利用できます。

本書には AT コマンドの使い方については記述しておりません。AT コマンドに関しては、「PCDC-96P サポートソフト」ディスク内の manual フォルダ内の Readme.txt ファイルを参照してください。

注意していただきたいこと

本製品は非常に精密にできておりますので、お取り扱いに際しては、本製品に同梱されている小冊子「安全で快適にお使いいただくために」を必ずお読みください。
ここでは、その小冊子の記載以外の注意点について説明します。

1）以下の注意事項を守ってお使いください。

●本製品は次のような場所で使用しないでください。
・腐食性ガス（Cl_2, H_2S, NH_3, SO_2, NO_x など）の多い場所
・静電気の影響が強い場所
・「安全で快適にお使いいただくために」に記載されている使用禁止場所

●携帯電話の電波が弱い地域では正常にデータ通信できない場合があります。接続するときは電波の強い状態を確認してから行ってください。
また、電波の強い状態でも、環境により通信が不安定になったり切断される場合があります。そのような場合には、再度接続してご使用ください。

●本製品は PDC 方式のデジタル携帯電話、ドッチーモ（PDC モードのみ）専用です。アナログ携帯電話や cdmaOne 方式のデジタル携帯電話ではご使用になれません。

●Macintosh では、FAX 通信には対応しておりません。

●本製品は、サスペンド/スタンバイ/休止/スリープモードに対応しておりません。本製品を接続中にサスペンド/スタンバイ/休止/スリープモードになってしまった場合は、必ずスタンバイ復帰後に本製品を PC カードスロットから取り出し、もう１度差し込んでください。

2）本製品の内部の修理は弊社修理係にご依頼ください。（290 ページ参照）

改造などを行って、電気的および機械的特性を変えて使用することは絶対にお止めください。

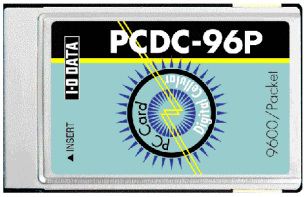
1 ご使用になる前に

箱を開けたら…… 2ページ
対応している機種と OS …… 4ページ

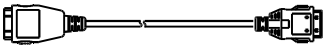
箱を開けたら

箱を開けたら、以下のものが入っているか確認してください。

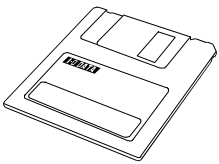
☐ 本製品(1 枚)



☐ 専用デジタルセルラーケーブル
(1本)

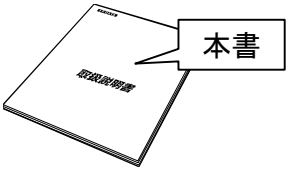


☐ PCDC-96P サポートソフト(1 枚)
[FD]

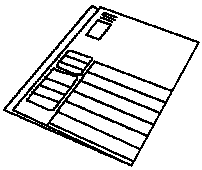


☐ ハードウェアシリアル No.シール
(1 枚)

☑ 取扱説明書(1 冊)

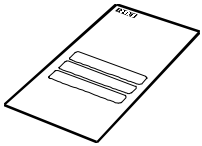


☐ ユーザー登録カード(1 枚)

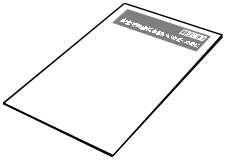


☐ ハードウェア保証書(1 枚)

☐ Ver シール(1枚)



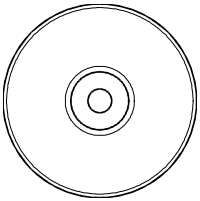
☐ 『安全で快適にお使い
いただくために』(1 冊)



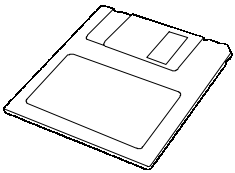
＜サービス品＞（以下はすべてサービス品です。）

※サービス品につき、弊社ではサポート致しておりません。
以下の製品の内容に関してのお問い合わせについては、【サービス品に関するお問い合わせ】（286 ページ）を参照してください。

☐ まいと～く FAX 2001 Lite（1 式）
[CD-ROM]
[ソフトウェア登録証]



☐ 10 円メールマスター（1 枚）[FD]



万が一、不足品がございましたら、弊社 PLANT コールセンターまでご連絡ください。

注意

・箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。
・本製品には、Macintosh 用としてモデム設定ファイル（Apple Remote Access CCL ファイル）およびドライバソフトのみ添付しております。通信ソフトウェアなどのアプリケーションは添付しておりませんので、別途お買い求めください。

対応している機種と OS

本製品を使用できるパソコンおよび環境は以下の通りです。ご使用の機種や環境を再度ご確認ください。

■ Windows ■

対応機種	PC CARD 規格 TypeⅡ以上の PC カードスロットを持つ機種 ● NEC PC98-NX シリーズ ● NEC PC-9821 シリーズ(Ne を除く) ● DOS/V マシン (弊社では、OADG 加盟メーカーの DOS/V マシンで動作確認を行っています。) ● 下記の弊社製 PC カードアダプタ CardDock シリーズが使用できる機種※1 ・CardDock2-EX/DV ・CardDock2-IN/DV ・CardDock2-EX/98 ● ハンドヘルド PC※2 ・SHARP Telios ・カシオ計算機 CASSIOPEIA A-55V,A-60V ・NEC Mobile Gear Ⅱ ・日立 PERSONA ・HP HP620LX,Jornada ・日本ビクター InterLink
対応 OS (日本語版)	Windows 2000 Windows Me Windows 98※3 (Second Edition を含む) Windows 95※3 Windows NT 4.0 Windows CE 2.0

※1 CardDock2-EX/DV,IN/DV は Windows 2000 でご利用いただくことはできません。
CardDock2-EX/DV,IN/DV,EX/98 は Windows NT 4.0 でご利用いただくことはできません。
※2 長時間ご使用になる場合には、各ハンドヘルド PC 付属の AC アダプタが必要です。
※3 32 ビット PCMCIA ドライバがインストールされていることが必要です。

■ Macintosh ■

対応機種	PC CARD 規格 Type Ⅱ 以上の PC カードスロットを持つ Macintosh シリーズ PowerBook (68040 以上) (Power PC)
対応 OS	漢字 Talk 7.5.1～7.5.5 Mac OS 7.6、7.6.1、8.0、8.1、8.5.1、8.6、9.0、9.0.4、9.1

■ 対応デジタル携帯電話 ■

NTT ドコモ	● PDC 方式デジタル (800MHz(201HYPER 以降)、1.5GHz タイプ) ● ドッチーモ (携帯モードによる 9600bps の PDC 通信のみ対応) ● Dopa
au (エーユーグループ、KDDI)	● PDC 方式デジタル
J-PHONE	
ツーカー	

注意

・アナログ携帯電話、cdmaOne 方式のデジタル携帯電話ではご使用いただけません。

・対応電話機の最新情報につきましては、弊社ホームページ上の対応製品検索エンジン「PIO」でご確認ください。

[URL] http://ss.iodata.co.jp/Matching

・FAX 送信時は、相手 FAX が自動切替タイプ※の場合、切り替えできずに送信を失敗する場合があります。相手 FAX の設定を自動着信に変更していただいてから FAX 送信してください。

※FAX 側で、FAX/電話(通話)を自動で判別する設定になっているもの。

MEMO

2 Windows 2000 で使うには

～ 準備編 ～

本製品で通信できるまでの流れ…… 8ページ
ステップ1 インストールする …… 9ページ
ステップ2 インストールは正常ですか？ 20ページ
ステップ3 端末速度を設定する…… 22ページ
ステップ4 発信情報を設定する…… 26ページ
ステップ5 パソコンから取り出す場合… 30ページ
ステップ6 再度取り付ける場合 …… 32ページ

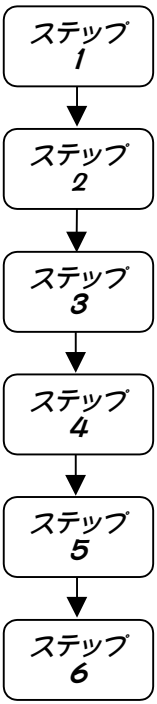
～ インターネット接続編 ～

Windows 2000 でインターネットに
接続するには … 33ページ
ステップ1 接続前の準備…… 34ページ
ステップ2 接続に必要なソフトウェア … 35ページ
ステップ3 インターネットを楽しもう …… 50ページ

準備編

本製品で通信できるまでの流れ

本製品を利用して、インターネットをはじめ通信ソフトなどを使用するには、最初に本製品を使用できるようにする設定、またパソコン側での設定が必要です。
ここでは、本製品を使用して通信できるようにするまでの手順について説明します。
以下の流れに沿ってお進みください。



インストールする ····· 9ページ
“本製品を使用できるようにする”サポートソフトのインストール手順について説明します。

インストールは正常ですか？ ····· 20ページ
【ステップ1】でのインストールが正常にできたかの確認方法について説明します。

端末速度を設定する ····· 22ページ
本製品とパソコン間の速度の設定手順について説明します。

発信情報を設定する ····· 26ページ
パソコンから発信するための情報の設定手順について説明します。

パソコンから取り出す場合 ····· 30ページ
本製品をパソコンの PC カードスロットから取り出す手順について説明します。

再度取りつける場合 ····· 32ページ
一度取り出した本製品を再度取りつける手順について説明します。

ステップ 1

準備編

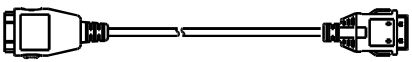
インストールする

本製品を使用するには、まず、「サポートソフト」ディスクのインストールが必要です。
次ページの手順でサポートソフトのバックアップディスクを作成してから、インストールしてください。

用意するもの

・本製品

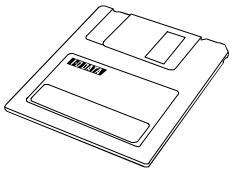
・添付の専用デジタルセルラーケーブル



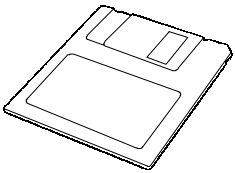
・携帯電話

※本書で説明している携帯電話のイラストは一例です。
お使いの機種により、異なります。
また、本製品との接続コネクタの場所も機種により異なります。

・添付の「サポートソフト」ディスク



・「サポートソフト」ディスクをバックアップするためのディスク(1 枚)



1.44MB でフォーマット済みの
空きフロッピーディスク(3.5 インチ 2HD)

「サポートソフト」ディスクをバックアップする

「サポートソフト」ディスクのバックアップディスクを作成します。

注意

本製品に添付されている「サポートソフト」ディスクを破損した場合の修理は有償です。万一に備えて、以下の手順で必ずバックアップディスクを作成し、バックアップディスクの方を次ページ以降でご使用ください。

1 バックアップ用ディスクを書き込みできるようにしておきます。

2 「サポートソフト」ディスクを書き込み禁止にし、
フロッピーディスクドライブにセットします。

3 Windows上の[マイコンピュータ]をダブルクリックし、
[3.5インチFD]を右クリックして[ディスクのコピー]を選択します。

4 ディスクのコピーを開始します。
画面の指示に従ってバックアップします。

「サポートソフト」をインストールする

本製品を使用するには、添付の「サポートソフト」ディスク内のドライバソフトをパソコンにインストールする必要があります。
ここでは、そのインストール手順について説明します。
インストール作業は、はじめて本製品を接続したときだけ行います。
次回からは、パソコンを起動すれば本製品を使用できます。

注意 **インストールする際は、パソコンの電源を入れ、Windows が起動してから本製品を取り付けます。**

注意 **弊社製 CardDock2-EX/DV、IN/DV は Windows 2000 には対応しておりませんので、本製品を CardDock2-EX/DV、IN/DV でご利用いただくことはできません。**

1 本製品を差し込まずに、パソコンの電源を入れ
Windows 2000を起動します。

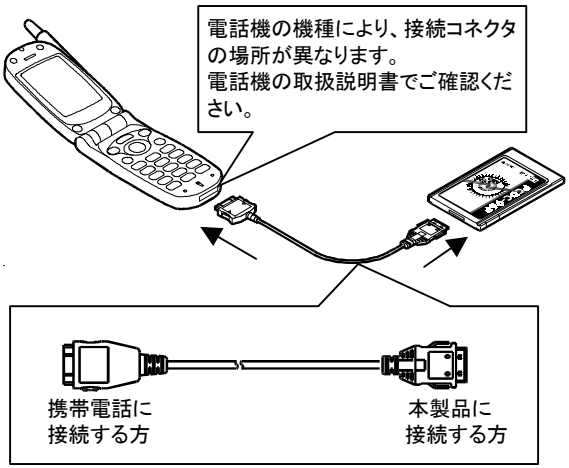
2 携帯電話の電源を入れます。

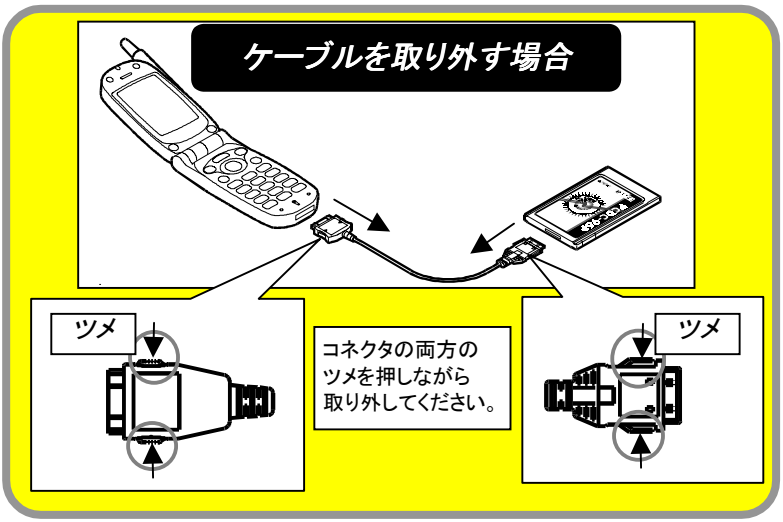
参考

手順3 で携帯電話と本製品を接続しますが、携帯電話の電源が入っている状態でも問題ありません。（接続後に携帯電話の電源を入れることもできます。）

3 携帯電話の接続コネクタのカバーを取り外し、本製品添付のケーブルで携帯電話と本製品を接続します。

携帯電話にはカチッと音がするまで差し込んでください。
コネクタが入りにくいときは無理な力で挿入せず、コネクタの向き（裏表）を確認してください。
取り外したカバーはなくさないように保管してください。

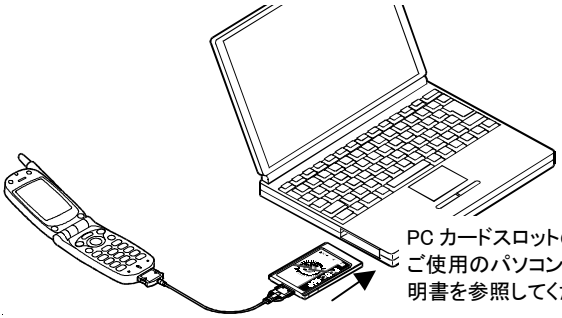




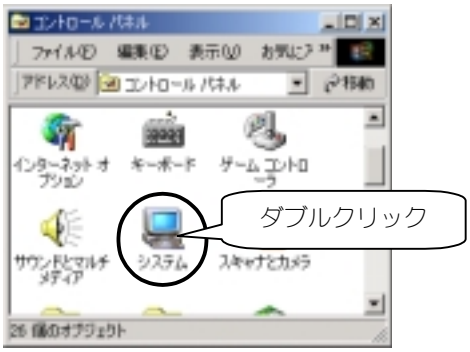
4 本製品を PC カードスロットに差し込みます。

ケーブルが本製品に接続されていることを確認後、本製品のラベル面を上にして、PCカードスロットの奥までしっかりと差し込みます。

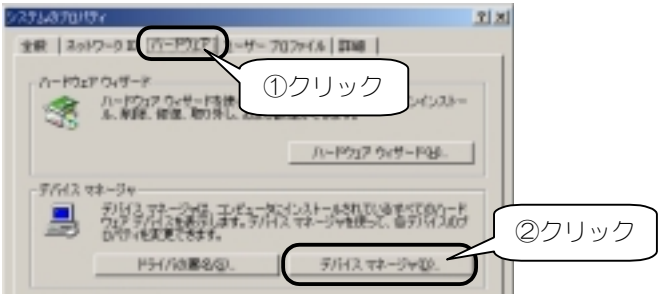
（自動的に[標準PCMCIAカードモデム]として登録されます。）



5 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順に開き、
[システム]アイコンをダブルクリックします。

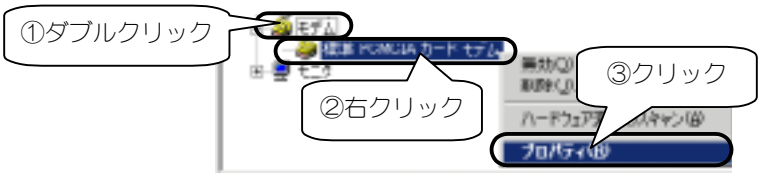


6 [ハードウェア]タブをクリックし、
[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

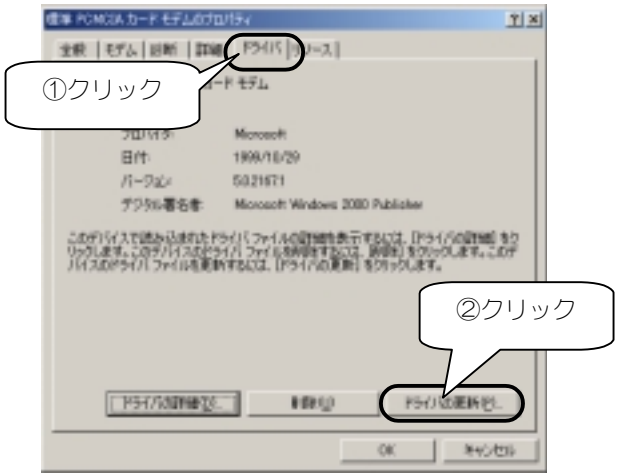


7 [モデム]をダブルクリック後に[標準 PCMCIA カードモデム]※を右クリックし、メニューから[プロパティ]をクリックします。

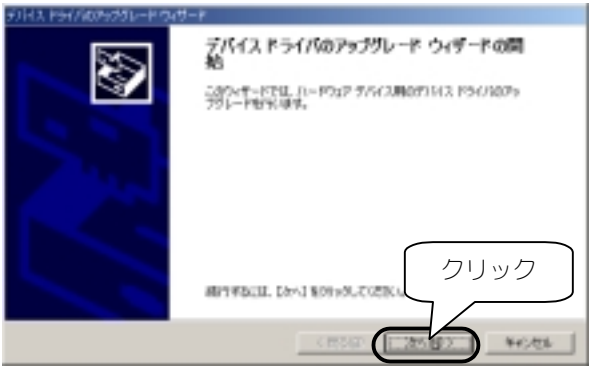
※表示されない場合は、画面右上の ✕ ボタンをクリックして画面を閉じ、前ページ手順**4** に戻り本製品を正しく差し込んでみてください。



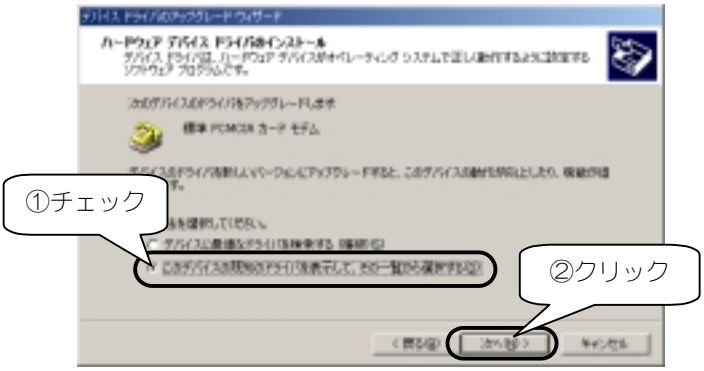
8 [ドライバ]タブをクリックし、
[ドライバの更新]ボタンをクリックします。



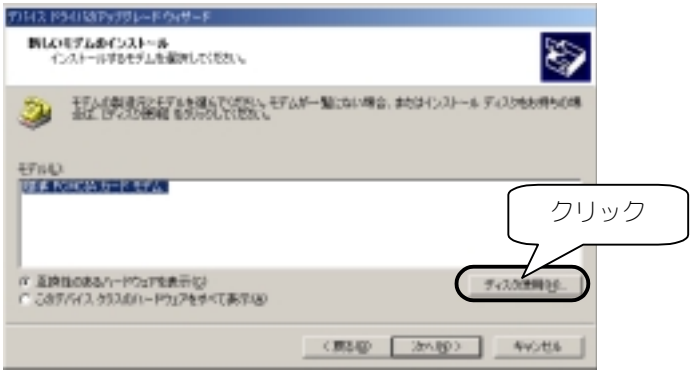
9 以下の画面で、[次へ]ボタンをクリックします。



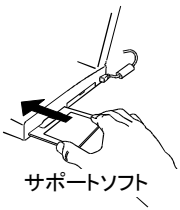
10 「このデバイスの既知の…」をチェックし、
[次へ]ボタンをクリックします。



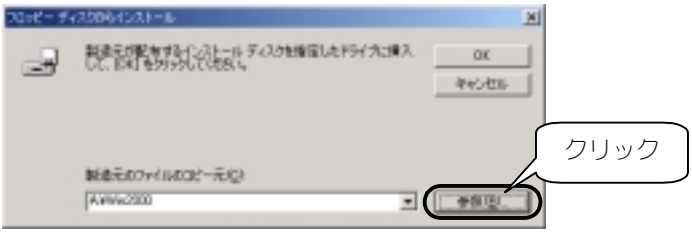
11 [ディスク使用]ボタンをクリックします。



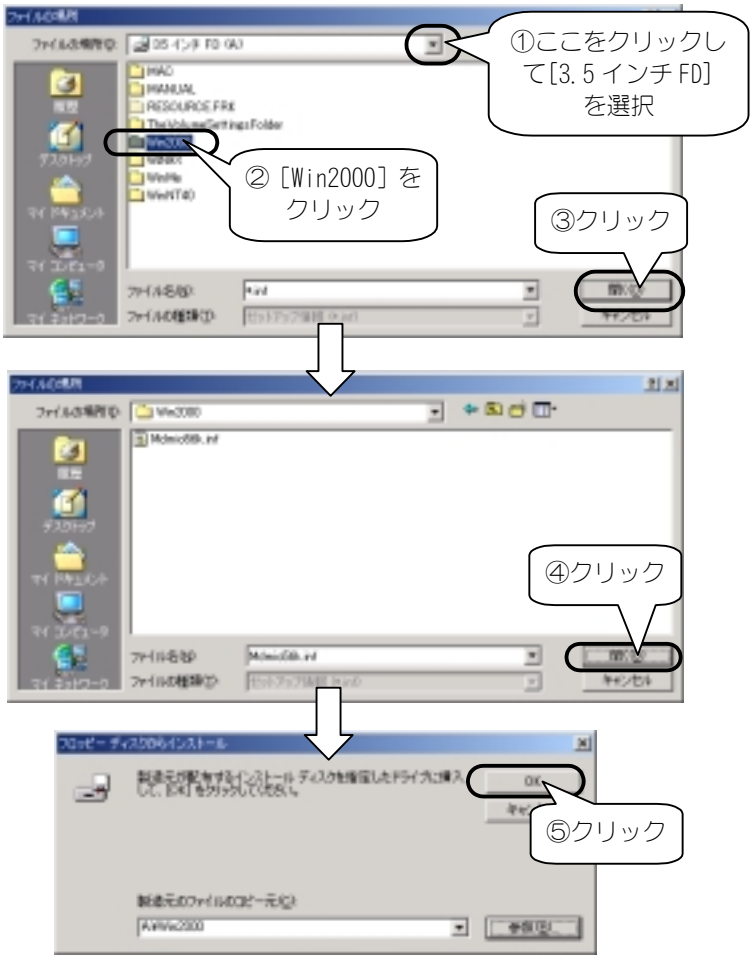
12 「サポートソフト」ディスクを
フロッピーディスクドライブにセットします。



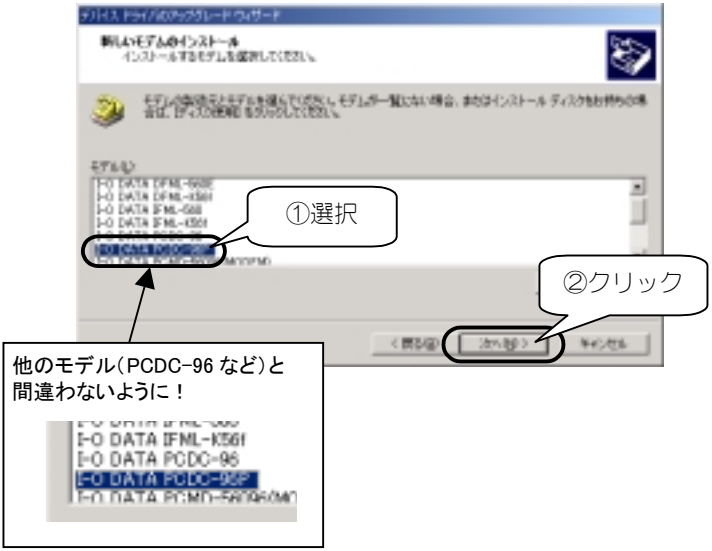
13 画面の[参照]ボタンをクリックします。



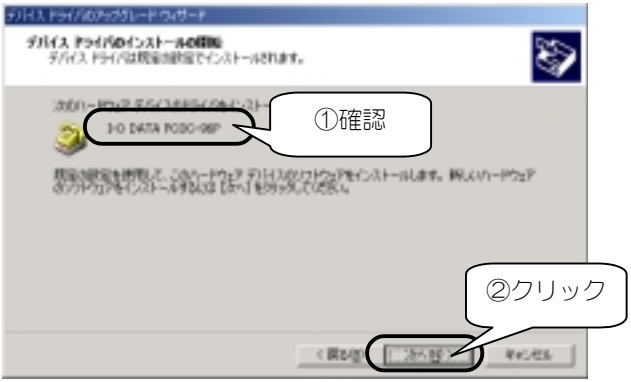
14 [3.5インチFD](ここではA:)内の[Win2000]を指定します。
指定後、[OK]ボタンをクリックします。



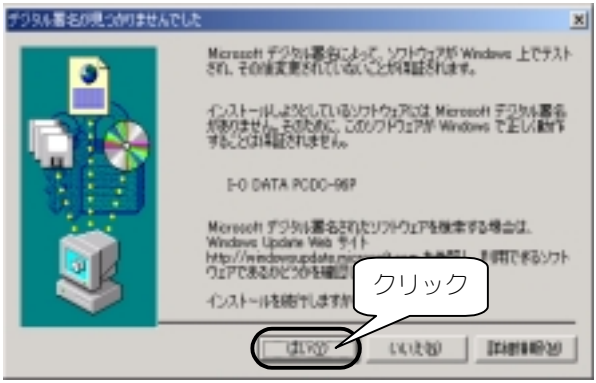
15 [モデル]で[I-O DATA PCDC-96P]を選択し、
[次へ]ボタンをクリックします。



16 [I-O DATA PCDC-96P]と表示されていることを確認後、
[次へ]ボタンをクリックします。



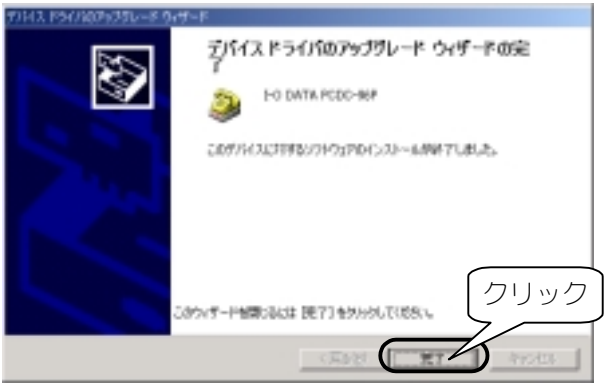
17 [はい]ボタンをクリックします。



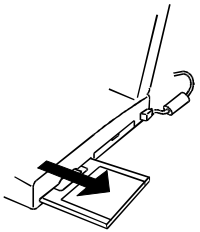
参考

弊社製ソフトウェアが確認された時点で、マイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、そのまま続行します。
→マイクロソフト社はWHQLという組織において、パソコン本体や周辺機器などを対象とした認定手続きを実施しております。
このたびお買い上げ頂いた製品は現時点では認定を受けておりません。

18 [完了]ボタンをクリックします。

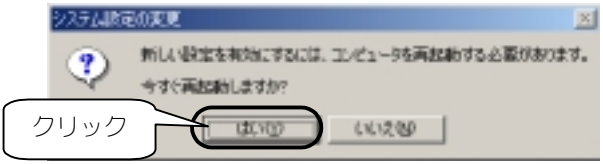


19 手順*18* の画面が消えたら
「サポートソフト」ディスクを抜きます。



20 すべての画面を閉じて、本製品を挿入したまま、
パソコンを再起動してください。

以下の画面が表示された場合は、[はい]ボタンをクリックしてパソコンを再起動してください。
表示されなかった場合は、手動でパソコンを再起動してください。([スタート]→[シャットダウン]を順にクリックし、表示された画面で[再起動]を選択して、[OK]ボタンをクリックします。)



以上でインストールは終了です。
次は正しくインストールできたかを確認します。
次ページ【インストールは正常ですか？】へお進みください。

注意

Windows 2000 使用中に本製品の動作を終了しないで PC カードスロットから取り出すと、予期しない障害が発生する可能性があります。取り出す際には【パソコンから取り出す場合】(30 ページ)を参照してください。

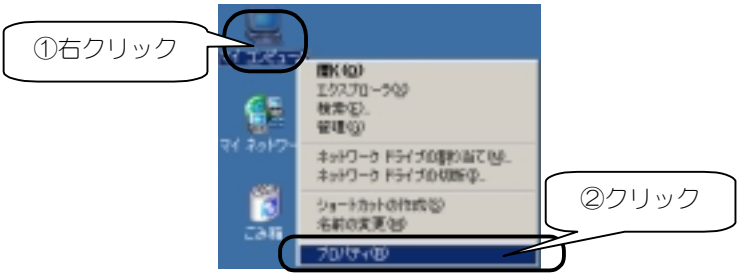
ステップ 2

準備編

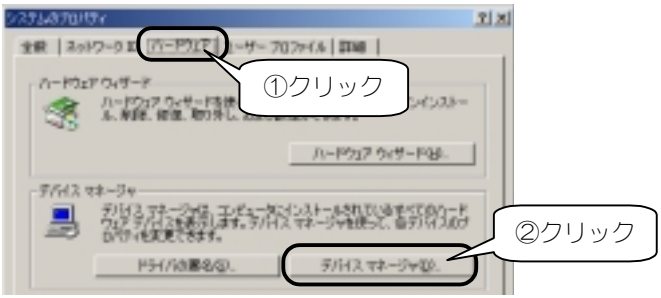
インストールは正常ですか？

【ステップ１】でのインストールが正常に終了すると、パソコンが本製品を正しく認識します。
ここでは、「***パソコンが本製品を正しく認識しているか***」を Windows 上で確認します。
本製品を PC カードスロットに差し込んだまま（専用ケーブルを携帯電話に接続した状態）で確認してください。

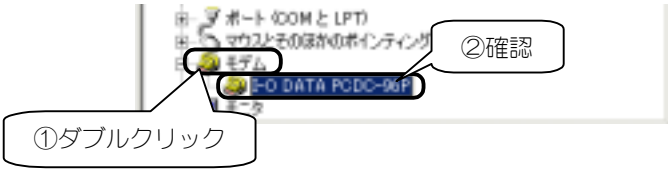
1 [マイコンピュータ]を右クリックして、
[プロパティ]をクリックします。



2 [ハードウェア]タブをクリックし、
[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。



3 [デバイスマネージャ]画面の[モデム]をダブルクリックして、「I-O DATA PCDC-96P」が表示されていることを確認します。
また、表示の頭に[！]マークがないことも確認します。



「I-O DATA PCDC-96P」が表示されない、あるいは、[！]マークがある場合は…

【困ったときには】の 252 ページをご参照ください。

4 画面右上の ✕ ボタンをクリックして、画面を閉じます。
前ページ手順**2**の画面に戻りますので、[OK]ボタンをクリックして画面を閉じます。

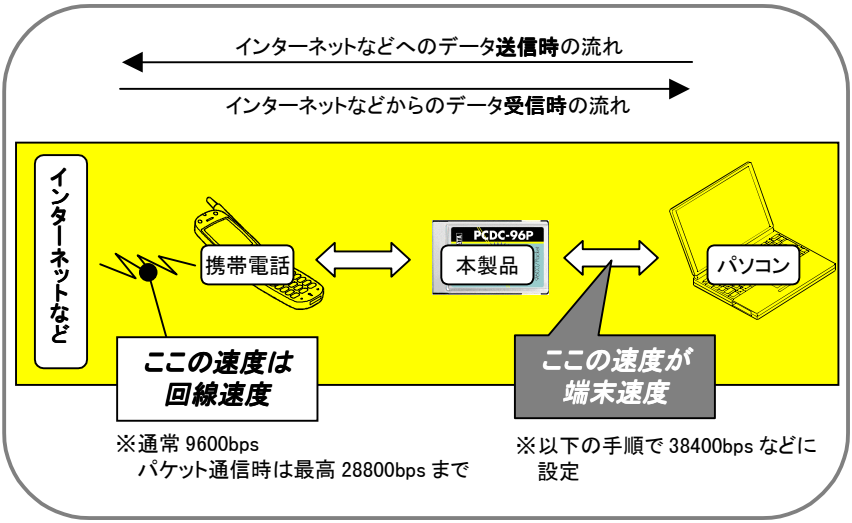
これでサポートソフトが正しくインストールされていることが確認できました。
次に端末速度を設定します。次ページへお進みください。

ステップ 3

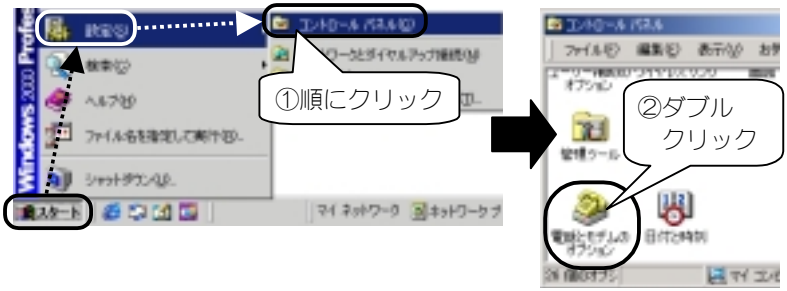
準備編

端末速度を設定する

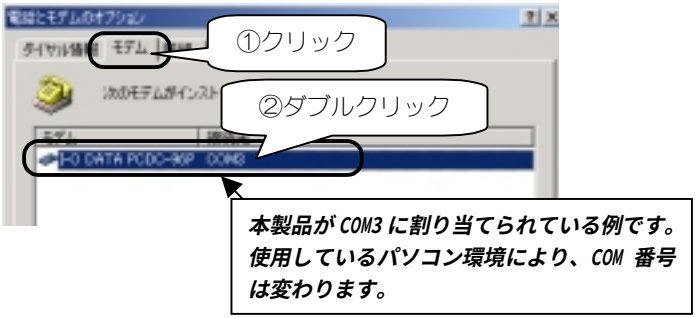
インストールが正常なことを確認したら、次に本製品とパソコン間の速度（**端末速度**）を設定します。
設定後、正常に本製品とパソコンが通信できるかを確認します。
設定と確認は、Windows の［電話とモデムのオプション］アイコンで行います。
本製品を PC カードスロットに差し込んだまま（専用ケーブルを携帯電話に接続した状態）で設定および確認してください。



1 ［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］を順にクリックし、［電話とモデムのオプション］アイコンをダブルクリックします。



2 「電話とモデムのオプション」画面で[モデム]タブをクリック後、[I-O DATA PCDC-96P]をダブルクリックします。

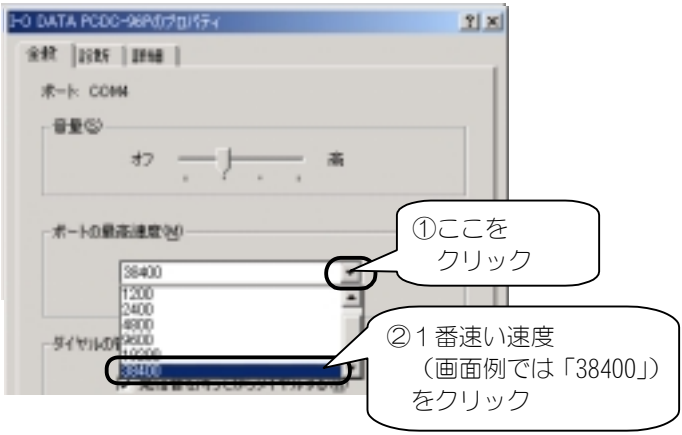


「I-O DATA PCDC-96P」が表示されない場合は…

【困ったときには】の 252 ページをご参照ください。

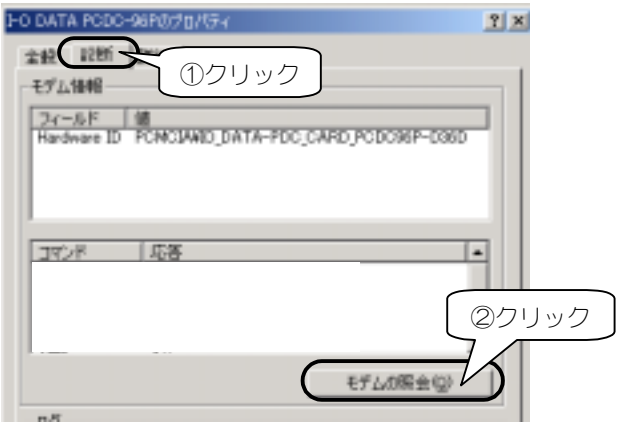
3 端末速度を設定します。
[全般]タブで、[ポートの最高速度]を選択肢中で一番速い速度に設定します。

最高速度には、選択できる速度のうち、最高の速度（38400bpsが望ましい）を設定しておくと、最大パフォーマンスが引き出せます。

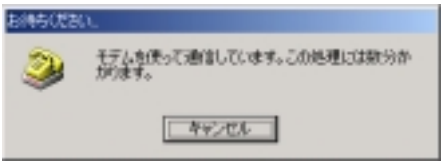


4 端末速度を設定したら、次に本製品とパソコンが正常に通信できるかを確認します。

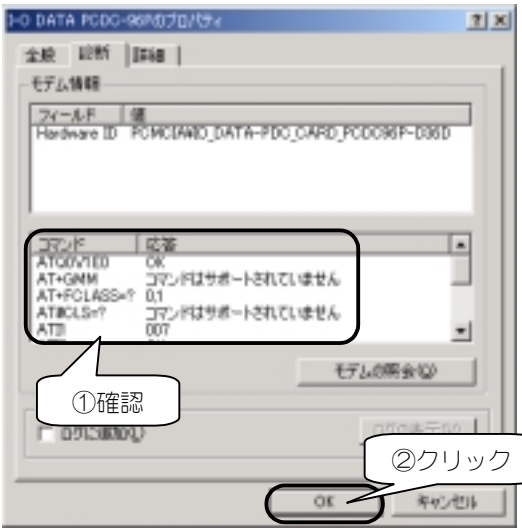
[診断]タブをクリックして、
[モデムの照会]ボタンをクリックします。



5 「お待ちください」と表示されます。
次ページの手順**6**の画面が表示されるまで、そのままでお待ちください。



6 しばらくすると以下のように表示されます。
確認後、[OK]ボタンをクリックします。
※[コマンド][応答]の部分が真っ白でなく、[AT‥‥‥]と英数字が表示されたら正常です。



「ポートが開けません」などと
表示された場合は…

【困ったときには】の
252 ページ
をご参照ください。

注意

・この通信テストはパソコンと本製品間の通信テストであり、携帯電話を介して通信するテストではありません。
・応答に[コマンドはサポートされていません]と表示されていますが、動作上問題ありません。

7 [OK]ボタンをクリックし、
[電話とモデムのオプション]画面を閉じます。

ここまでで、本製品とパソコンが正しく通信できることが確認できました。
次に次ページで発信情報を設定してください。

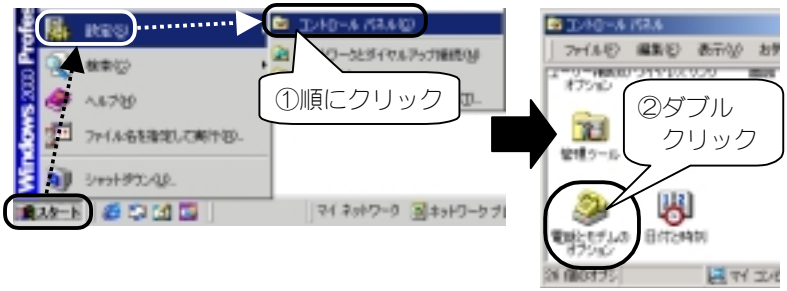
ステップ 4

準備編

発信情報を設定する

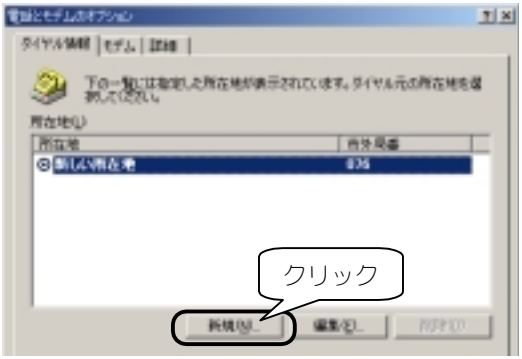
インターネットをはじめ通信ソフトなどを利用するには、パソコンから発信するための情報（発信情報）を設定しておく必要があります。
設定は、Windows の［電話とモデムのオプション］アイコンで行います。
本製品を PC カードスロットに差し込んだまま（専用ケーブルを携帯電話に接続した状態）で設定してください。

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックし、[電話とモデムのオプション]アイコンをダブルクリックします。



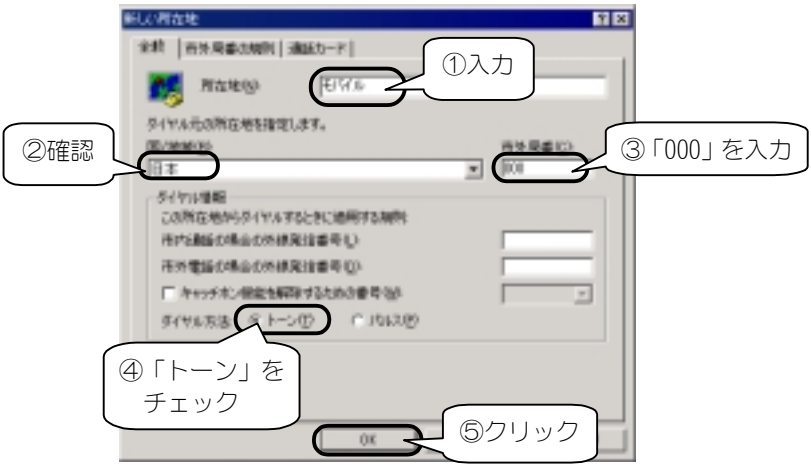
2 [新規]ボタンをクリックします。

携帯電話で発信するための設定（所在地）を登録したことがある場合は、次ページ手順**3**へ進んでください。
（一般公衆回線やISDN回線用の所在地とは設定内容が異なります。
この場合は新しく所在地を追加してください。）



3 [全般]タブで必要な情報を設定して、[OK]ボタンをクリックします。

No.	項目	設定内容
①	所在地	任意の名称(お好きな名称)を入力
②	国／地域	「日本」であることを確認
③	市外局番	「000」などの存在しない数値を入力 ※携帯電話やドッチーモは市外局番から発信するので、このような仮の値を設定しておきます。 (設定しないと市外局番から発信できません。)
④	ダイヤル方式	「トーン」を選択



4 [OK]ボタンをクリックし、[電話とモデムのオプション]画面を閉じます。

5 <u>パケット通信対応電話機でパケット通信をする場合のみ</u>

29ページを参照して、追加設定を行ってください。

※パケット通信を行うには、携帯電話のオプション契約(パケット使用料)が別途必要です。また、プロバイダがパケット通信に対応している必要があります。

※以下の場合は、設定する必要はありません。

- (パケット通信でない)通常のデータ通信を行う場合
- パケット通信対応でない電話機で使用する場合
- パケット通信対応か不明な場合

ここまでで、本製品がパソコンに正しく認識され、使用できることが確認できました。
1度これらのインストールや設定を行えば、今後はパソコンを起動するだけで使えるようになります。

実際に本製品を使う前に、【ステップ5】(30 ページ)および【ステップ6】(32 ページ)を参照して、本製品の正しい取り出し方・取り付け方をマスターしてください。

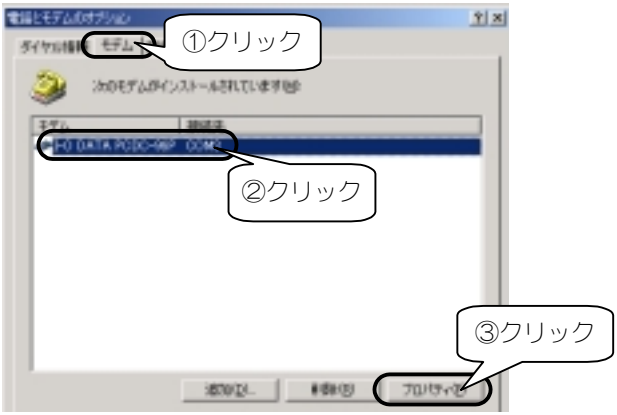
本製品を使って…

インターネットを楽しみたい	→【Windows 2000 でインターネットに接続するには】（33 ページ）へ
FAX 通信したい	→【パソコンからダイレクトに FAX 送信したい】（271 ページ）へ

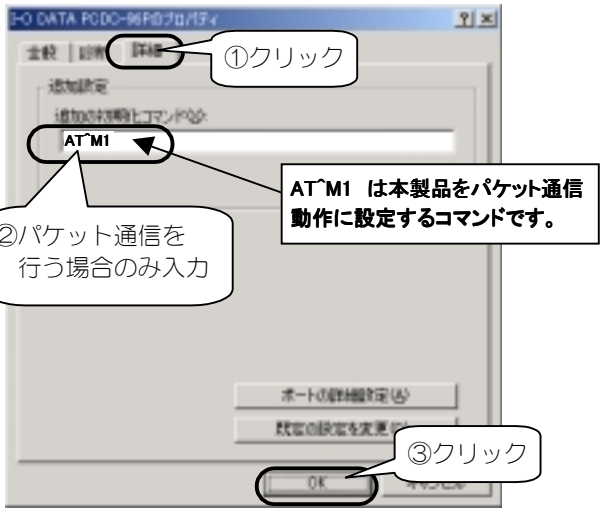
●パケット通信対応電話機でパケット通信をする場合の追加手順

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックし、[電話とモデムのオプション]アイコンをダブルクリックします。

2 [モデム]タブをクリックし、[I-O DATA PCDC-96P]をクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックします。



3 [詳細]タブをクリックし、[追加の初期化コマンド]に半角で「AT^M1」と入力し、[OK]ボタンをクリックします。



4 後は[OK]ボタンや[閉じる]ボタンをクリックして画面を閉じてください。

ステップ 5

準備編

パソコンから取り出す場合

本製品を使用しなくなった場合などに、パソコンの PC カードスロットから取り出すには、以下の方法があります。

・パソコンの電源を切った後に取り出す

・Windows 2000 を使用中に本製品の動作を終了して取り出す

Windows 2000 を使用中に取り出す際に、以下の本製品の動作を終了する手順を行わずに取り出すと、予期しない障害が発生する可能性があります。

取り出す際には、本製品を使用していない（回線切断中である）事を確認した後、必ず以下の手順を行ってください。

注意

以下の動作の終了作業を行うと、実際に本製品を抜かなくても、本製品は使えなくなります。再度使いたいときは、いったん本製品を PC カードスロットから取り出してから再び差し込んでください。

本製品の動作を終了する

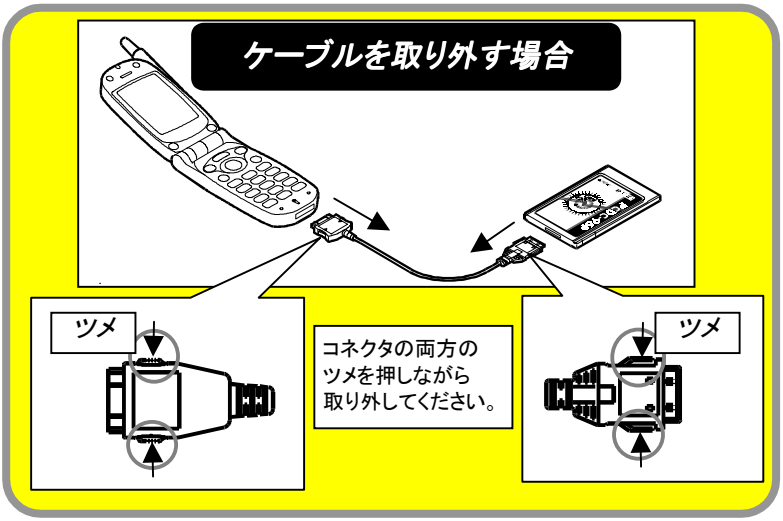
1 ディスプレイ画面右下のタスクトレイにある[取り出し]アイコンをクリックし、[I-O DATA PCDC-96Pを停止します]をクリックします。

2 [OK]ボタンをクリック後、
本製品をPCカードスロットから取り出してください。

携帯電話を本製品から取り外す

携帯電話を本製品から取り外す際は、以下のように行ってください。

1 携帯電話に接続しているケーブルの接続コネクタの左右のツメを押しながら、引き抜いてください。

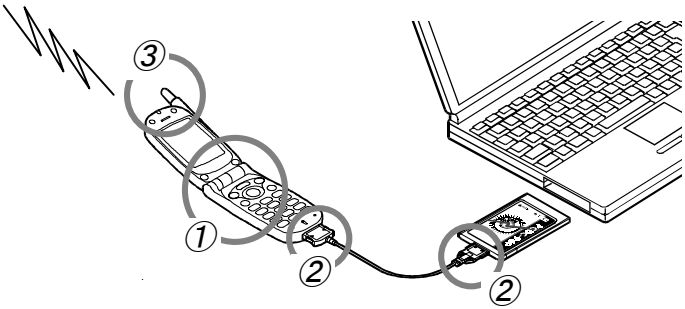


ステップ 6

準備編

再度取り付ける場合

本製品は、パソコンの電源を入れる前でも、また、パソコンの電源を入れた後（Windows を起動した後）のどちらでもパソコンに取り付けることができます。
ただし、必ず以下のことを確認してから、本製品を PC カードスロットに差し込んでください。



チェック①：携帯電話の電源

携帯電話の電源が入っていることを確認してください。

チェック②：携帯電話と本製品の接続

携帯電話と本製品が添付のケーブルで接続されていることを確認してください。

※携帯電話の電源が入っている状態でも問題ありません。

チェック③：携帯電話の電波の状態

携帯電話の電波の状態が良好なことを確認してください。

※携帯電話でその場から正常に通話できることを確認しておいてください。

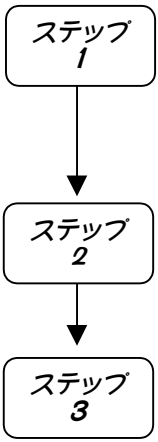
注意

携帯電話の電波が弱い場合は、正常にインターネットなどに接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることを、携帯電話の液晶画面などで確認してから、インターネットなどに接続してください。

インターネット接続編

Windows 2000 で インターネットに接続するには

【準備編】（【ステップ１】（9 ページ）～【ステップ6】（32 ページ））が終了したら、いよいよインターネットに接続してみましょう。



接続前の準備 ･･･････････････････････ ***34ページ***

インターネットに接続する上で必要な確認事項について説明します。

・プロバイダとの契約
・本製品、携帯電話の準備

接続に必要なソフトウェア ･･･････････････ ***35ページ***

インターネットに接続するために必要なソフトウェアについて説明します。

・ダイヤルアップ接続

インターネットを楽しもう ･･･････････････ ***50ページ***

【ステップ2】で設定した［ダイヤルアップ接続］で実際にインターネットに接続してみましょう。

ステップ 1

インターネット接続編

接続前の準備

インターネットに接続するには、以下をまず準備しておく必要があります。順にチェックしておいてください。

準備1：プロバイダとの契約

インターネット・サービスを受けるために、商用プロバイダとダイヤルアップ IP 接続の契約を行ってください。

※パケット通信を行う場合にはキャリアメーカーとパケット通信の契約も必要です。

契約時に入手した資料について

プロバイダとの契約後、パソコンからインターネット接続するために以下が記載されている資料を受け取ります。

パソコンにインターネット接続するための設定をする際（次ページ【ステップ2】）、また、インターネットに接続する際（【ステップ3】50 ページ）に必要となりますので、準備しておいてください。

- ユーザー名
- パスワード
- 接続先の電話番号
- ネームサーバーアドレス※
  - プライマリ DNS サーバー
  - セカンダリ DNS サーバー

※ネームサーバーアドレス（プライマリ DNS サーバー、セカンダリ DNS サーバー）は、プロバイダによっては指定がない場合もあります。指定がない場合は特に設定する必要はありません。

準備2：パソコン、本製品、携帯電話の準備

パソコン、本製品、携帯電話があればインターネットに接続できます。ただし、以下の確認を行っておいてください。

チェック1：携帯電話の電源

携帯電話の電源が入っていることを確認してください。

チェック2：携帯電話と本製品の接続

携帯電話と本製品が添付のケーブルで接続されていることを確認してください。

※携帯電話の電源が入っていても、本製品を接続できます。

チェック3：携帯電話の電波の状態

携帯電話の電波の状態が良好なことを確認してください。

ステップ 2

インターネット接続編

接続に必要なソフトウェア

インターネットに接続するには、以下のソフトウェアがインストールおよび設定されている必要があります。

①本製品のドライバソフトウェア

【インストールする】(9 ページ)でインストールした本製品を使用するためのソフトウェアです。
【インストールは正常ですか？】(20 ページ)で正常にインストールされているか確認しておきましょう。

[デバイスマネージャ]画面の[モデム]の下に
「I-O DATA PCDC-96P」が表示されていることの確認

②ダイヤルアップを行うためのソフトウェア

37 ページ以降で説明します。

ダイヤルアップを行ってプロバイダに接続するためのソフトウェアです。
詳細な設定は、37 ページ以降を参照してください。

③Web ブラウザやメールソフトウェア

インターネットに接続する際に特に必要ではありませんが、接続後に、ホームページなどを見るためのソフトウェアです。
Windows 2000 には、Web ブラウザとして InternetExplorer が標準でインストールされています。

次ページ以降で[ダイヤルアップ接続]の設定について説明します。
はじめてインターネットに接続する場合、また、以前の設定はそのまま残して新しい設定を作る場合にも、次ページ以降を参照してください。

[ダイヤルアップ接続]を設定する

インターネットに接続するには、パソコンからプロバイダなどにダイヤルアップするためのソフトウェア[ダイヤルアップ接続]を設定する必要があります。

はじめて［ダイヤルアップ接続］の設定を行う場合、または、以前の設定はそのまま残して新しい設定を作る場合は、以下の【新しい設定を作るとき】を行います。

参考1

ダイヤルアップとは

→電話回線などの公衆網を利用して、インターネットに接続できる通信業者(プロバイダ)に接続すること。

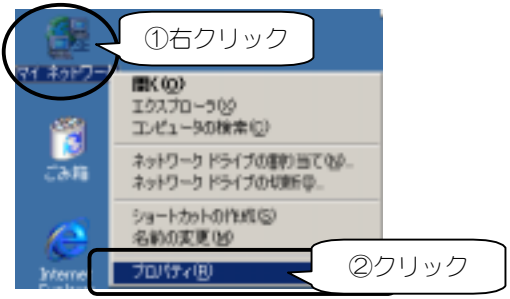
参考2

すでにダイヤルアップ接続(インターネット)の設定を行っていて、設定内容を変更する場合は 45 ページ【設定を変更するとき】をご覧ください。

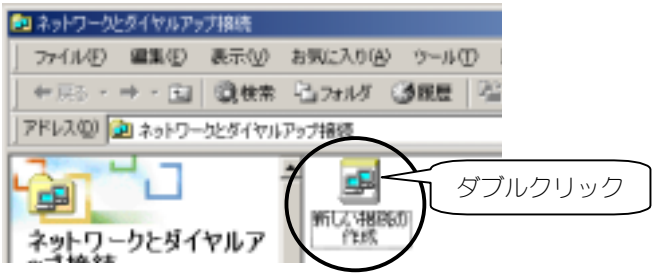
新しい設定を作るとき

1 インターネットプロバイダから入手した[ユーザー名]や[パスワード]などが記載されている資料をご用意ください。

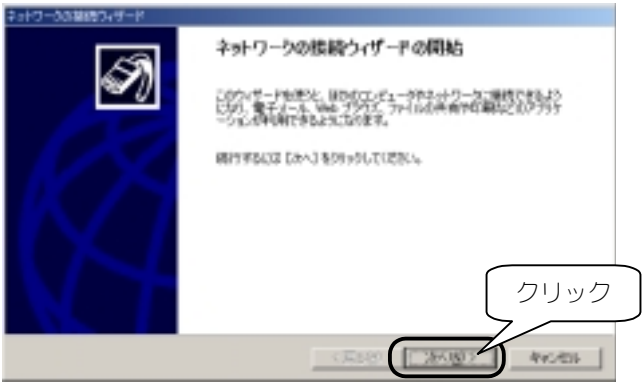
2 [マイネットワーク]を右クリックし、
メニュー内の[プロパティ]をクリックします。



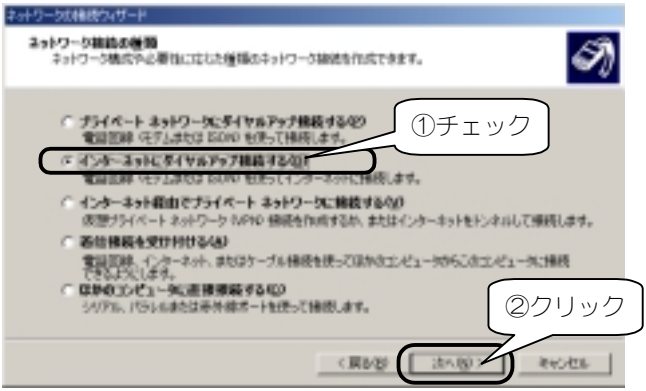
3　[新しい接続の作成]アイコンをダブルクリックします。



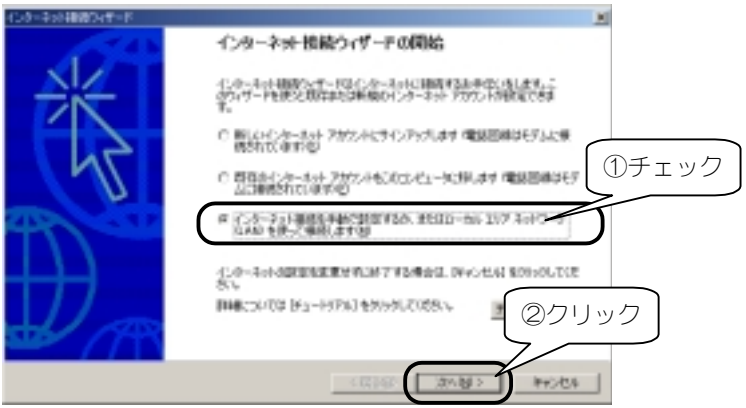
4　[次へ]ボタンをクリックします。



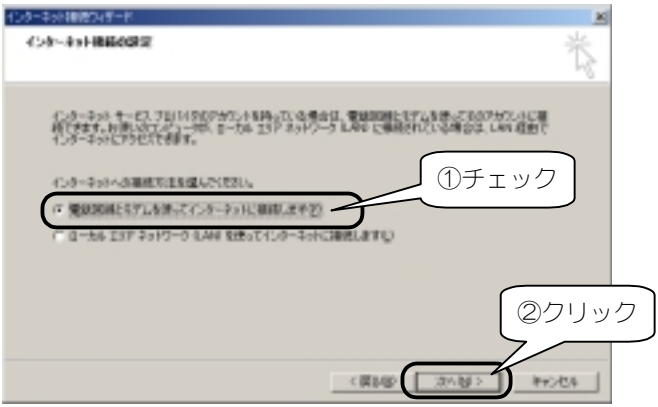
5　[インターネットにダイヤルアップ接続する]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



6 [インターネット接続を手動で設定するか、……]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



7 [電話回線とモデムを使ってインターネットに…]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



8 複数のモデムがインストールされている場合は以下の画面が表示されますので、[I-O DATA PCDC-96P]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

9 以下のようにプロバイダの電話番号などを設定します。

①[市外局番とダイヤル情報を使う]をチェックします。

②[市外局番]欄には、接続先の市外局番を入力します。

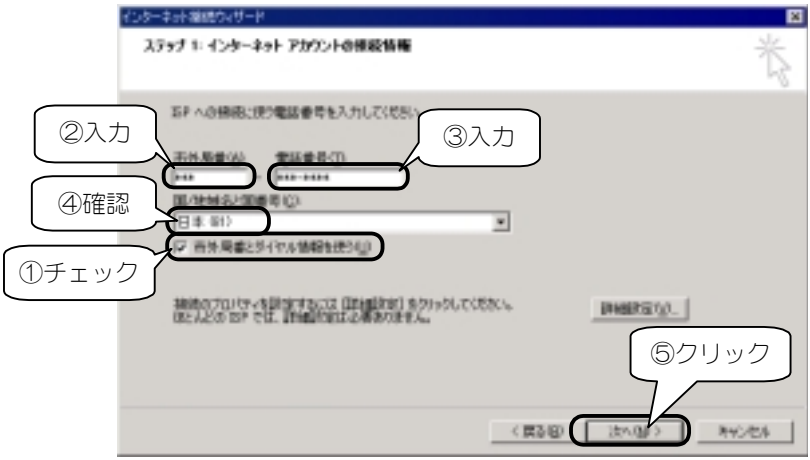
※ダイヤル先が市内であっても、必ず市外局番から入力してください。

③[電話番号]欄には、接続先の電話番号を入力します。

④[国/地域名と国番号]欄は、「日本」であることを確認します。

[電話番号]以外に、プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合は次ページを参照してください。

設定後、[次へ]ボタンをクリックします。



注意

[市外局番][電話番号]欄の「*」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号を入力してください。**

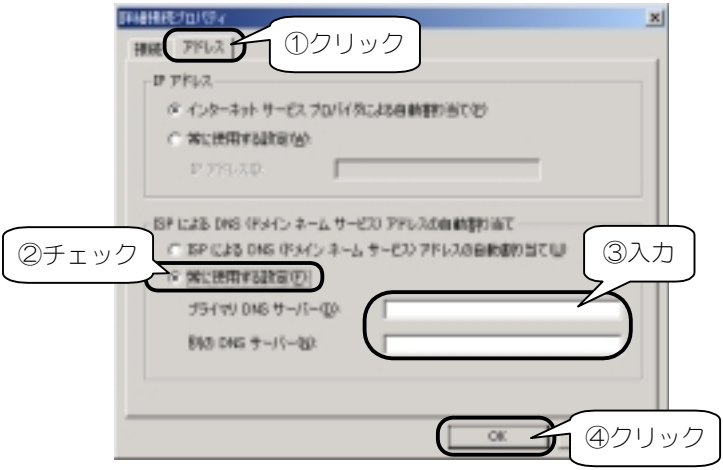
●*プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合*

1 前ページ手順***9*** の画面で、[詳細設定]ボタンをクリックします。

2 [詳細接続プロパティ]画面が表示されますので、以下の手順で設定します。

①[アドレス]タブをクリックします。
②[常に使用する設定]をチェックします。
③[プライマリ DNS サーバー]欄にプライマリ DNS を、[別の DNS サーバー]欄にセカンダリ DNS の値を入力します。

設定後、[OK]ボタンをクリックします。

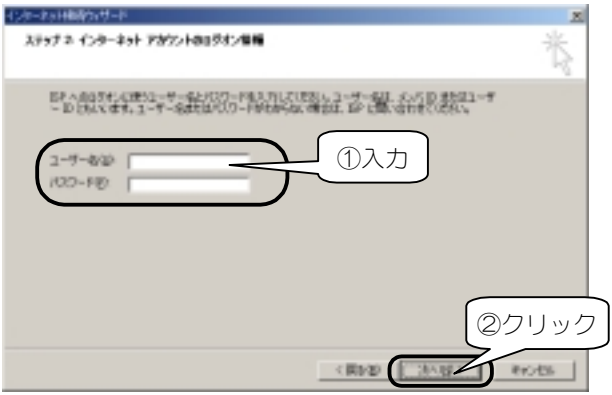


3 前ページ手順***9*** の画面に戻りますので、[次へ]ボタンをクリックして、次ページ手順 ***10*** へお進みください。

注意

・ネームサーバーアドレスの入力内容がわからない場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。
・プロバイダによっては、IP アドレスの設定が必要な場合もあります。必要な設定内容については、ご契約のプロバイダに確認してください。

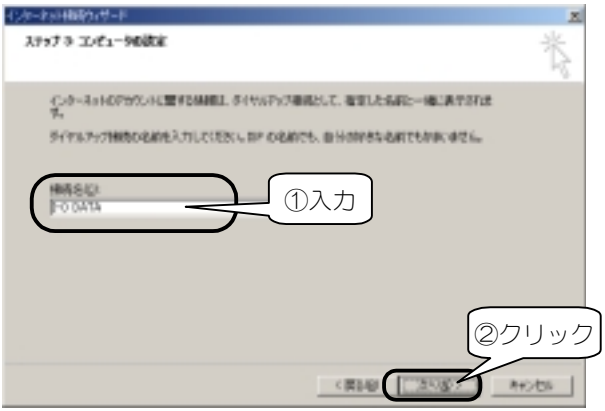
10 プロバイダから案内された[ユーザー名]や[パスワード]を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。



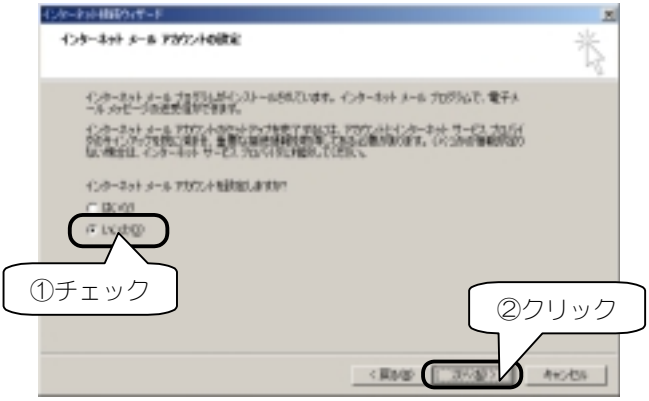
注意

パスワードは[*****]と表示され、入力内容が確認できないので、アルファベットの大文字小文字などを間違えないように注意してください。

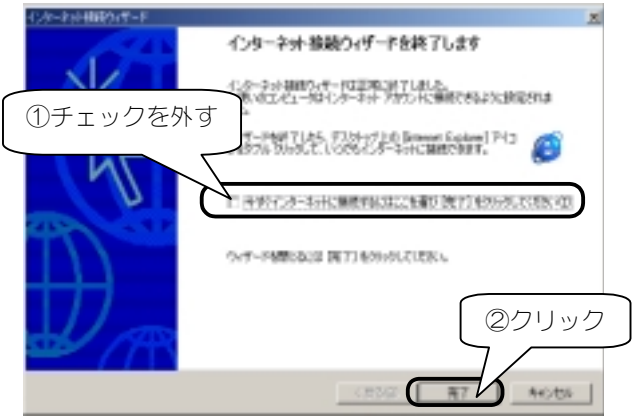
11 [接続名]欄に任意の接続名(お好きな名前)を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。



12 [いいえ]をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。
メールアカウントの設定はメールソフト側で行えるので、本書では、ここで設定は行いません。



13 [今すぐインターネットに…]のチェックを外して、
[完了]ボタンをクリックします。

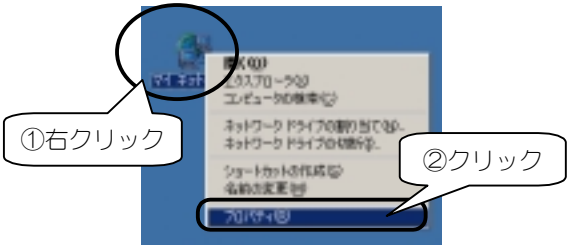


14 新しく作成された接続アイコンを確認します。

以上で、[ダイヤルアップ接続]の設定は終了です。
50 ページからの【インターネットを楽しもう】を参照して、
実際にインターネットに接続してみましょう。

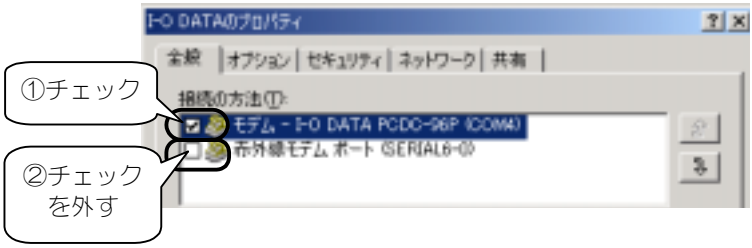
設定を変更するとき

1 [マイネットワーク]アイコンを右クリックして、
表示された[プロパティ]をクリックします。



2 変更したい接続のアイコンを右クリックして、
表示された[プロパティ]をクリックします。

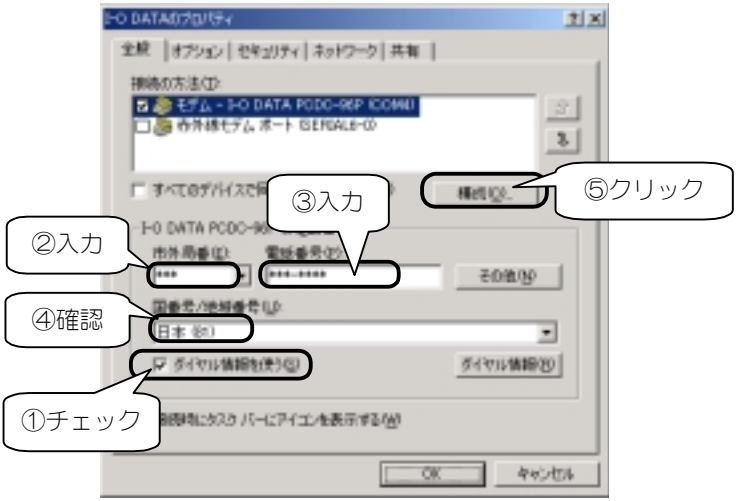
3 [接続の方法]欄に複数のモデムが表示された場合、
[I-O DATA PCDC-96P]のみをチェックします。
他のモデムのチェックを外します。



4 以下のようにプロバイダの電話番号などを設定します。

①[ダイヤル情報を使う]をチェックします。
②[市外局番]欄には、接続先の市外局番を入力します。
③[電話番号]欄には、接続先の電話番号を入力します。
④[国番号/地域番号]欄は、「日本」であることを確認します。

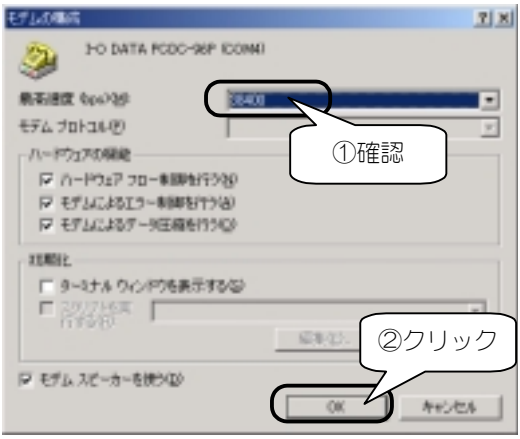
設定後、[構成]ボタンをクリックします。



注意

[市外局番][電話番号]欄の「*」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号を入力してください。**

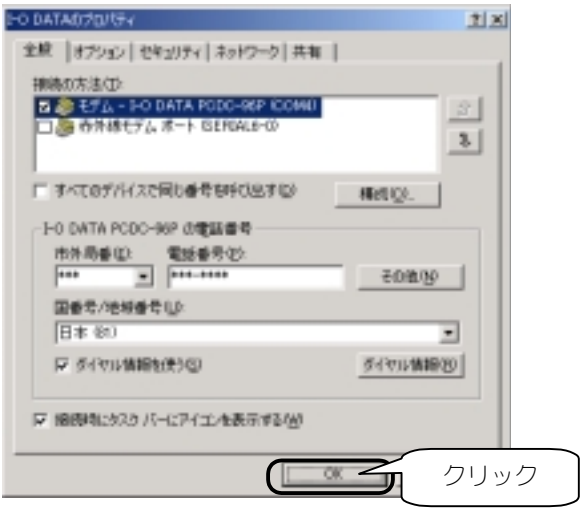
5 [最高速度]が[38400]となっていることを確認し、
[OK]ボタンをクリックします。



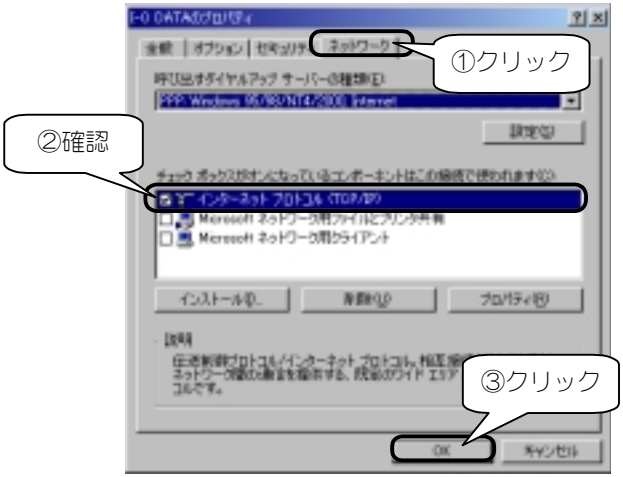
注意

本製品は、[38400]bps まで対応です。
[38400]bps より上の速度には設定しないでください。

6 手順*4* の画面に戻りますので、
[OK]ボタンをクリックします。



7 [ネットワーク]タブをクリックして、
[インターネットプロトコル(TCP/IP)]のみにチェックが付いていることを確認します。
プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合は次ページを参照し、設定してください。
[OK]ボタンをクリックします。

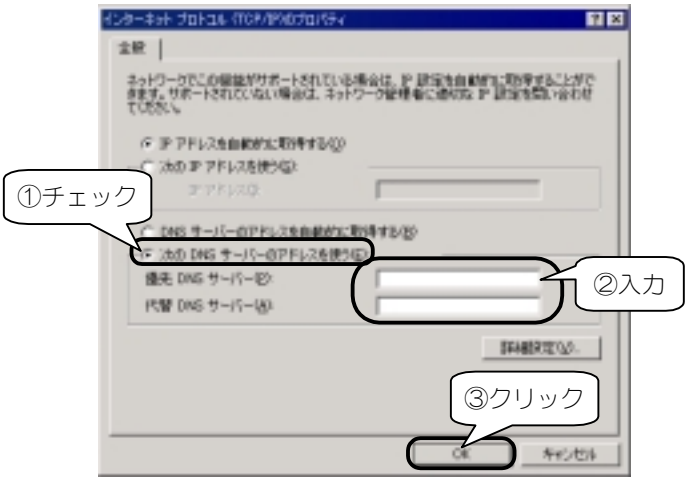


これでダイヤルアップ接続の設定は終了です。
50 ページ【インターネットを楽しもう】を参照して、さっそくインターネットに接続してみましょう。

●プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合

1 前ページ手順**7**の画面で、[インターネットプロトコル(TCP/IP)]をクリックした後、[プロパティ]ボタンをクリックします。

2 [インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ]画面が表示されますので、以下を設定します。
①[次の DNS サーバーのアドレスを使う]をチェックする
②[優先 DNS サーバー]欄にプライマリ DNS を、[代替 DNS サーバー]欄にセカンダリ DNS の値を入力する
設定後、[OK]ボタンをクリックします。



3 前ページ手順**7**の画面に戻りますので、[OK]ボタンをクリックして画面を閉じます。

注意

・ネームサーバーアドレスの入力内容がわからない場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。
・プロバイダによっては、IP アドレスの設定が必要な場合もあります。必要な設定内容については、ご契約のプロバイダに確認してください。

ステップ 3

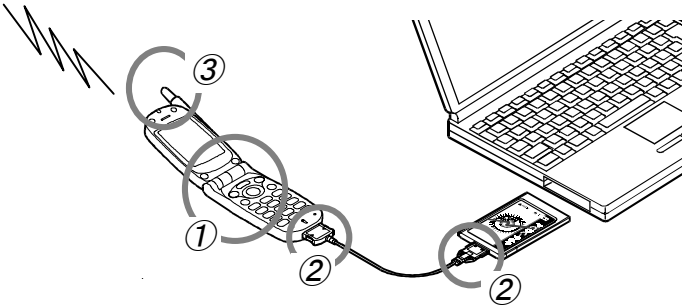
インターネット接続編

インターネットを楽しもう

ここまでの設定がすべて終了すれば、いよいよインターネットへの接続です。

接続する際のチェック項目

インターネットに接続する際は、携帯電話を操作する必要は特にありませんが、毎回以下を確認してから、本製品をパソコンに取り付け、インターネットに接続してください。



チェック①：携帯電話の電源

携帯電話の電源が入っていることを確認してください。

チェック②：携帯電話と本製品の接続

携帯電話と本製品が添付のケーブルで接続されていることを確認してください。

※携帯電話の電源が入っている状態でも問題ありません。

チェック③：携帯電話の電波の状態

携帯電話の電波の状態が良好なことを確認してください。

※携帯電話でその場から正常に通話できることを確認しておいてください。

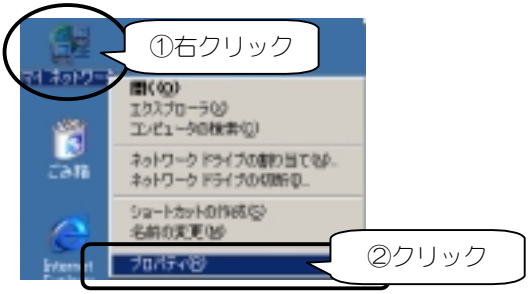
注意

携帯電話の電波が弱い場合は、正常にインターネットなどに接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることを、携帯電話の液晶画面などで確認してから、インターネットなどに接続してください。

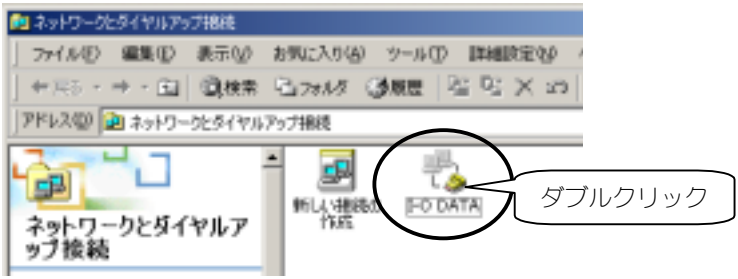
インターネットに接続する

インターネットへの接続は、【[ダイヤルアップ接続] を設定する】(37 ページ) で作成した[ダイヤルアップ接続]で行います。

1 [マイネットワーク]を右クリックし、
メニュー内の[プロパティ]をクリックします。

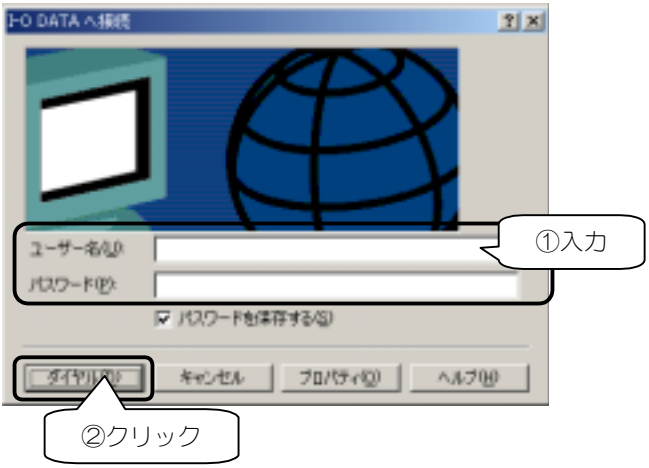


2 新しく作成した接続のアイコンをダブルクリックします。



3 プロバイダから通知された[ユーザー名]と[パスワード]を入力し、[ダイヤル]ボタンをクリックします。

[ダイヤル]ボタンをクリックすると、指定した電話番号（次ページの手順で確認できます）にかかりプロバイダと通信を開始します。



注意

・パスワードは[*****]と表示されます。
入力した文字数に関係無く、16 桁ですが、Windows 2000 のセキュリティ上の仕様です。
・[パスワードを保存する]をチェックすると、次回からパスワードが[*]印で表示されますので、パスワードを入力する必要がありません。
セキュリティの必要に応じてお使いください。

参考

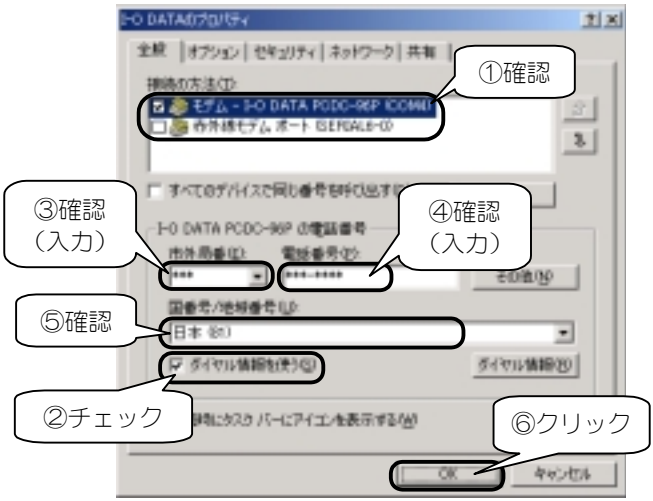
接続先の電話番号を確認したい、または変更したい場合は
→[プロパティ]ボタンをクリックし、次ページを参照してください。

●接続先の電話番号を確認したい、または変更したい場合

1 前ページ手順**3**の画面で、[プロパティ]ボタンをクリックします。

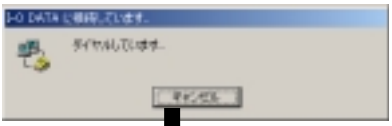
2 以下の各設定を行い、[OK]ボタンをクリックします。

①[接続の方法]欄は、[I-O DATA PCDC-96P]が表示されていること(複数のモデムがある場合は[I-O DATA PCDC-96P]のみがチェックされていること)を確認します。
②[ダイヤル情報を使う]をチェックします。
③[市外局番]欄には、接続先の市外局番を確認または入力します。
④[電話番号]欄には、接続先の電話番号を確認または入力します。
⑤[国番号/地域番号]欄は、「日本」であることを確認します。



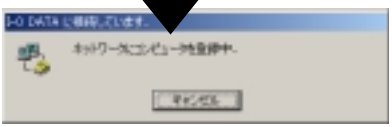
3 前ページ手順**3**の画面に戻りますので、[ダイヤル]ボタンをクリックして、インターネットに接続しましょう。

4 しばらくしてパソコンの画面右下のタスクトレイに[ダイヤルアップ接続モニタ]アイコンが表示されたら、接続完了です。

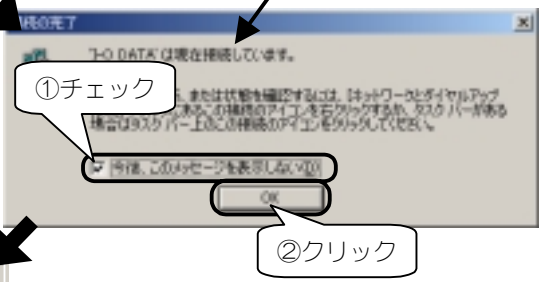


（携帯電話には「ASYNC」と表示）
※パケット通信の場合は、表示が異なります。

（携帯電話には「V42.bis」と表示）
※パケット通信の場合は、表示が異なります。



この画面が表示された場合は、[今後、このメッセージ....]をチェック後、[OK]ボタンをクリックしてください。



画面が消える

[ダイヤルアップ接続モニタ]アイコン

接続完了

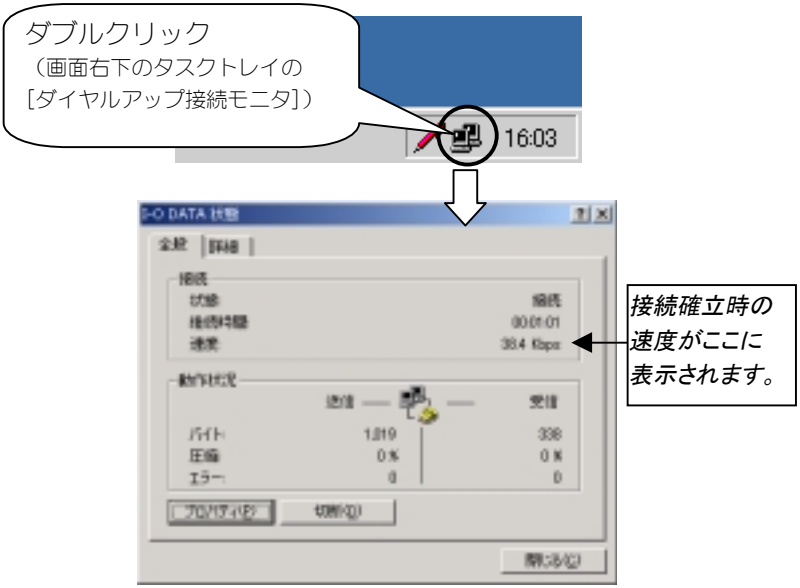
「回線が使用中です」などと表示された場合は…

【困ったときには】の 260 ページをご参照ください。

[ダイヤルアップ接続モニタ]アイコンが表示されない場合は…

【困ったときには】の 262 ページをご参照ください。

5 接続状況は、[ダイヤルアップ接続モニタ]アイコンを
ダブルクリックすれば確認できます。



注意

ここで表示される接続速度（画面例では 38.4Kbps）はパソコンと本製品間の通信速度です。（23 ページの手順 3 で指定した値）
実際の回線速度は 9.6Kbps です。
（パケット通信対応電話機の場合は最高 28.8Kbps まで）

6 ブラウザや電子メールソフトを起動してお楽しみください。
接続中は、ずっと[ダイヤルアップ接続モニタ]が表示されています。
また、接続中の携帯電話の液晶には「V42.bis」と表示されます。
（接続先によっては、「ASYNCDD」など表示が異なる場合があります。）

インターネットを終了する

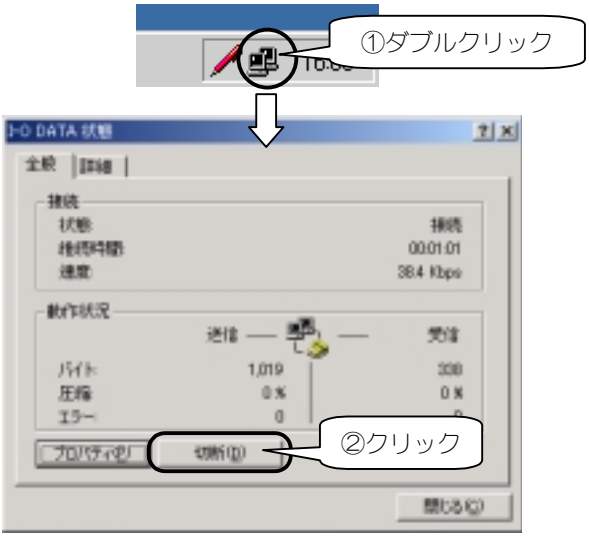
インターネットを終了する場合は、ブラウザや電子メールを終了するだけでなく、必ず以下の手順を行ってください。

注意

・ブラウザや電子メールを終わっただけでは電話回線は切断されません。必ず以下の[切断]ボタンをクリックしてください。クリック後、携帯電話の通話が終わっていること、また、[ダイヤルアップ接続モニタ]が消えることを必ず確認してください。
・携帯電話の通話だけを切ってもパソコン側の通信は終了しません。必ずパソコン側で切断してください。

1 インターネット利用が終わったら、画面右下の[ダイヤルアップ接続モニタ]をダブルクリックし、[切断]をクリックします。

これで電話回線が切断され、[ダイヤルアップ接続モニタ]が消えます。
携帯電話の通話も自動的に切断されますので、液晶表示を見て通話が終わっていることを確認してください。



以上で、インターネットは終了できました。

3 Windows Me で使うには

～ *準備編* ～

本製品で通信できるまでの流れ……58ページ
ステップ1 インストールする ……59ページ
ステップ2 インストールは正常ですか？ 67ページ
ステップ3 端末速度を設定する……69ページ
ステップ4 発信情報を設定する……73ページ
ステップ5 パソコンから取り出す場合…77ページ
ステップ6 再度取り付ける場合 ……79ページ

～ *インターネット接続編* ～

Windows Me でインターネットに
接続するには …80ページ
ステップ1 接続前の準備……81ページ
ステップ2 接続に必要なソフトウェア …82ページ
ステップ3 インターネットを楽しもう ……93ページ

準備編

本製品で通信できるまでの流れ

本製品を利用して、インターネットをはじめ通信ソフトなどを使用するには、最初に本製品を使用できるようにする設定、またパソコン側での設定が必要です。
ここでは、本製品を使用して通信できるようにするまでの手順について説明します。
以下の流れに沿ってお進みください。

ステップ1
インストールする ……59ページ
“本製品を使用できるようにする”サポートソフトのインストール手順について説明します。

ステップ2
インストールは正常ですか？ ……67ページ
【ステップ1】でのインストールが正常にできたかの確認方法について説明します。

ステップ3
端末速度を設定する ……69ページ
本製品とパソコン間の速度の設定手順について説明します。

ステップ4
発信情報を設定する ……73ページ
パソコンから発信するための情報の設定手順について説明します。

ステップ5
パソコンから取り出す場合 ……77ページ
本製品をパソコンのPCカードスロットから取り出す手順について説明します。

ステップ6
再度取りつける場合 ……79ページ
一度取り出した本製品を再度取りつける手順について説明します。

ステップ 1

準備編

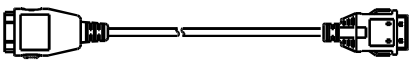
インストールする

本製品を使用するには、まず、「サポートソフト」ディスクのインストールが必要です。
次ページの手順でサポートソフトのバックアップディスクを作成してから、インストールしてください。

用意するもの

・本製品

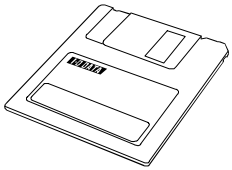
・添付の専用デジタルセルラーケーブル



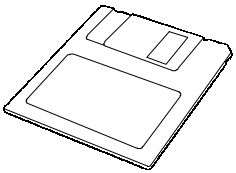
・携帯電話

※本書で説明している携帯電話のイラストは一例です。
お使いの機種により、異なります。
また、本製品との接続コネクタの場所も機種により異なります。

・添付の「サポートソフト」ディスク



・「サポートソフト」ディスクをバックアップするためのディスク(1 枚)



1.44MB でフォーマット済みの
空きフロッピーディスク(3.5 インチ 2HD)

「サポートソフト」ディスクをバックアップする

「サポートソフト」ディスクのバックアップディスクを作成します。

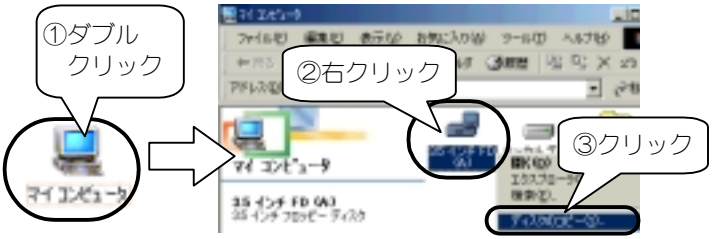
注意

本製品に添付されている「サポートソフト」ディスクを破損した場合の修理は有償です。万一に備えて、以下の手順で必ずバックアップディスクを作成し、バックアップディスクの方を次ページ以降でご使用ください。

1 バックアップ用ディスクを書き込みできるようにしておきます。

2 「サポートソフト」ディスクを書き込み禁止にし、
フロッピーディスクドライブにセットします。

3 Windows上の[マイコンピュータ]をダブルクリックし、
[3.5インチFD]を右クリックして[ディスクのコピー]を選択します。



4 ディスクのコピーを開始します。
画面の指示に従ってバックアップします。

「サポートソフト」をインストールする

本製品を使用するには、添付の「サポートソフト」ディスク内のドライバソフトをパソコンにインストールする必要があります。
ここでは、そのインストール手順について説明します。
インストール作業は、はじめて本製品を接続したときだけ行います。
次回からは、パソコンを起動すれば本製品を使用できます。

注意

インストールする際は、パソコンの電源を入れ、Windows が起動してから本製品を取り付けます。

1 本製品を差し込まずに、パソコンの電源を入れWindows Meを起動します。

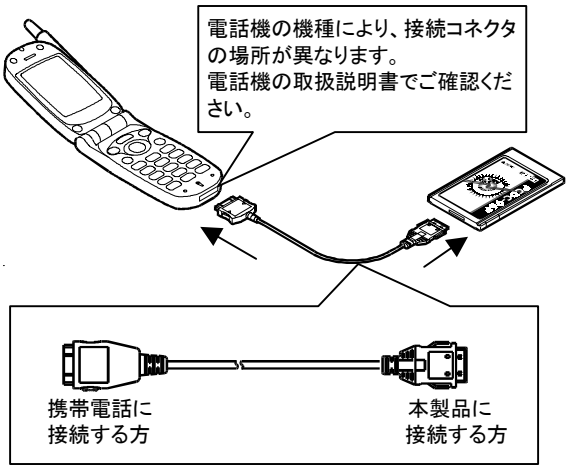
2 携帯電話の電源を入れます。

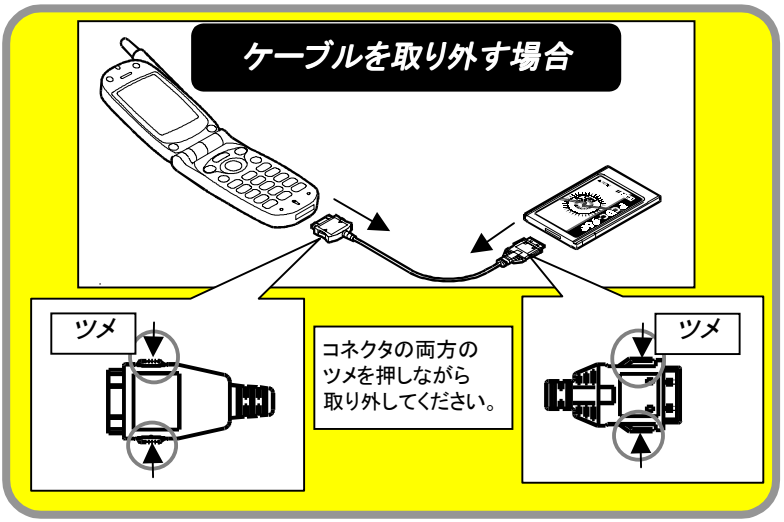
参考

手順3 で携帯電話と本製品を接続しますが、携帯電話の電源が入っている状態でも問題ありません。（接続後に携帯電話の電源を入れることもできます。）

3 携帯電話の接続コネクタのカバーを取り外し、本製品添付のケーブルで携帯電話と本製品を接続します。

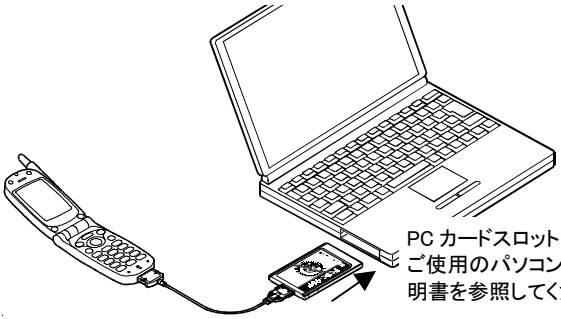
携帯電話にはカチッと音がするまで差し込んでください。
コネクタが入りにくいときは無理な力で挿入せず、コネクタの向き（裏表）を確認してください。
取り外したカバーはなくさないように保管してください。



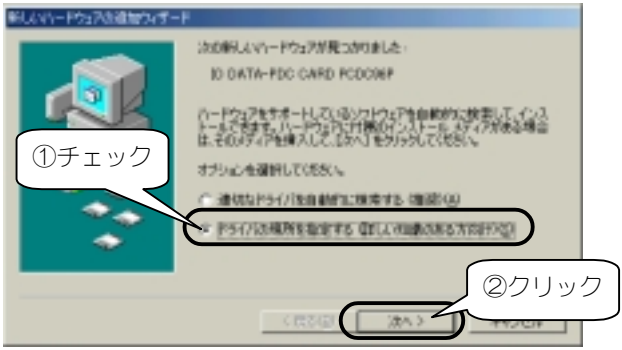


4 本製品を PC カードスロットに差し込みます。

ケーブルが本製品に接続されていることを確認後、本製品のラベル面を上にして、PCカードスロットの奥までしっかりと差し込みます。



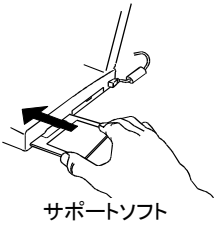
5 しばらくすると以下の画面が表示されます。
[ドライバの場所を指定する]をチェックし、
[次へ]ボタンをクリックします。



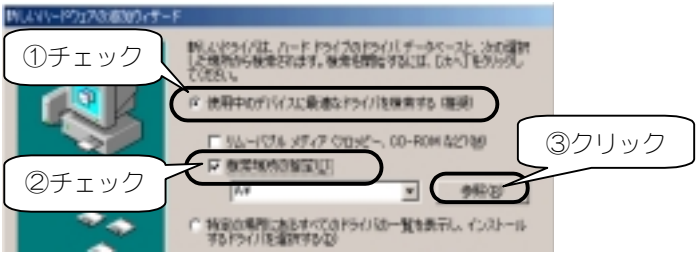
このインストール画面が
表示されない場合は…

【困ったときには】の
249 ページ
をご参照ください。

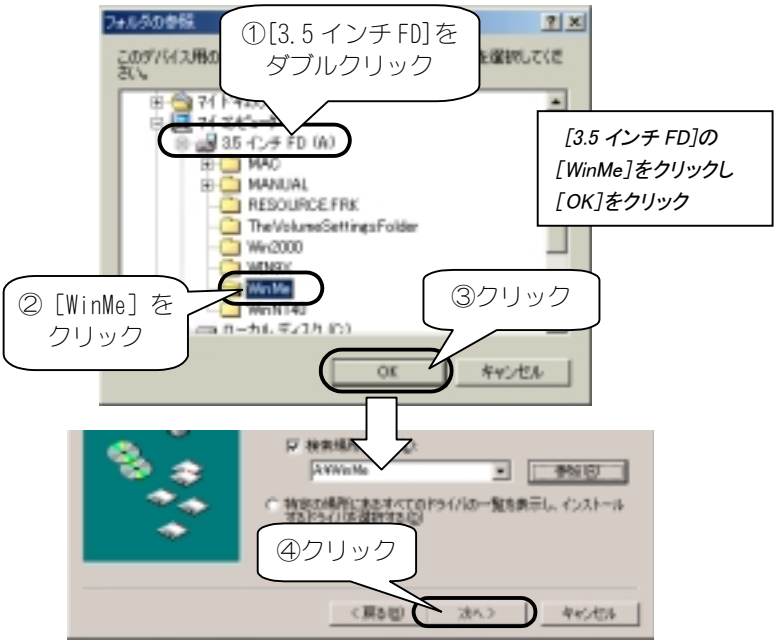
6 「サポートソフト」ディスクを
フロッピーディスクドライブにセットします。



7 [使用中のデバイスに…]にチェック後、[検索場所の指定]のみをチェックし、[参照]ボタンをクリックします。



8 [3.5 インチ FD](ここでは A:)内の「WinMe」を指定します。
指定後、[次へ]ボタンをクリックします。



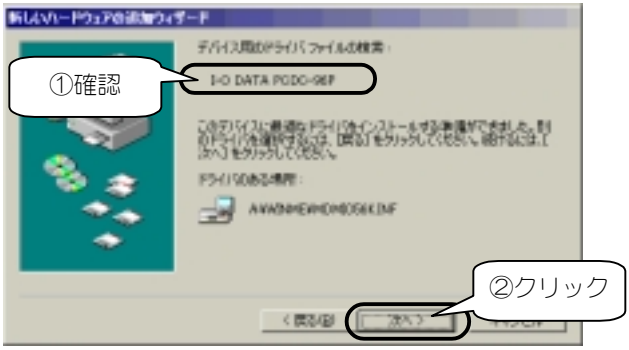
「このデバイス用のドライバが見つかりませんでした」と表示された場合は…

【困ったときには】の 251 ページをご参照ください。

「指定の場所にはお使いのハードウェアに関する情報がありません」と表示された場合

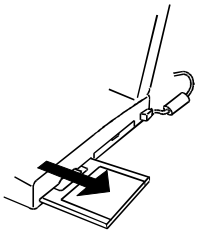
【困ったときには】の 251 ページをご参照ください。

9 [I-O DATA PCDC-96P]と表示されていることを確認して、[次へ]ボタンをクリックします。



10 [完了]ボタンをクリックします。
しばらく自動的に組み込みの動作が始まります。
その表示が消えるまでしばらくお待ちください。

11 しばらくして手順 **10** の画面が消えたら、
インストールは終了です。
「サポートソフト」ディスクを抜きます。



12 本製品を挿入したまま、
パソコンを再起動してください。

以上でインストールは終了です。
次は正しくインストールできたかを確認します。
次ページ【インストールは正常ですか？】へお進みください。

注意

Windows Me 使用中に本製品の動作を終了しないで PC カードスロットから取り出すと、予期しない障害が発生する可能性があります。
取り出す際には【パソコンから取り出す場合】(77 ページ)を参照してください。

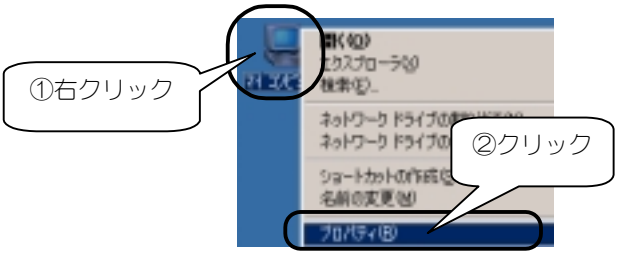
ステップ
2

準備編

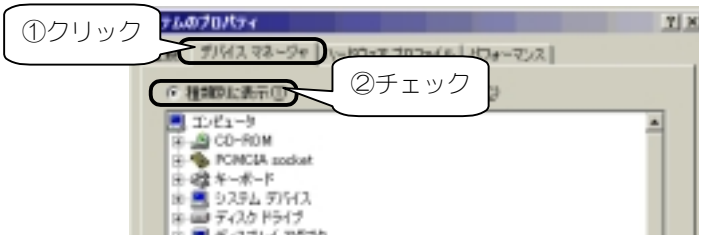
インストールは正常ですか？

【ステップ1】でのインストールが正常に終了すると、パソコンが本製品を正しく認識します。
ここでは、「***パソコンが本製品を正しく認識しているか***」を Windows 上で確認します。
本製品を PC カードスロットに差し込んだまま（専用ケーブルを携帯電話に接続した状態）で確認してください。

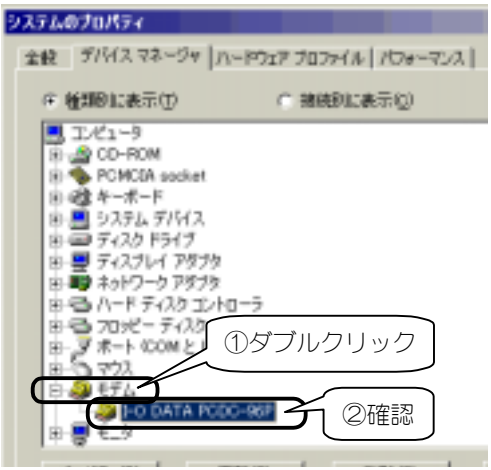
1 [マイコンピュータ]を右クリックして、
[プロパティ]をクリックします。



2 [デバイスマネージャ]タブをクリックし、
[種類別に表示]をチェックします。



3 [モデム]をダブルクリックして、
[I-O DATA PCDC-96P]が表示されていることを確認します。



「I-O DATA PCDC-96P」が表示されない、
あるいは、[！]マークがある場合は…

【困ったときには】の
252 ページ
をご参照ください。

4 [OK]ボタンをクリックして、
「システムのプロパティ」画面を閉じます。

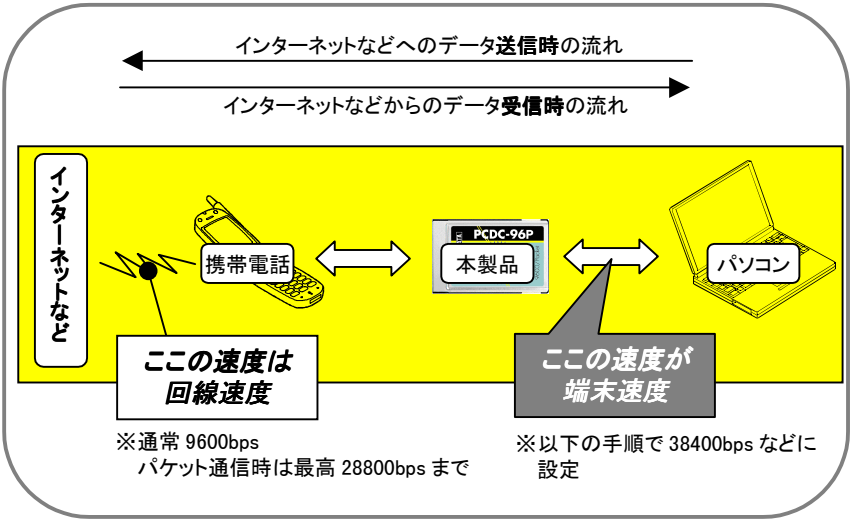
これでサポートソフトが正しくインストールされていることが確認できました。
次に端末速度の設定を行います。次ページへお進みください。

ステップ 3

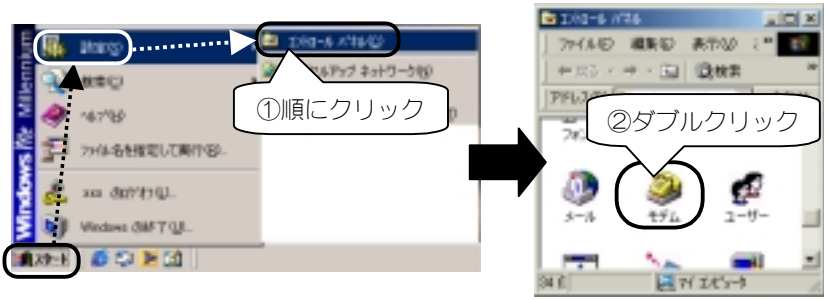
準備編

端末速度を設定する

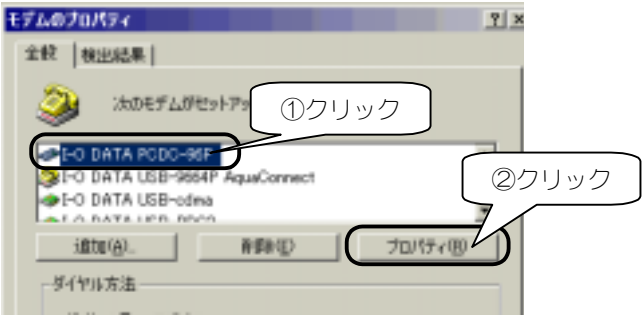
インストールが正常なことを確認したら、次に本製品とパソコン間の速度（**端末速度**）を設定します。
設定後、正常に本製品とパソコンが通信できるかを確認します。
設定と確認は、Windows の［モデム］アイコンで行います。
本製品を PC カードスロットに差し込んだまま（専用ケーブルを携帯電話に接続した状態）で設定および確認してください。



1 ［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］を開き、［モデム］アイコンをダブルクリックします。



2 [I-O DATA PCDC-96P]をクリック後、
[プロパティ]ボタンをクリックします。

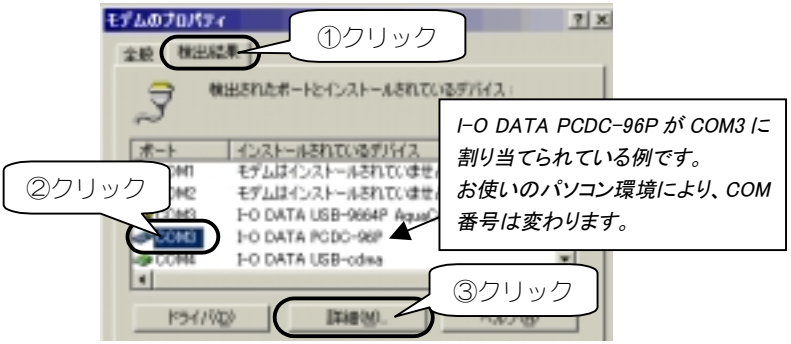


3 端末速度を設定します。
[最高速度]を選択肢中で一番速い速度に設定し、
[OK]ボタンをクリックします。

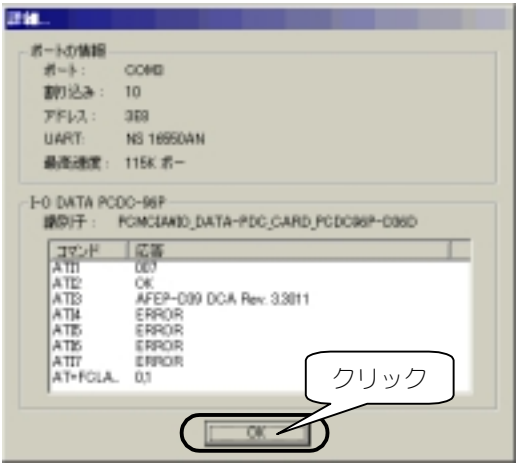
最高速度には選択できる速度のうち、最高の速度（38400bpsが望ましい）を設定しておくと、最大パフォーマンスが引き出せます。

4 端末速度を設定したら、次に本製品とパソコンが正常に通信できるかを確認します。

[検出結果]タブをクリックし、
[I-O DATA PCDC-96P]が表示されているポート(画面例ではCOM3 の部分)をクリック後、[詳細]ボタンをクリックします。
※COMの後の数字はお使いの環境によって異なります。



5 [モデムと通信しています]と表示され、しばらくして以下のように表示されたら[OK]ボタンをクリックします。
※[コマンド][応答]の部分が真っ白でなく、[AT……]と英数字が表示されたら、本製品は正常に認識されています。



「ポートが開けません」などと表示された場合は…

【困ったときには】の252 ページをご参照ください。

・この通信テストはパソコンと本製品間のテストであり、携帯電話を介して通信するテストではありません。
・ポートの情報には最高速度として「115Kボー」と表示されますが、実際の端末速度（パソコンと本製品間の速度）は、70 ページの手順3で指定した速度です。実際の回線速度は 9600bps です。（パケット通信対応電話機の場合は最高 28800bps までです。）
・[応答]に[ERROR]と表示されていますが、動作上問題ありません。

6 [OK]ボタンをクリックし、
[モデムのプロパティ]画面を閉じます。

ここまでで、本製品とパソコンが正しく通信できることが確認できました。
次に次ページで発信情報を設定してください。

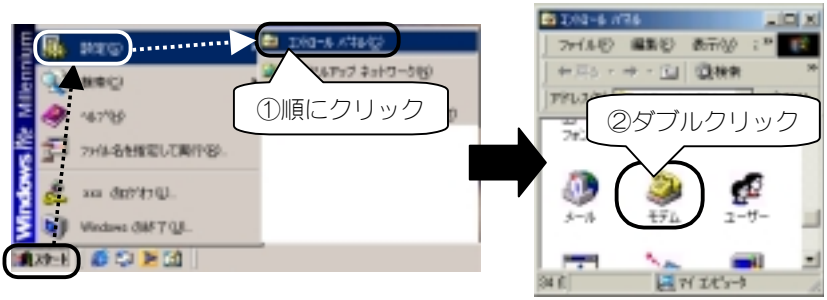
ステップ 4

準備編

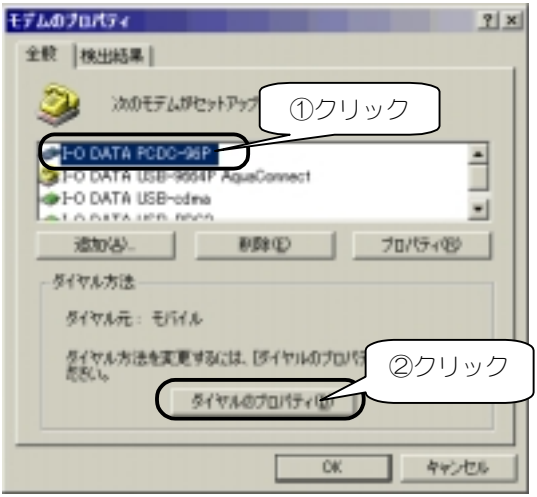
発信情報を設定する

インターネットをはじめ通信ソフトなどを利用するには、パソコンから発信するための情報（発信情報）を設定しておく必要があります。
設定は、Windows の［モデム］アイコンで行います。
本製品を PC カードスロットに差し込んだまま（専用ケーブルを携帯電話に接続した状態）で設定してください。

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、
[モデム]アイコンをダブルクリックします。

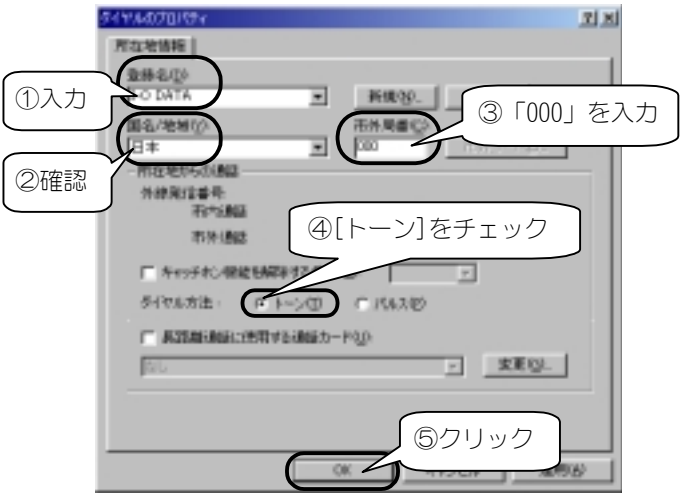


2 [I-O DATA PCDC-96P]をクリック後、
[ダイヤルのプロパティ]ボタンをクリックします。



3 必要な情報を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

No.	項目	設定内容
①	登録名	任意の登録名を入力
②	国名／地域	[日本]であることを確認
③	市外局番	[000]などの存在しない数値を入力 ※携帯電話は市外局番から入力するので、このような仮の値を設定しておきます。 （設定しないと市外局番から発信できません。）
④	ダイヤル方法	[トーン]を選択



4 [OK]ボタンをクリックし、[モデムのプロパティ]画面を閉じます。

5 パケット通信対応電話機でパケット通信をする場合のみ

76ページを参照して、追加設定を行ってください。

※パケット通信を行うには、携帯電話のオプション契約（パケット使用料）が別途必要です。また、プロバイダがパケット通信に対応している必要があります。

※以下の場合は、設定する必要はありません。

- （パケット通信でない）通常のデータ通信を行う場合
- パケット通信対応でない電話機で使用する場合
- パケット通信対応か不明な場合

ここまでで、本製品がパソコンに正しく認識され、使用できることが確認できました。
1度これらのインストールや設定を行えば、今後はパソコンを起動するだけで使えるようになります。

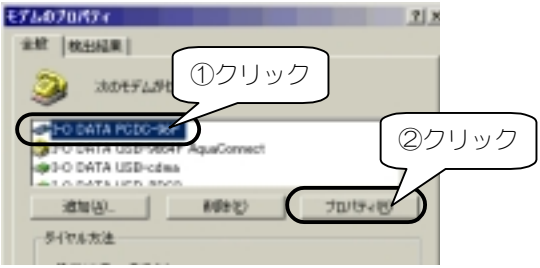
実際に本製品を使う前に、【ステップ5】(77 ページ)および【ステップ6】(79 ページ)を参照して、本製品の正しい取り出し方・取り付け方をマスターしてください。

本製品を使って…

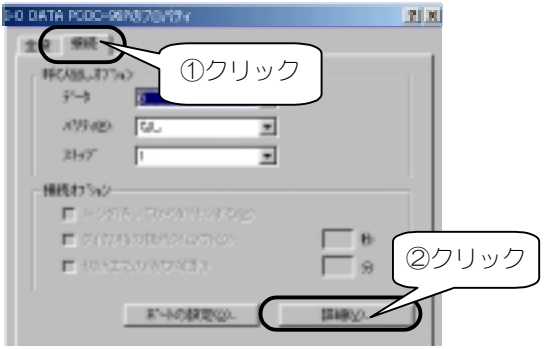
インターネットを楽しみたい	→【Windows Me でインターネットに接続するには】(80 ページ)へ
FAX 通信したい	→【パソコンからダイレクトに FAX 送信したい】(271 ページ)へ
通話料金 10 円でメールの送受信をしたい	→【10 円メールを使いたい】(271 ページ)へ
Lotus NOTES でモバイル通信したい	→【Lotus NOTES でモバイル通信したい】(272 ページ)へ

●パケット通信対応電話機でパケット通信をする場合の追加手順

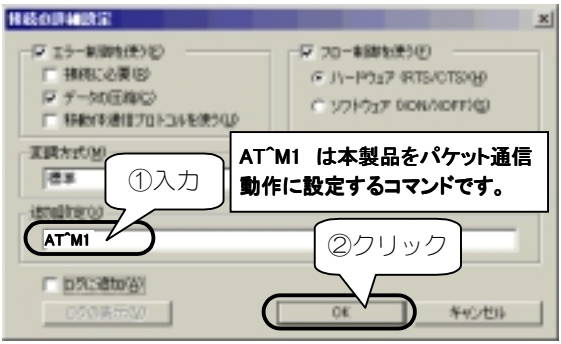
1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[モデム]を開き、[I-O DATA PCDC-96P]をクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックします。



2 [接続]タブをクリックし、[詳細]ボタンをクリックします。



3 [追加設定]に半角で「AT^M1」と入力し、[OK]ボタンをクリックします。後は[OK]ボタンや[閉じる]ボタンをクリックして画面を閉じてください。



ステップ 5

準備編

パソコンから取り出す場合

本製品を使用しなくなった場合などに、パソコンの PC カードスロットから取り出すには、以下の方法があります。

・パソコンの電源を切った後に取り出す

・Windows Me を使用中に本製品の動作を終了して取り出す

Windows Me を使用中に取り出す際に、以下の本製品の動作を終了する手順を行わずに取り出すと、予期しない障害が発生する可能性があります。

取り出す際には、本製品を使用していない（回線切断中である）事を確認した後、必ず以下の手順を行ってください。

注意

以下の動作の終了作業を行うと、実際に本製品を抜かなくても、本製品は使えなくなります。再度使いたいときは、いったん本製品を PC カードスロットから取り出してから再び差し込んでください。

本製品の動作を終了する

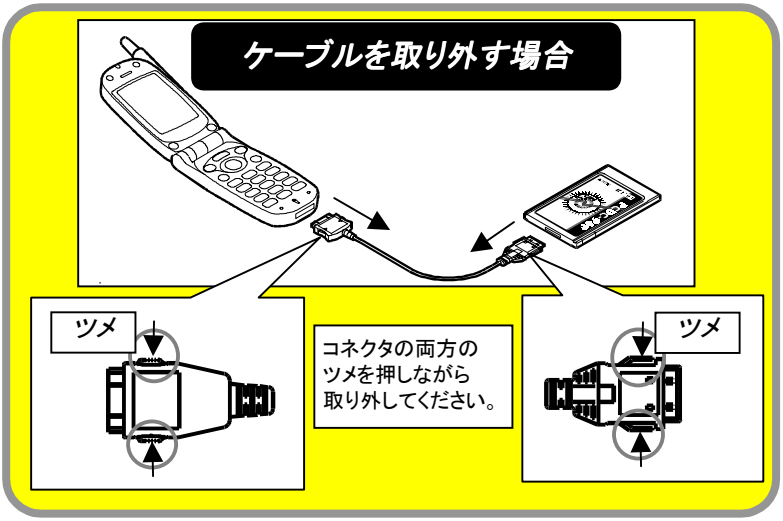
1 ディスプレイ画面右下のタスクトレイにあるPCカードのアイコンをクリックし、[I-O DATA PCDC-96Pの停止]をクリックします。

2 [OK]ボタンをクリック後、
本製品をPCカードスロットから取り出してください。

携帯電話を本製品から取り外す

携帯電話を本製品から取り外す際は、以下のように行ってください。

1 携帯電話に接続しているケーブルの接続コネクタの左右のツメを押しながら、引き抜いてください。



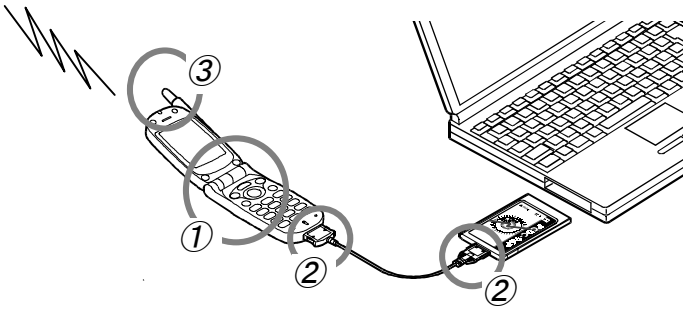
ステップ 6

準備編

再度取り付ける場合

本製品は、パソコンの電源を入れる前でも、また、パソコンの電源を入れた後（Windows を起動した後）のどちらでもパソコンに取り付けることができます。

ただし、必ず以下のことを確認してから、本製品を PC カードスロットに差し込んでください。



チェック①：携帯電話の電源

携帯電話の電源が入っていることを確認してください。

チェック②：携帯電話と本製品の接続

携帯電話と本製品が添付のケーブルで接続されていることを確認してください。

※携帯電話の電源が入っている状態でも問題ありません。

チェック③：携帯電話の電波の状態

携帯電話の電波の状態が良好なことを確認してください。

※携帯電話でその場から正常に通話できることを確認しておいてください。

注意

携帯電話の電波が弱い場合は、正常にインターネットなどに接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることを、携帯電話の液晶画面などで確認してから、インターネットなどに接続してください。

インターネット接続編

Windows Me で インターネットに接続するには

【準備編】（【ステップ1】（59 ページ）～【ステップ6】（79 ページ））が終了したら、いよいよインターネットに接続してみましょう。

ステップ 1

接続前の準備 ……81ページ

インターネットに接続する上で必要な確認事項について説明します。

- プロバイダとの契約
- 本製品、携帯電話の準備

ステップ 2

接続に必要なソフトウェア ……82ページ

インターネットに接続するために必要なソフトウェアについて説明します。

- ダイヤルアップアダプタ
- TCP/IP
- ダイヤルアップネットワーク

ステップ 3

インターネットを楽しもう ……93ページ

【ステップ2】で設定した［ダイヤルアップネットワーク］で実際にインターネットに接続してみましょう。

ステップ 1

インターネット接続編

接続前の準備

インターネットに接続するには、以下をまず準備しておく必要があります。順にチェックしておいてください。

準備1:プロバイダとの契約

インターネット・サービスを受けるために、商用プロバイダとダイヤルアップ IP 接続の契約を行ってください。

※パケット通信を行う場合にはキャリアメーカーとパケット通信の契約も必要です。

契約時に入手した資料について

プロバイダとの契約後、パソコンからインターネット接続するために以下が記載されている資料を受け取ります。

パソコンにインターネット接続するための設定をする際（次ページ【ステップ2】）、また、インターネットに接続する際（【ステップ3】93 ページ）に必要となりますので、準備しておいてください。

- ユーザー名
- パスワード
- 接続先の電話番号
- ネームサーバーアドレス※
  - プライマリ DNS サーバー
  - セカンダリ DNS サーバー

※ネームサーバーアドレス（プライマリ DNS サーバー、セカンダリ DNS サーバー）は、プロバイダによっては指定がない場合もあります。指定がない場合は特に設定する必要はありません。

準備2:パソコン、本製品、携帯電話の準備

パソコン、本製品、携帯電話があればインターネットに接続できます。ただし、以下の確認を行っておいてください。

チェック1:携帯電話の電源

携帯電話の電源が入っていることを確認してください。

チェック2:携帯電話と本製品の接続

携帯電話と本製品が添付のケーブルで接続されていることを確認してください。

※携帯電話の電源が入っていても、本製品を接続できます。

チェック3:携帯電話の電波の状態

携帯電話の電波の状態が良好なことを確認してください。

ステップ 2

インターネット接続編

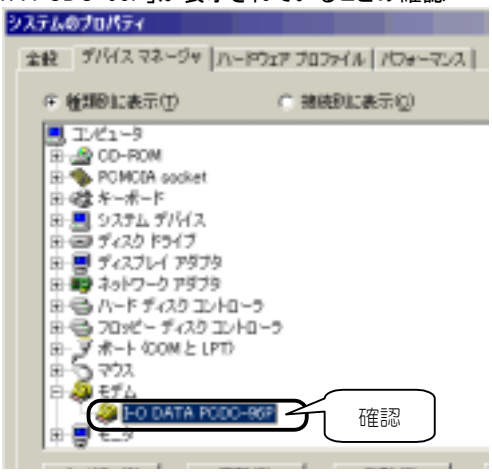
接続に必要なソフトウェア

インターネットに接続するには、以下のソフトウェアがインストールおよび設定されている必要があります。

①本製品のドライバソフトウェア

【インストールする】(59 ページ)でインストールした本製品を使用するためのソフトウェアです。
【インストールは正常ですか？】(67 ページ)で正常にインストールされているか確認しておきましょう。

[デバイスマネージャ]画面の[モデム]の下に
「I-O DATA PCDC-96P」が表示されていることの確認



②ダイヤルアップを行うためのソフトウェア

84 ページ以降で説明します。

ダイヤルアップを行ってプロバイダに接続するためのソフトウェアです。
詳細な設定は、84 ページ以降を参照してください。

③Web ブラウザやメールソフトウェア

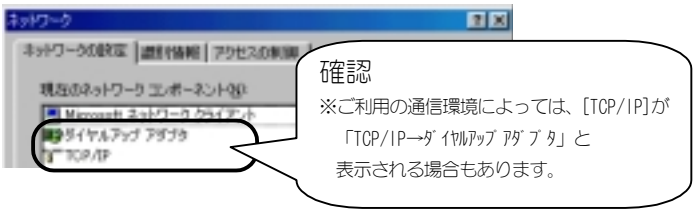
インターネットに接続する際に特に必要ではありませんが、接続後に、ホームページなどを見るためのソフトウェアです。
Windows Me には、Web ブラウザとして InternetExplorer が標準でインストールされています。

次ページ以降で[ダイヤルアップアダプタ]と[TCP/IP]の確認、および、[ダイヤルアップアダプタ]の設定について説明します。
はじめてインターネットに接続する場合、また、以前の設定はそのまま残して新しい設定を作る場合にも、次ページ以降を参照してください。

[ダイヤルアップアダプタ]と[TCP/IP]を確認する

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。

2 [ダイヤルアップアダプタ]と[TCP/IP](または[TCP/IP->ダイヤルアップアダプタ])があることを確認し、[OK]ボタンをクリックします。



[ダイヤルアップアダプタ]や[TCP/IP]が表示されない場合は…

【困ったときには】の257 ページをご参照ください。

[ダイヤルアップネットワーク]を設定する

インターネットに接続するには、パソコンからプロバイダなどにダイヤルアップするためのソフトウェア[ダイヤルアップネットワーク]を設定する必要があります。

はじめて［ダイヤルアップネットワーク］の設定を行う場合、または、以前の設定はそのまま残して新しい設定を作る場合は、次ページ【新しい設定を作るとき】を行います。

参考1

ダイヤルアップとは

→電話回線などの公衆網を利用して、インターネットに接続できる通信業者(プロバイダ)に接続すること。

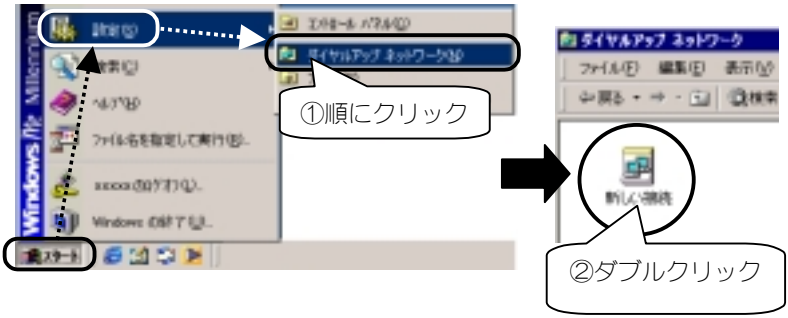
参考2

すでに[ダイヤルアップネットワーク]の設定を行っていて、設定内容を変更する場合は 90 ページ【設定を変更するとき】をご覧ください。

新しい設定を作るとき

1 インターネットプロバイダから入手した[ユーザー名]や[パスワード]などが記載されている資料をご用意ください。

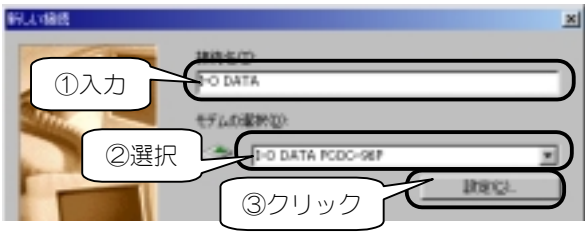
2 [スタート]→[設定]→[ダイヤルアップネットワーク]を順にクリックし、[新しい接続]アイコンをダブルクリックします。



[ダイヤルアップネットワーク]が表示されない場合は…

【困ったときには】の 255 ページをご参照ください。

3 [接続名]欄に任意の接続名(お好きな名前)を入力して、モデムの選択欄から[I-O DATA PCDC-96P]を選び、[設定]ボタンをクリックします。

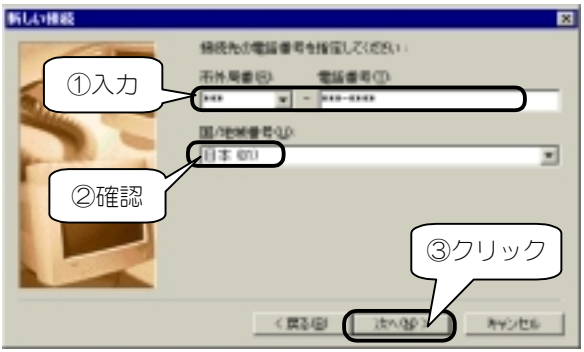


4 [全般]タブで[最高速度]が[38400bps]となっていることを確認し、[OK]ボタンをクリックします。

5 [新しい接続]画面に戻りますので、[次へ]ボタンをクリックします。

6 以下を設定後、[次へ]ボタンをクリックします。

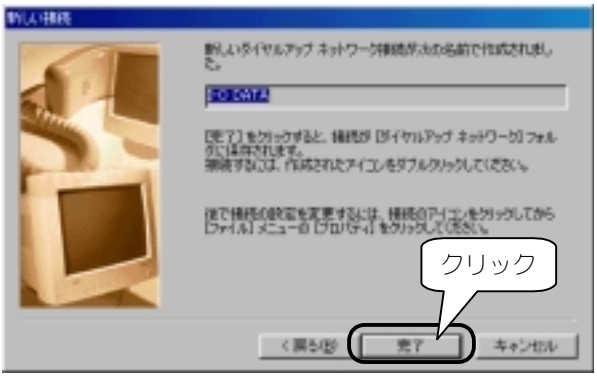
市外局番	接続先(プロバイダ)の市外局番 ※ダイヤル先が市内であっても、必ず市外局番から入力してください。
電話番号	接続先(プロバイダ)の電話番号
国番号	[日本]



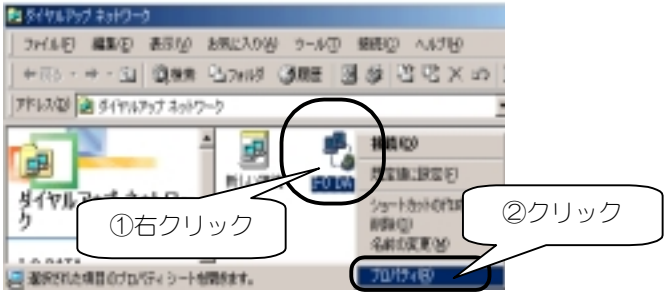
注意

[市外局番][電話番号]欄の「*」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号を入力してください。**

7 [完了]ボタンをクリックします。



8 新しく作成したアイコンが[ダイヤルアップネットワーク]画面に手順**3**で指定した接続名が表示されます。
新しく作成したアイコンを右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。

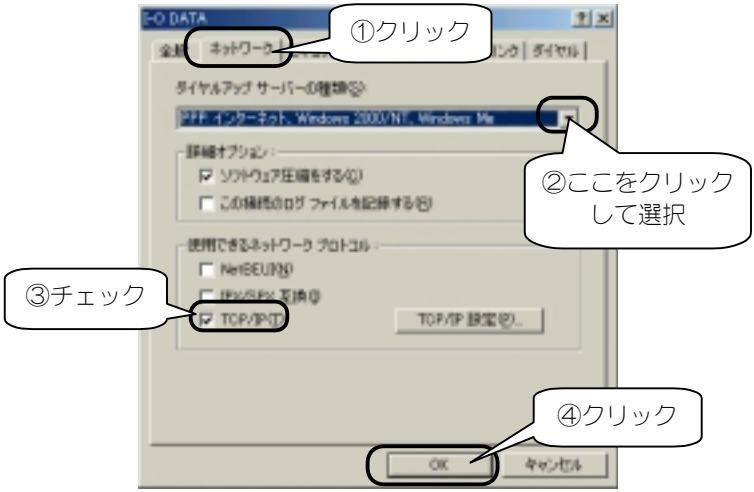


9 [ネットワーク]タブをクリックし、
以下のように設定します。

・[ダイヤルアップサーバーの種類]では
[PPP:インターネット、Windows 2000/NT、Windows Me]を選択

・[使用できるネットワークプロトコル]で[TCP/IP]のみをチェック

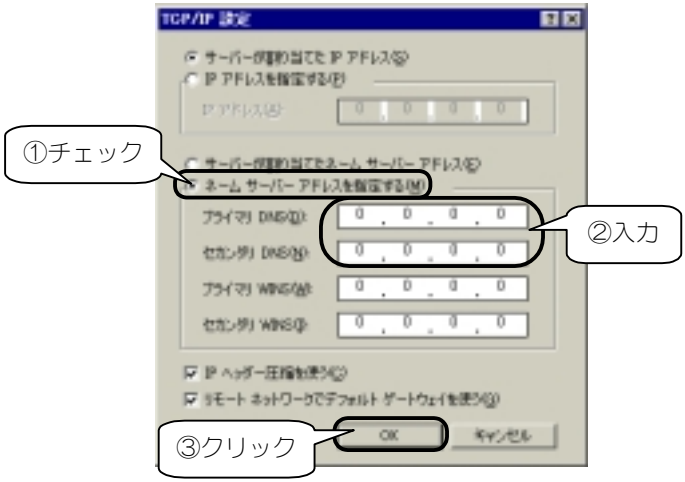
プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合は次ページを参照してください。
設定後、[OK]ボタンをクリックします。



●プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合

1 前ページ手順**9**の画面で、[TCP/IP 設定]ボタンをクリックします。

2 以下を設定します。
①[ネームサーバーアドレスを指定する]をチェックします。
②[プライマリ DNS]欄にプライマリ DNS を、[セカンダリ DNS]欄にセカンダリ DNS の値を入力します。
設定後、[OK]ボタンをクリックします。



注意

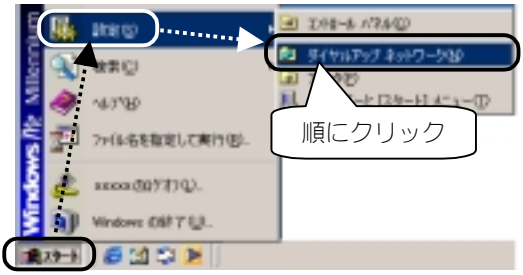
・ネームサーバーアドレスの入力内容がわからない場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。
・プロバイダによっては、IP アドレスの設定が必要な場合もあります。必要な設定内容については、ご契約のプロバイダに確認してください。

以上でダイヤルアップネットワークの設定は終了です。
【インターネットを楽しもう】(93 ページ)を参照して、実際にインターネットに接続してみましょう。

設定を変更するとき

本製品を使用する前に、すでに他のモデムなどを使用していて、［ダイヤルアップネットワーク］の設定を終了している場合には、以下の手順のように、［接続方法］を本製品に切り替えるだけでも設定できます。

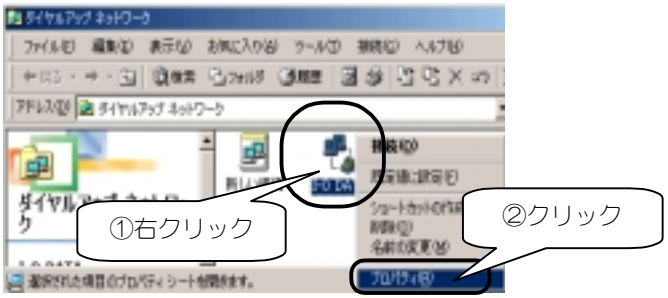
1 [スタート]→[設定]→[ダイヤルアップネットワーク]を順にクリックします。



［ダイヤルアップネットワーク］が表示されない場合は…

【困ったときには】の 255 ページをご参照ください。

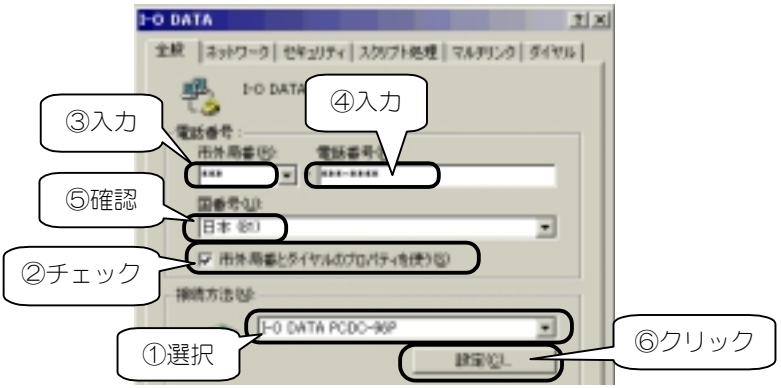
2 変更したい接続のアイコンを右クリックして[プロパティ]をクリックします。



3 以下を設定します。

①[接続方法]に[I-O DATA PCDC-96P]を選びます。
②[市外局番とダイヤルのプロパティを使う]をチェックします。
③[市外局番]欄には、接続先の市外局番を入力します。
④[電話番号]欄には、接続先の電話番号を入力します。
⑤[国番号]欄は、「日本」であることを確認します。

設定後、[設定]ボタンをクリックします。



注意

[市外局番][電話番号]欄の「*」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号を入力してください。**

4 [全般]タブで[最高速度]が[38400bps]となっていることを確認し、[OK]ボタンをクリックします。

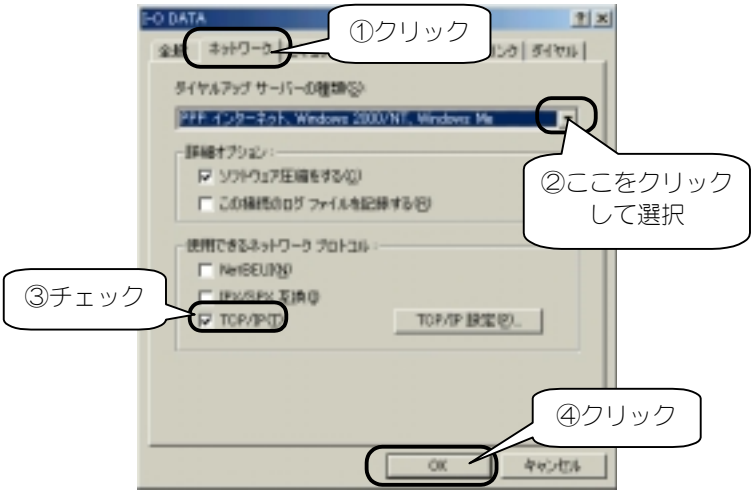
5 [ネットワーク]タブをクリックし、
以下のように設定します。

・[ダイヤルアップサーバーの種類]では
[PPP:インターネット、Windows 2000/NT、Windows Me]を選択

・[使用できるネットワークプロトコル]で[TCP/IP]のみにチェック

プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合は89ページを参照し、設定してください。

設定後、[OK]ボタンをクリックします。



6 [OK]ボタンをクリックして、画面を閉じます。

これでダイヤルアップネットワークの設定は終了です。
【インターネットを楽しもう】(次ページ)を参照して、実際にインターネットに接続してみましょう。

ステップ
3

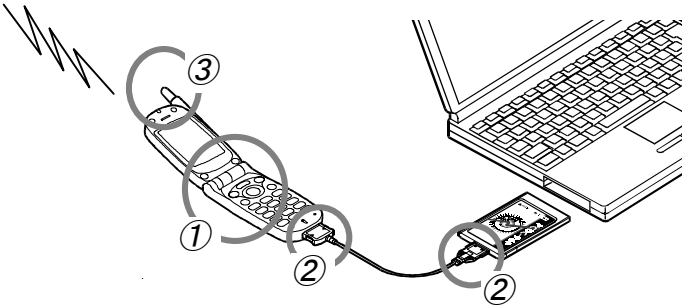
インターネット接続編

インターネットを楽しもう

ここまでの設定がすべて終了すれば、いよいよインターネットへの接続です。

接続する際のチェック項目

インターネットに接続する際は、携帯電話を操作する必要は特にありませんが、毎回以下を確認してから、本製品をパソコンに取り付け、インターネットに接続してください。



チェック①：携帯電話の電源

携帯電話の電源が入っていることを確認してください。

チェック②：携帯電話と本製品の接続

携帯電話と本製品が添付のケーブルで接続されていることを確認してください。

※携帯電話の電源が入っている状態でも問題ありません。

チェック③：携帯電話の電波の状態

携帯電話の電波の状態が良好なことを確認してください。

※携帯電話でその場から正常に通話できることを確認しておいてください。

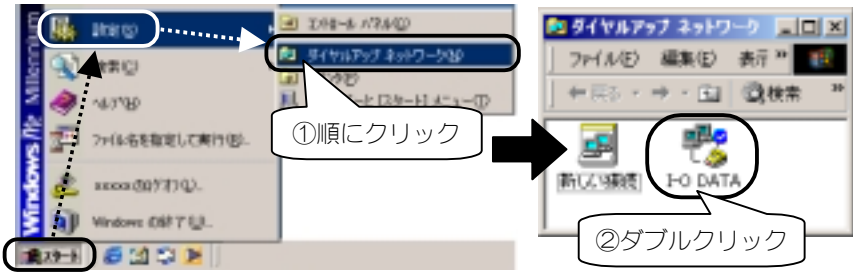
注意

携帯電話の電波が弱い場合は、正常にインターネットなどに接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることを、携帯電話の液晶画面などで確認してから、インターネットなどに接続してください。

インターネットに接続する

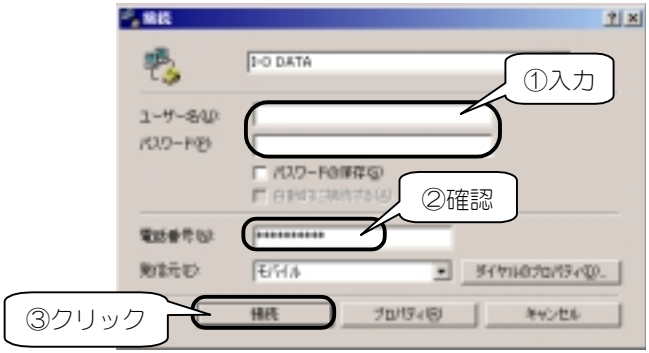
インターネットへの接続は、【[ダイヤルアップネットワーク] を設定する】(84 ページ) で作成した[ダイヤルアップネットワーク]で行います。

1 [スタート]→[設定]→[ダイヤルアップネットワーク]を順にクリックして、作成した接続のアイコンをダブルクリックします。



2 プロバイダから案内されたユーザー名とパスワードを入力して、[電話番号]欄に発信する番号が表示されていることを確認後、[接続]ボタンをクリックします。

[接続]ボタンをクリックすると、プロバイダと通信を開始します。



注意

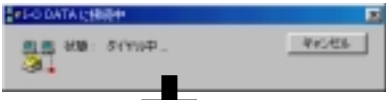
・[電話番号]欄の「********」は、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号が市外局番から表示されていることを確認してください。
表示されていない場合は、[ダイヤルのプロパティ]ボタンをクリックし、74 ページ手順3 の設定になっているかご確認ください。**
・パスワードは「***」と表示され、入力内容が確認できないので、アルファベットの大文字小文字などを間違えないように注意してください。**

注意

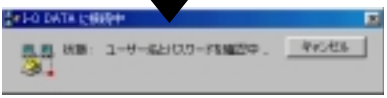
・[パスワードの保存]をチェックすると、次回からパスワードが「*」印で表示されますので、パスワードを入力する必要がありません。セキュリティの必要に応じてお使いください。
・他のモデムも併用している場合、[発信元]欄に本製品用の接続名（85 ページの手順3 の①で設定した接続名）を選択してください。

3 しばらくして「. . . に接続中」という画面が消えたら、完了です。

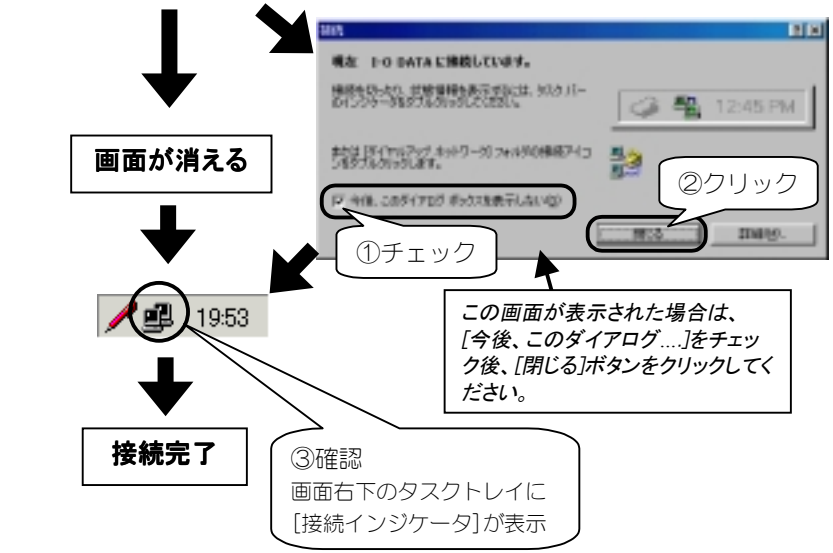
パソコン画面右下のタスクトレイに[接続インジケータ]アイコンが表示されます。



（携帯電話には「ASYNC」を表示）



（携帯電話には「V42.bis」や「ASYNCDD」などを表示）



「回線が使用中です」などと表示された場合は…

【困ったときには】の 260 ページをご参照ください。

[接続インジケータ]アイコンが表示されない場合は…

【困ったときには】の 262 ページをご参照ください。

4 接続状況は、[接続インジケータ]アイコンを
ダブルクリックすれば確認できます。

注意

ここで表示される接続速度（画面例では 38,400bps）はパソコンと本製品間の通信速度になります（70 ページの手順3で指定した値）。実際の回線速度は 9.6Kbps です。（パケット通信対応電話機の場合は最高 28.8Kbps までです。）

5 ブラウザや電子メールソフトを起動してお楽しみください。
接続中は、常時[接続インジケータ]が表示されています。
また、接続中の携帯電話の液晶には「V42.bis」と表示されます。
接続先によっては、「ASYNCDD」など表示されます。

インターネットを終了する

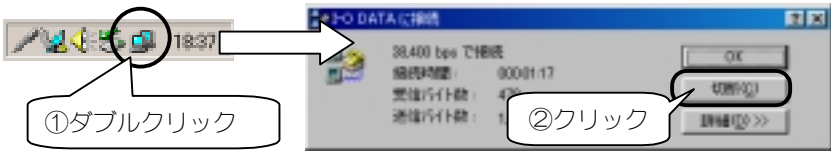
インターネットを終了する場合は、ブラウザや電子メールを終了するだけでなく、必ず以下の手順を行ってください。

注意

・ブラウザや電子メールを終わっただけでは電話回線は切断されません。必ず以下の[切断]ボタンをクリックしてください。クリック後、携帯電話の通話が終わっていること、また、[接続インジケータ]が消えることを必ず確認してください。
・携帯電話の通話だけを切ってもパソコン側の通信は終了しません。必ずパソコン側で切断してください。

1 インターネット利用が終わったら、画面右下の[接続インジケータ]をダブルクリックし、[切断]ボタンをクリックします。

これで電話回線が切断され、画面右下の[接続インジケータ]が消えます。
携帯電話の通話も自動的に切断されますので、液晶表示を見て通話が終わっていることを確認してください。



以上で、インターネットは終了できました。

MEMO

4 Windows 98/95 で使うには

～ 準備編 ～

本製品で通信できるまでの流れ…… 100ページ
ステップ1 事前の準備 …… 101ページ
ステップ2 インストールする …… 104ページ
ステップ3 インストールは正常ですか？123ページ
ステップ4 端末速度を設定する…… 125ページ
ステップ5 発信情報を設定する…… 129ページ
ステップ6 パソコンから取り出す場合… 133ページ
ステップ7 再度取り付ける場合 …… 135ページ

～ インターネット接続編 ～

Windows 98/95 でインターネットに
接続するには … 136ページ
ステップ1 接続前の準備…… 137ページ
ステップ2 接続に必要なソフトウェア … 138ページ
ステップ3 インターネットを楽しもう … 150ページ

～ 添付ソフト編 ～

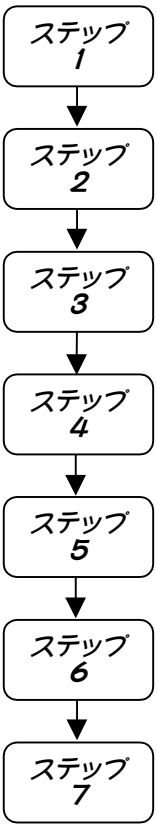
「回線モニター」を使う …… 155ページ
（Windows 98/95 のみ対応）

本製品の準備編

本製品で通信できるまでの流れ

本製品を利用して、インターネットをはじめ通信ソフトなどを使用するには、最初に本製品を使用できるようにする設定、またパソコン側での設定が必要です。

ここでは、本製品を使用して通信できるようにするまでの手順について説明します。以下の流れに沿ってお進みください。



事前の準備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ *101ページ*
本製品を使用する上で必要な事前の準備について説明します。

インストールする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ *104ページ*
“本製品を使用できるようにする”サポートソフトのインストール手順について説明します。

インストールは正常ですか？・・・・・・・・・ *123ページ*
【ステップ1】でのインストールが正常にできたかの確認方法について説明します。

端末速度を設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・ *125ページ*
本製品とパソコン間の速度の設定手順について説明します。

発信情報を設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・ *129ページ*
パソコンから発信するための情報の設定手順について説明します。

パソコンから取り出す場合・・・・・・・・・・・・ *133ページ*
本製品をパソコンのPCカードスロットから取り出す手順について説明します。

再度取りつける場合・・・・・・・・・・・・・・・・・ *135ページ*
一度取り出した本製品を再度取りつける手順について説明します。

ステップ 1

準備編

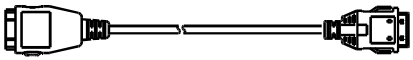
事前の準備

本製品を使用する前に、以下の準備、次ページでのバックアップディスクの作成、パソコンの PC カードのドライバの確認を行ってください。

用意するもの

・本製品

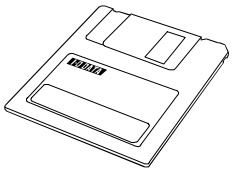
・添付の専用デジタルセルラーケーブル



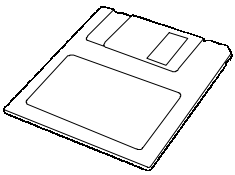
・携帯電話

※本書で説明している携帯電話のイラストは一例です。
お使いの機種により、異なります。
また、本製品との接続コネクタの場所も機種により異なります。

・添付の「サポートソフト」ディスク



・「サポートソフト」ディスクをバックアップするためのディスク(1 枚)



1.44MB でフォーマット済みの
空きフロッピーディスク(3.5 インチ 2HD)

「サポートソフト」ディスクをバックアップする

「サポートソフト」ディスクのバックアップディスクを作成します。

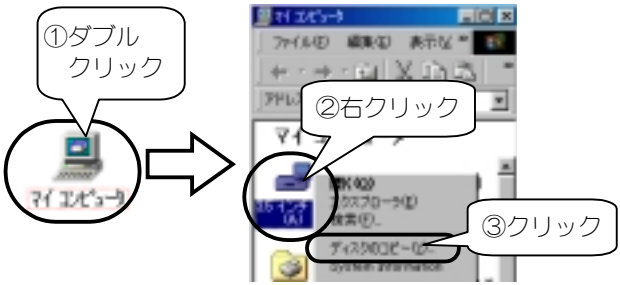
注意

本製品に添付されている「サポートソフト」ディスクを破損した場合の修理は有償です。万一に備えて、以下の手順で必ずバックアップディスクを作成し、バックアップディスクの方を次ページ以降でご使用ください。

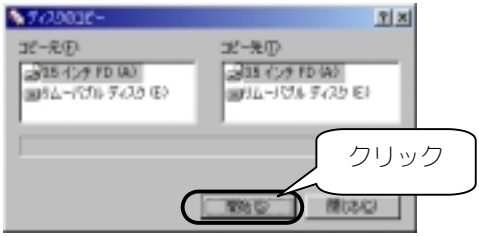
1 バックアップ用ディスクを書き込みできるようにしておきます。

2 「サポートソフト」ディスクを書き込み禁止にし、
フロッピーディスクドライブにセットします。

3 Windows上の[マイコンピュータ]をダブルクリックし、
[3.5インチFD]を右クリックして[ディスクのコピー]を選択します。



4 ディスクのコピーを開始します。
画面の指示に従ってバックアップします。



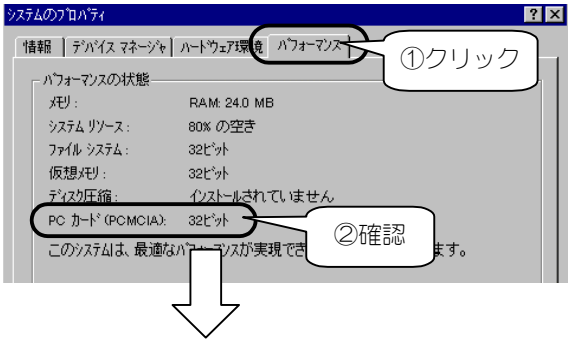
パソコンの PC カードドライバを確認する

本製品は、PC カードです。
パソコンで本製品を使用するには、パソコンに PC カードのドライバがインストールされている必要があります。
以下の手順で PC カードのドライバを確認してください。

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動します。

2 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、[システム]アイコンをダブルクリックします。

3 [パフォーマンス]タブをクリックし、[PCカード(PCMCIA)]のドライバを確認します。
以下のように、[32ビット]となっていることを確認してください。



32 ビットになっていない場合

[キャンセル]ボタンをクリックして画面を閉じ、[コントロールパネル]の[PC カード(PCMCIA)]アイコンをダブルクリックします。PC カードウィザードが起動しますので、画面の指示に従って進めてください。

ステップ 2

準備編

インストールする

本製品を使用するには、添付の「サポートソフト」ディスク内のドライバソフトをパソコンにインストールする必要があります。
ここでは、そのインストール手順について説明します。
インストール作業は、はじめて本製品を接続したときだけ行います。
次回からは、パソコンを起動すれば本製品を使用できます。

ただし、Windows 98 と Windows 95 ではインストール手順が異なります。
以下の該当個所を参照してください。

Windows 98 の場合 →【Windows 98 でインストールする】(次ページ)～
Windows 95 の場合 →【Windows 95 でインストールする】(111 ページ)～

Windows 98 でインストールする

ここでは、Windows 98 でのインストール手順について説明します。

注意

インストールする際は、パソコンの電源を入れ、Windows が起動してから本製品を取り付けます。

1 本製品を差し込まずに、パソコンの電源を入れ Windows 98を起動します。

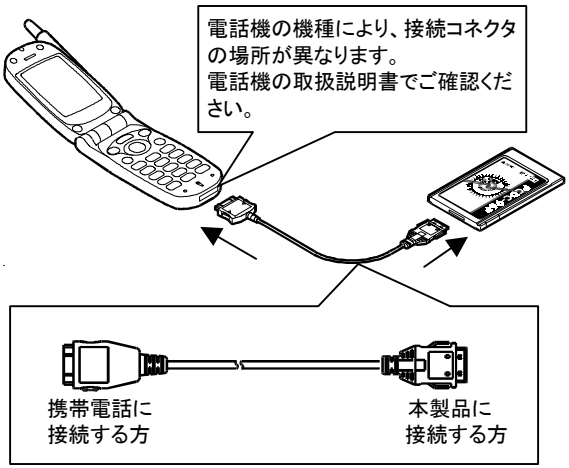
2 携帯電話の電源を入れます。

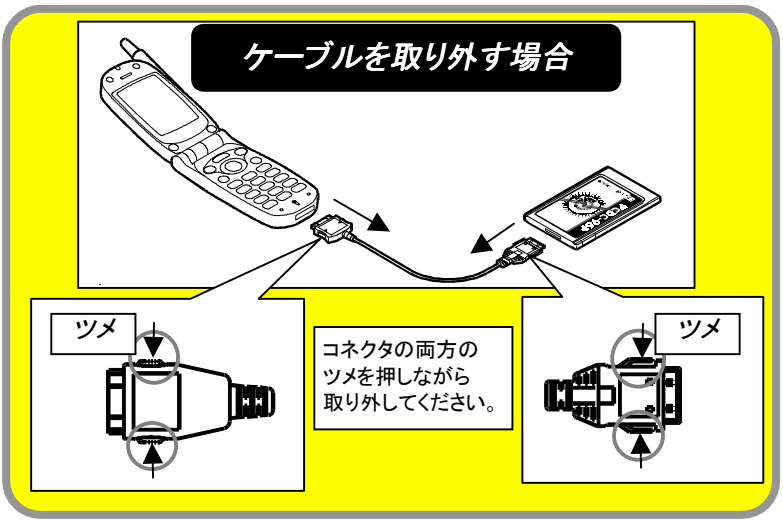
参考

手順3 で携帯電話と本製品を接続しますが、携帯電話の電源が入っている状態でも問題ありません。（接続後に携帯電話の電源を入れることもできます。）

3 携帯電話の接続コネクタのカバーを取り外し、本製品添付のケーブルで携帯電話と本製品を接続します。

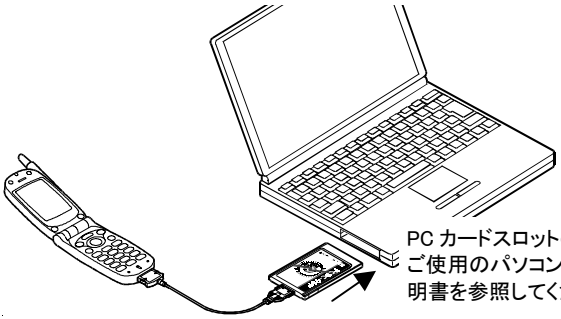
携帯電話にはカチッと音がするまで差し込んでください。
コネクタが入りにくいときは無理な力で挿入せず、コネクタの向き（裏表）を確認してください。
取り外したカバーはなくさないように保管してください。





4 本製品を PC カードスロットに差し込みます。

ケーブルが本製品に接続されていることを確認後、本製品のラベル面を上にして、PCカードスロットの奥までしっかりと差し込みます。

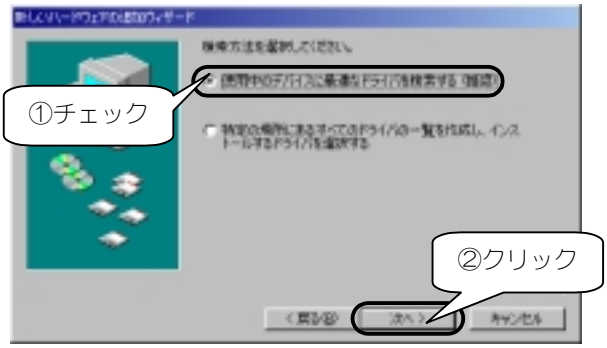


5 しばらくすると以下の画面が表示されます。[次へ]ボタンをクリックします。

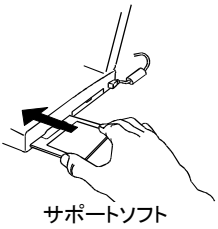
このインストール画面が
表示されない場合は…

【困ったときには】の
249 ページ
をご参照ください。

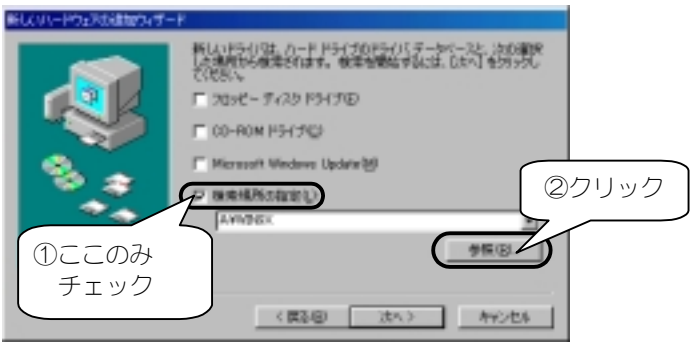
6 「使用中のデバイスに最適な…」をチェックして、
[次へ]ボタンをクリックします。



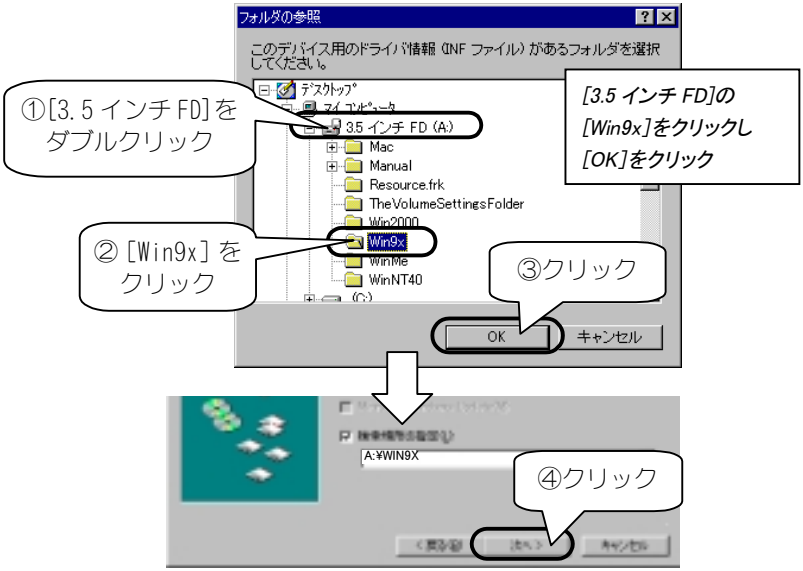
7 「サポートソフト」ディスクを
フロッピーディスクドライブにセットします。



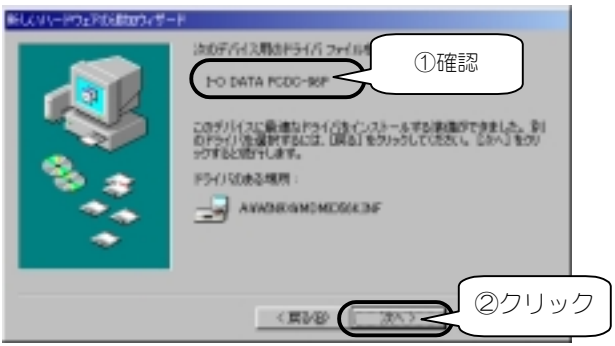
8 [検索場所の指定]のみをチェックし、
[参照]ボタンをクリックします。



9 [3.5 インチ FD](ここでは A:)内の「Win9x」を指定します。
指定後、[次へ]ボタンをクリックします。

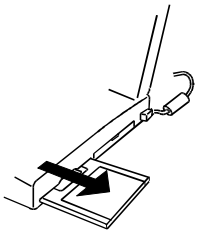


10 [I-O DATA PCDC-96P]と表示されていることを確認し、
[次へ]ボタンをクリックします。
コピーを開始します。



11 しばらくして、以下の画面が表示されたら、
[完了]ボタンをクリックします。

12 手順*11* の画面が消えたら
「サポートソフト」ディスクを抜いてください。



13 本製品を挿入したまま、
パソコンを再起動してください。

以上で Windows 98 でのインストールは終了です。
次は正しくインストールできたかを確認します。
123 ページ【インストールは正常ですか？】へお進みください。

注意

Windows 98 使用中に本製品の動作を終了しないで PC カードスロットから取り出すと、予期しない障害が発生する可能性があります。
取り出す際には【パソコンから取り出す場合】(133 ページ)を参照してください。

Windows 95 でインストールする

ここでは、Windows 95 でのインストール手順について説明します。

注意

インストールする際は、パソコンの電源を入れ、Windows が起動してから本製品を取り付けます。

1 本製品を差し込まずに、パソコンの電源を入れ Windows 95を起動します。

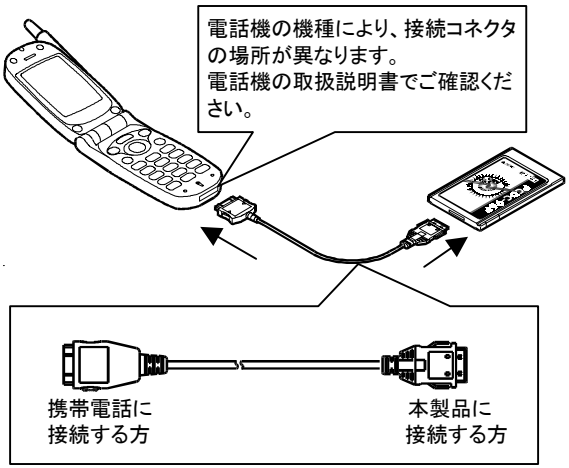
2 携帯電話の電源を入れます。

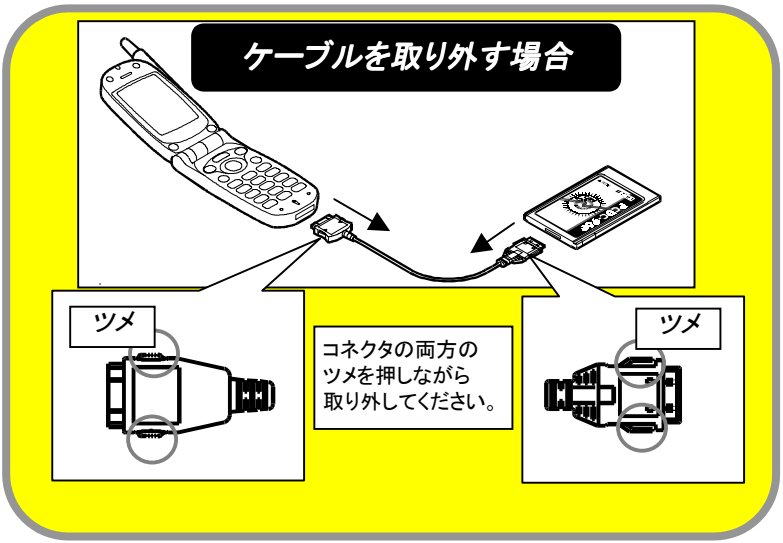
参考

手順3 で携帯電話と本製品を接続しますが、携帯電話の電源が入っている状態でも問題ありません。（接続後に携帯電話の電源を入れることもできます。）

3 携帯電話の接続コネクタのカバーを取り外し、本製品添付のケーブルで携帯電話と本製品を接続します。

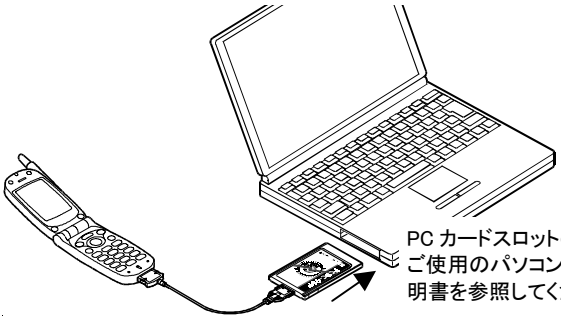
携帯電話にはカチッと音がするまで差し込んでください。
コネクタが入りにくいときは無理な力で挿入せず、コネクタの向き(裏表)を確認してください。
取り外したカバーはなくさないように保管してください。





4 本製品を PC カードスロットに差し込みます。

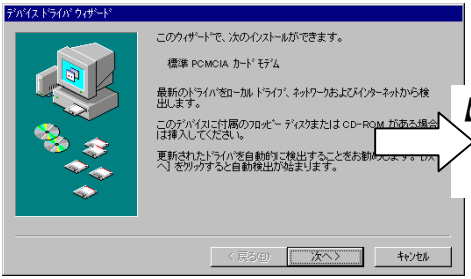
ケーブルが本製品に接続されていることを確認後、本製品のラベル面を上にして、PCカードスロットの奥までしっかりと差し込みます。



PC カードスロットの位置は
ご使用のパソコンの取扱説
明書を参照してください。

5 しばらくすると以下のいずれかの画面が表示されます。ここで表示される画面によりインストール手順が異なります。画面をご確認ください。

【インストール方法-その1-】
（次ページ）
へ進んでください。



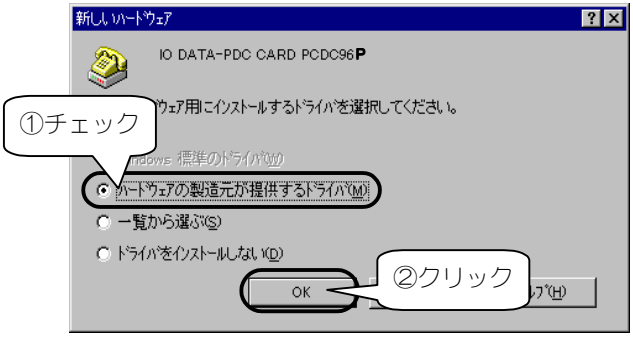
【インストール方法-その2-】
（118 ページ）
へ進んでください。

これらのインストール画面が
表示されない場合は…

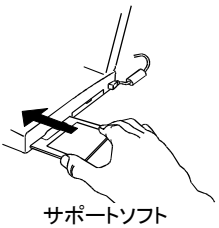
【困ったときには】の
249 ページ
をご参照ください。

インストール方法　－その1－

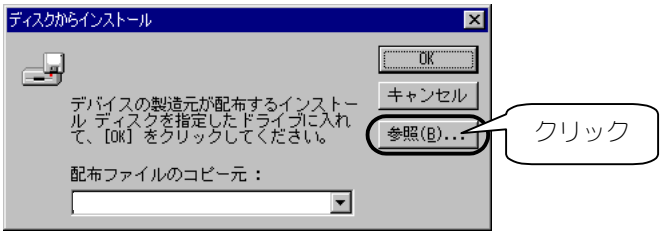
1　「ハードウェアの製造元が…」をチェックして、
[OK]ボタンをクリックします。



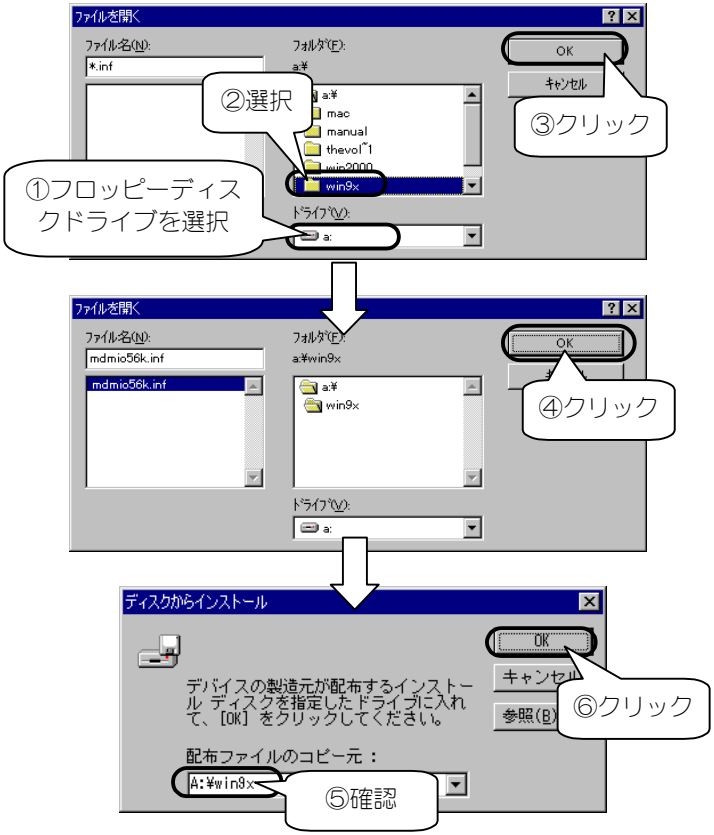
2　「サポートソフト」ディスクを
フロッピーディスクドライブにセットします。



3　[参照]ボタンをクリックします。

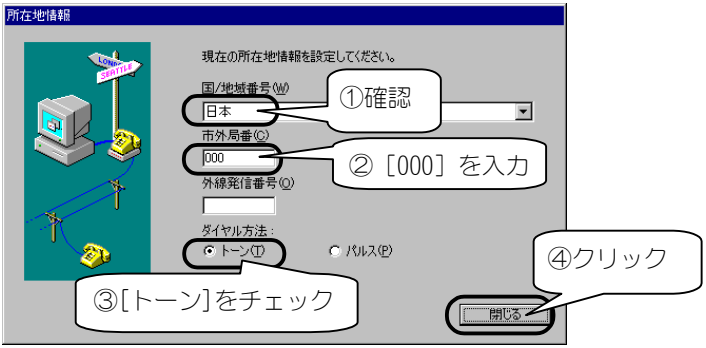


4 フロッピーディスクドライブ(ここではa:)内の[win9x]を指定します。
指定後、[OK]ボタンをクリックします。
コピーを開始します。

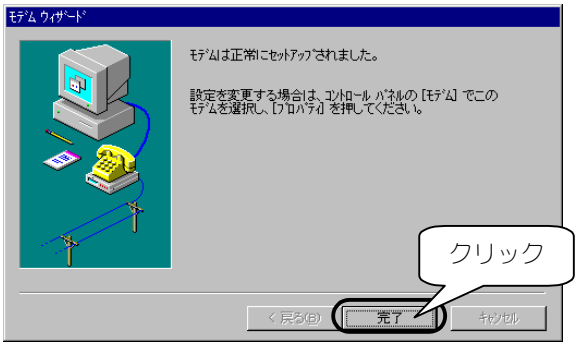


5 以下の画面が表示される場合があります。
必要な情報を設定し、[閉じる]ボタンをクリックします。
表示されない場合は、手順**6** へお進みください。

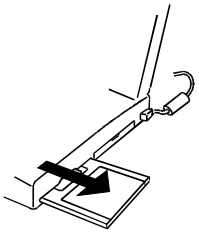
No.	項目	設定内容
①	国／地域番号	[日本]であることを確認
②	市外局番	[000]などの存在しない数値を入力 ※携帯電話やドッチーモは市外局番から発信するので、このような仮の値を設定しておきます。 （設定しないと市外局番から発信できません。）
③	ダイヤル方法	[トーン]を選択



6 以下の画面が表示されたら、
[完了]ボタンをクリックします。



7 以上でインストールされますので、
手順**6** の画面が消えたら
「サポートソフト」ディスクを抜きます。



8 本製品を挿入したまま、
パソコンを再起動してください。

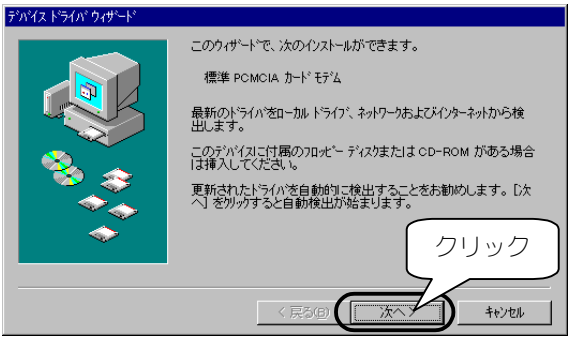
以上で Windows 95 でのインストールは終了です。
次は正しくインストールできたかを確認します。
123 ページ【インストールは正常ですか？】へお進みください。

注意

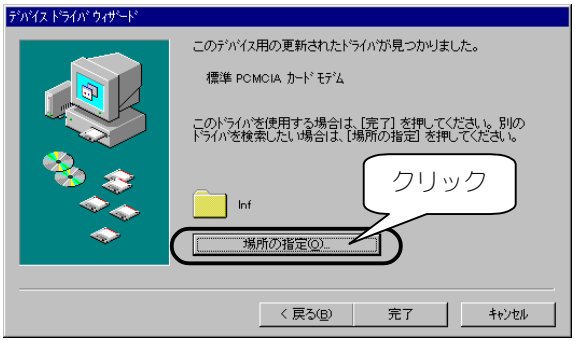
Windows 95 使用中に本製品の動作を終了しないで PC カードスロットから取り出すと、予期しない障害が発生する可能性があります。
取り出す際には【パソコンから取り出す場合】(133 ページ)を参照してください。

インストール方法　－その2－

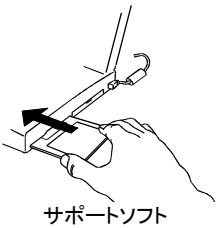
1　[次へ]ボタンをクリックします。



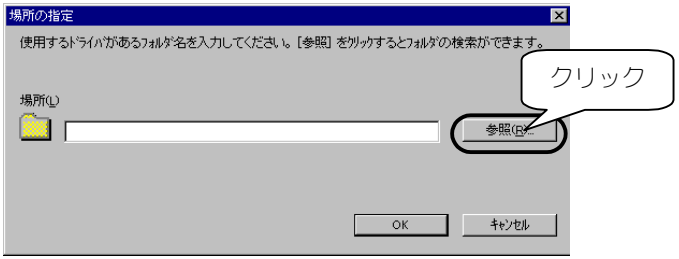
2　以下の画面が表示されます。
[場所の指定]ボタンをクリックします。



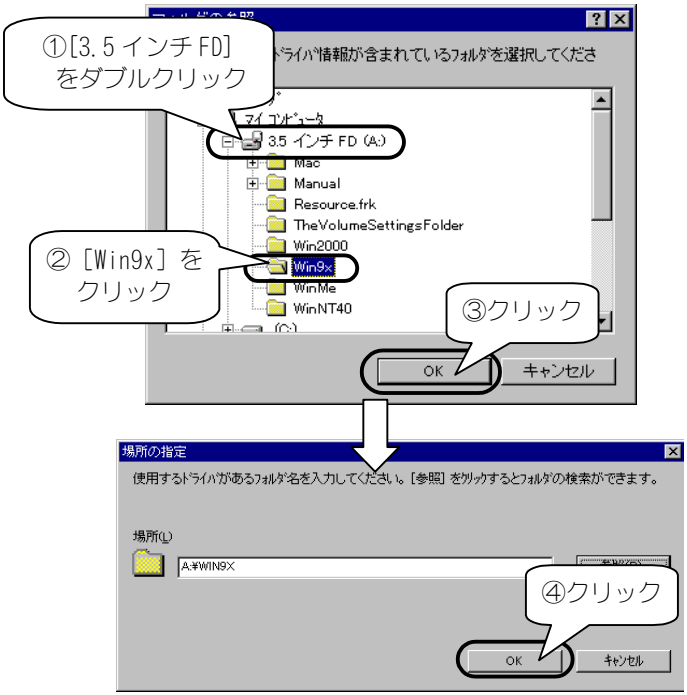
3　「サポートソフト」ディスクを
フロッピーディスクドライブにセットします。



4　[参照]ボタンをクリックします。

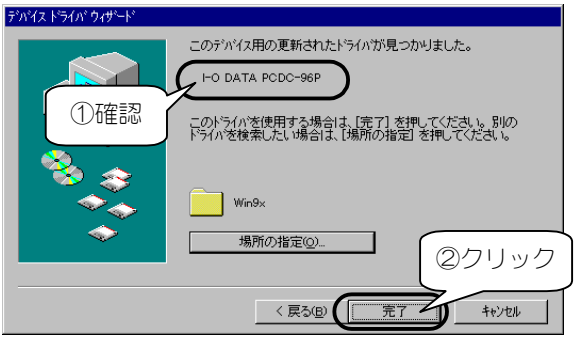


5　[3.5 インチ FD](ここでは A:)内の[Win9x]を指定します。
指定後、[OK]ボタンをクリックします。



6 [I-O DATA PCDC-96P]と表示されることを確認して、[完了]ボタンをクリックします。

コピーを開始します。

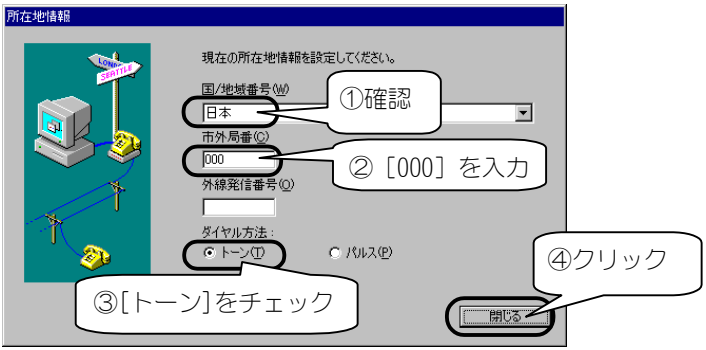


「標準 PCMCIA カードモデム」と表示された場合は…

[戻る]ボタンをクリック後 118 ページ手順**2**から やり直してください。

7 以下の画面が表示される場合があります。必要な情報を設定し、[閉じる]ボタンをクリックします。表示されない場合は、手順**8** へお進みください。

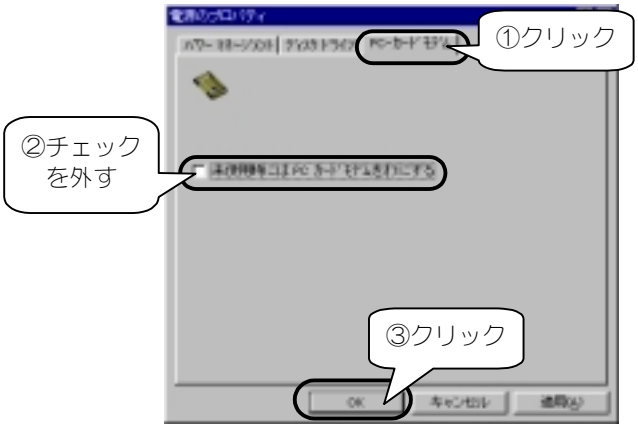
No.	項目	設定内容
①	国／地域番号	[日本]であることを確認
②	市外局番	[000]などの存在しない数値を入力 ※携帯電話やドッチーモは市外局番から発信するので、このような仮の値を設定しておきます。 （設定しないと市外局番から発信できません。）
③	ダイヤル方法	[トーン]を選択



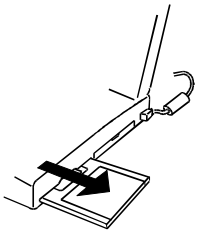
8 しばらくして以下の画面が表示されたら、
[完了]ボタンをクリックします。

9 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、
[パワーマネジメント]をダブルクリックします。

10 [PCカードモデム]タブをクリックし、
[未使用時には…]のチェックを外し、[OK]ボタンをクリックします。



11 以上でインストールされますので、
手順 **10** の画面が消えたら
「サポートソフト」ディスクを抜きます。



12 本製品を挿入したまま、
パソコンを再起動してください。

以上で Windows 95 でのインストールは終了です。
次は正しくインストールできたかを確認します。
次ページ【インストールは正常ですか？】へお進みください。

注意

Windows 95 使用中に本製品の動作を終了しないで PC カードスロットから取り出すと、予期しない障害が発生する可能性があります。
取り出す際には【パソコンから取り出す場合】(133 ページ)を参照してください。

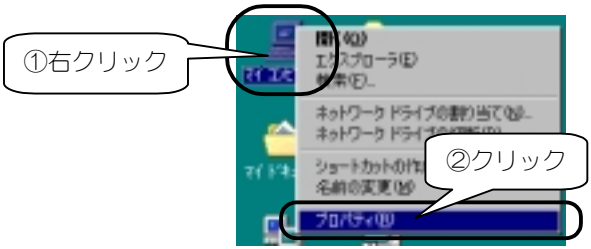
ステップ
3

準備編

インストールは正常ですか？

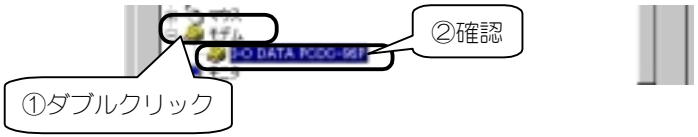
【ステップ2】でのインストールが正常に終了すると、パソコンが本製品を正しく認識します。
ここでは、「***パソコンが本製品を正しく認識しているか***」を Windows 上で確認します。
本製品を PC カードスロットに差し込んだまま（専用ケーブルを携帯電話に接続した状態）で確認してください。

1 [マイコンピュータ]を右クリックして、
[プロパティ]をクリックします。



2 [デバイスマネージャ]タブをクリックし、
[種類別に表示]をチェックします。

3 [モデム]をダブルクリックして、
[I-O DATA PCDC-96P]が表示されていることを確認します。



「I-O DATA PCDC-96P」が表示されない、
あるいは、[！]マークがある場合は…

【困ったときには】の
252 ページ
をご参照ください。

4 [OK]ボタンをクリックして、
「システムのプロパティ」画面を閉じます。

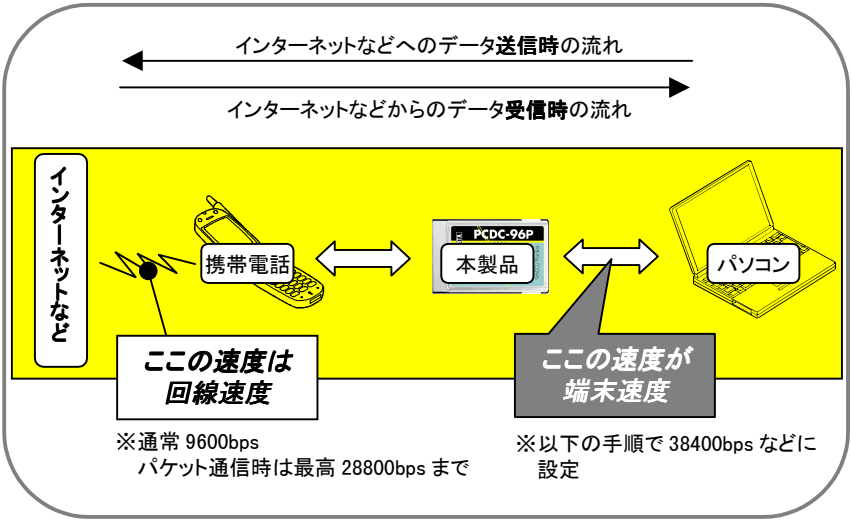
これでサポートソフトが正しくインストールされていることが確認できました。
次に端末速度の設定を行います。次ページへお進みください。

ステップ 4

準備編

端末速度を設定する

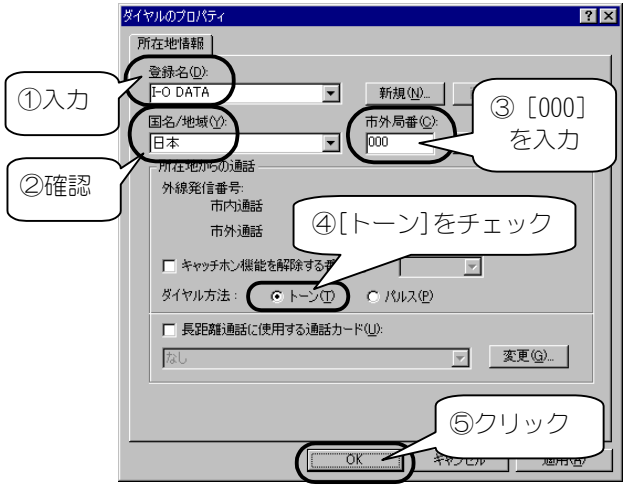
インストールが正常なことを確認したら、次に本製品とパソコン間の速度（**端末速度**）を設定します。
設定後、正常に本製品とパソコンが通信できるかも確認します。
設定と確認は、Windows の［モデム］アイコンで行います。
本製品を PC カードスロットに差し込んだまま（専用ケーブルを携帯電話に接続した状態）で設定および確認してください。



1 ［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］を開き、［モデム］アイコンをダブルクリックします。

2 以下の画面が表示された場合は、必要な情報を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

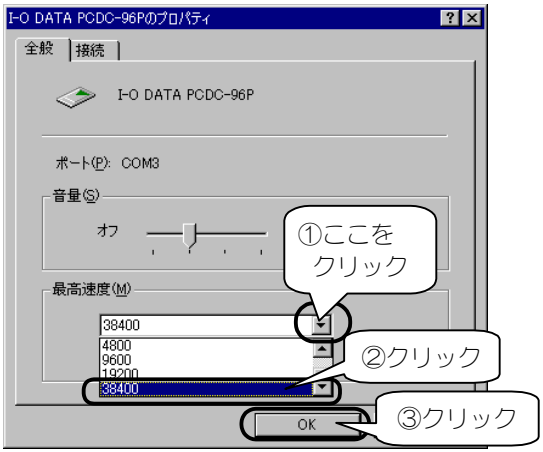
No.	項目	設定内容
①	登録名	任意の登録名を入力
②	国名／地域	[日本]であることを確認
③	市外局番	[000]などの存在しない数値を入力 ※携帯電話やドッチーモは市外局番から発信するので、このような仮の値を設定しておきます。 （設定しないと市外局番から発信できません。）
④	ダイヤル方法	[トーン]を選択



3 [I-O DATA PCDC-96P]をクリック後、[プロパティ]ボタンをクリックします。

4

端末速度を設定します。
[最高速度]を選択肢中で一番速い速度に設定し、[OK]ボタンをクリックします。
最高速度には選択できる速度のうち、最高の速度（38400bpsが望ましい）を設定しておくと、最大パフォーマンスが引き出せます。



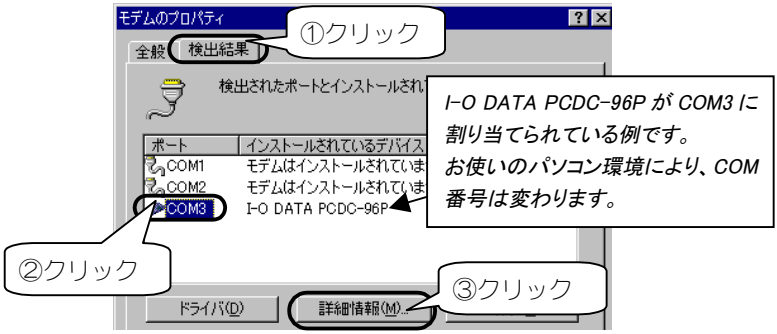
注意

ご使用になるパソコンの種類によっては、設定した速度で通信できない場合があります。 その場合は自動的に通信速度が落ちますので、あらかじめご了承ください。

5

端末速度を設定したら、次に本製品とパソコンが正常に通信できるかを確認します。

[検出結果]タブをクリックします。
[I-O DATA PCDC-96P]が表示されているポート（下記例ではCOM3 の部分）をクリックし、[詳細情報]ボタンをクリックします。
※COMの後の数字はお使いの環境によって異なります。



6 [モデムと通信しています]と表示され、しばらくして以下のように表示されたら[OK]ボタンをクリックします。

※[コマンド][応答]の部分が真っ白でなく、[AT……]と英数字が表示されたら、本製品は正常に認識されています。

「ポートが開けません」などと表示された場合は…

【困ったときには】の 252 ページをご参照ください。

注意

・この通信テストはパソコンと本製品間のテストであり、携帯電話を介して通信するテストではありません。
・ポートの情報には最高速度として「115Kボー」と表示されますが、実際の端末速度（パソコンと本製品間の速度）は、前ページの手順4で指定した速度です。実際の回線速度は 9600bps です。
（パケット通信対応電話機の場合は最高 28800bps までです。）
・[応答]に[ERROR]と表示されていますが、動作上問題ありません。

7 [OK]（または[閉じる]）ボタンをクリックし、[モデムのプロパティ]画面を閉じます。

ここまでで、本製品とパソコンが正しく通信できることが確認できました。
次に次ページで発信情報を設定してください。

ステップ 5

準備編

発信情報を設定する

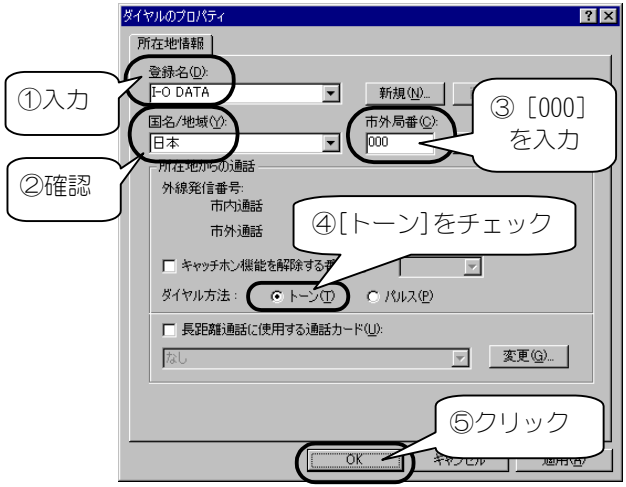
インターネットをはじめ通信ソフトなどを利用するには、パソコンから発信するための情報（発信情報）を設定しておく必要があります。
設定は、Windows の［モデム］アイコンで行います。
本製品を PC カードスロットに差し込んだまま（専用ケーブルを携帯電話に接続した状態）で設定してください。

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、[モデム]アイコンをダブルクリックします。

2 [I-O DATA PCDC-96P]をクリック後、[ダイヤルのプロパティ]ボタンをクリックします。

3 以下の画面で必要な情報を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

No.	項目	設定内容
①	登録名	任意の登録名（お好きな名前）を入力
②	国名／地域	[日本]であることを確認
③	市外局番	[000]などの存在しない数値を入力 ※携帯電話やドッチーモは市外局番から発信するので、このような仮の値を設定しておきます。 （設定しないと市外局番から発信できません。）
④	ダイヤル方法	[トーン]を選択



4 [OK]（または[閉じる]）ボタンをクリックし、[モデムのプロパティ]画面を閉じます。

5 <u>パケット通信対応電話機でパケット通信をする場合のみ</u>

132ページを参照して、追加設定を行ってください。

※パケット通信を行うには、携帯電話のオプション契約（パケット使用料）が別途必要です。また、プロバイダがパケット通信に対応している必要があります。

※以下の場合は、設定する必要はありません。

- （パケット通信でない）通常のデータ通信を行う場合
- パケット通信対応でない電話機で使用する場合
- パケット通信対応か不明な場合

ここまでで、本製品がパソコンに正しく認識され、使用できることが確認できました。
1度これらのインストールや設定を行えば、今後はパソコンを起動するだけで使えるようになります。

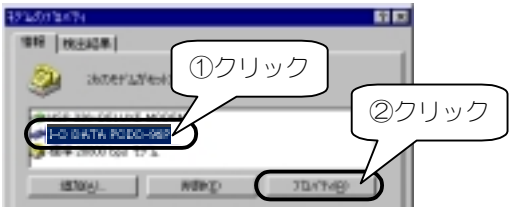
実際に本製品を使う前に、【ステップ6】(132 ページ)および【ステップ7】(134 ページ)を参照して、本製品の正しい取り出し方・取り付け方をマスターしてください。

本製品を使って…

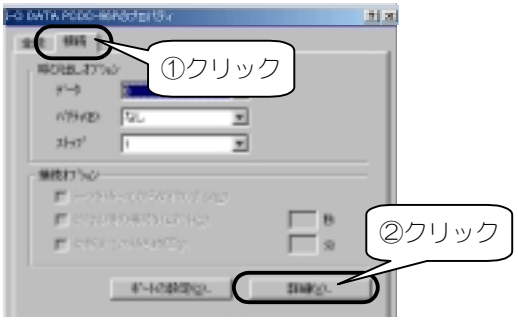
インターネットを楽しみたい	→【Windows 98/95 でインターネットに接続するには】(136 ページ)へ
FAX 通信したい	→【パソコンからダイレクトに FAX 送信したい】(271 ページ)へ
通話料金 10 円でメールの送受信をしたい	→【10 円メールを使いたい】(271 ページ)へ
Lotus NOTES でモバイル通信したい	→【Lotus NOTES でモバイル通信したい】(272 ページ)へ
通信中の状況や接続時間、また、実際の通信速度を確認したい	→【回線モニターを使う】(155 ページ)へ

●パケット通信対応電話機でパケット通信をする場合の追加設定

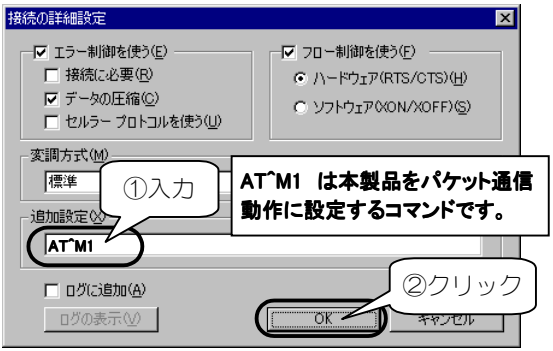
1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[モデム]を開き、[I-O DATA PCDC-96P]をクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックします。



2 [接続]タブをクリックし、[詳細]ボタンをクリックします。



3 [追加設定]に半角で「AT^M1」(すべて半角)と入力し、[OK]ボタンをクリックします。後は[OK]ボタンや[閉じる]ボタンをクリックして画面を閉じてください。



以上で追加設定は終了です。

ステップ 6

準備編

パソコンから取り出す場合

本製品を使用しなくなった場合などに、パソコンの PC カードスロットから取り出すには、以下の方法があります。

・パソコンの電源を切った後に取り出す

・Windows 98/95 を使用中に本製品の動作を終了して取り出す

Windows 98/95 を使用中に取り出す際に、以下の本製品の動作を終了する手順を行わずに取り出すと、予期しない障害が発生する可能性があります。

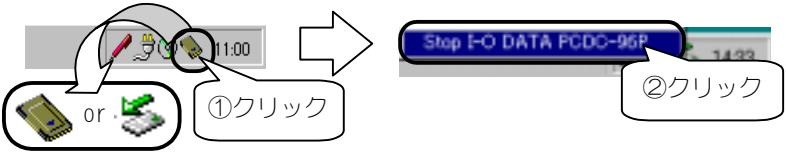
取り出す際には、本製品を使用していない（回線切断中である）事を確認した後、必ず以下の手順を行ってください。

注意

以下の動作の終了作業を行うと、実際に本製品を抜かなくても、本製品は使えなくなります。再度使いたいときは、いったん本製品を PC カードスロットから取り出してから再び差し込んでください。

本製品の動作を終了する

1 ディスプレイ画面右下のタスクトレイにあるPCカードのアイコンをクリックし、[Stop I-O DATA PCDC-96P]をクリックします。

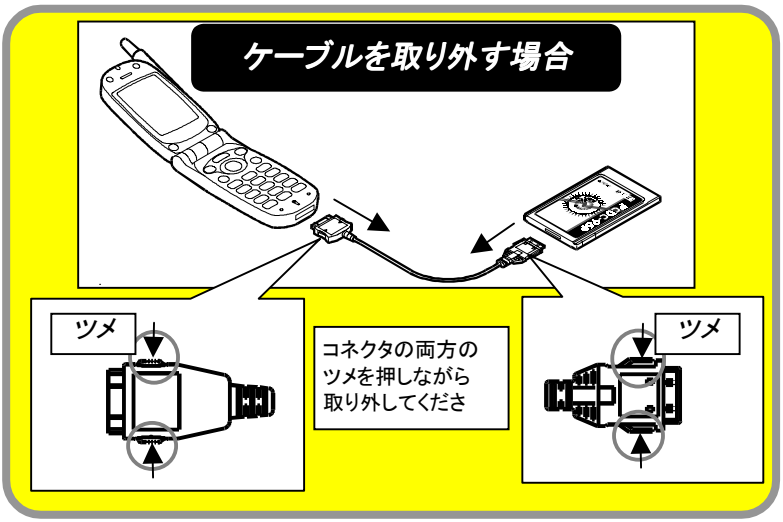


2 [OK]ボタンをクリック後、
本製品をPCカードスロットから取り出してください。

携帯電話を本製品から取り外す

携帯電話を本製品から取り外す際は、以下のように行ってください。

1 携帯電話に接続しているケーブルの接続コネクタの左右のツメを押しながら、引き抜いてください。

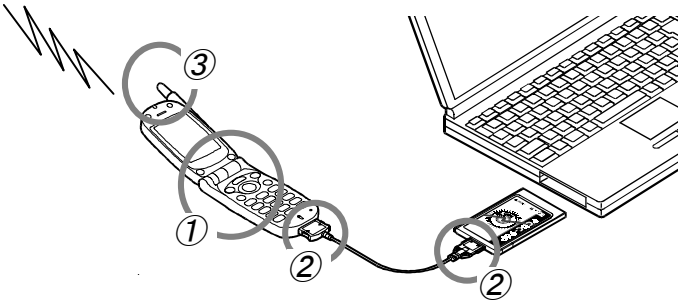


ステップ 7

準備編

再度取り付ける場合

一度パソコンから取り出した本製品は、【ステップ１】で「サポートソフト」をインストールしておけば、パソコンの電源を入れる前でも、また、パソコンの電源を入れた後（Windows を起動した後）のどちらでもパソコンに取り付けることができます。
ただし、必ず以下のことを確認してから、本製品を PC カードスロットに差し込んでください。



チェック①：携帯電話の電源

携帯電話の電源が入っていることを確認してください。

チェック②：携帯電話と本製品の接続

携帯電話と本製品が添付のケーブルで接続されていることを確認してください。

※携帯電話の電源が入っている状態でも問題ありません。

チェック③：携帯電話の電波の状態

携帯電話の電波の状態が良好なことを確認してください。

注意

携帯電話の電波が弱い場合は、正常に接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることも確認してから、接続してください。

インターネット接続編

Windows 98/95 で インターネットに接続するには

【準備編】(【ステップ１】(101 ページ)～【ステップ７】(135 ページ)) が終了したら、いよいよインターネットに接続してみましょう。

ステップ 1

接続前の準備 ····· 137ページ

インターネットに接続する上で必要な確認事項について説明します。

- プロバイダとの契約
- 本製品、携帯電話の準備

ステップ 2

接続に必要なソフトウェア ····· 138ページ

インターネットに接続するために必要なソフトウェアについて説明します。

- ダイヤルアップアダプタ
- TCP/IP
- ダイヤルアップネットワーク

ステップ 3

インターネットを楽しもう ····· 150ページ

【ステップ２】で設定した［ダイヤルアップネットワーク］で実際にインターネットに接続してみましょう。

ステップ 1

インターネット接続編

接続前の準備

インターネットに接続するには、以下をまず準備しておく必要があります。順にチェックしておいてください。

準備1：プロバイダとの契約

インターネット・サービスを受けるために、商用プロバイダとダイヤルアップ IP 接続の契約を行ってください。

※パケット通信を行う場合にはキャリアメーカーとパケット通信の契約も必要です。

契約時に入手した資料について

プロバイダとの契約後、パソコンからインターネット接続するために以下が記載されている資料を受け取ります。

パソコンにインターネット接続するための設定をする際（次ページ【ステップ2】）、また、インターネットに接続する際（【ステップ3】150 ページ）に必要となりますので、準備しておいてください。

- ユーザー名
- パスワード
- 接続先の電話番号
- ネームサーバーアドレス※
  - プライマリ DNS サーバー
  - セカンダリ DNS サーバー

※ネームサーバーアドレス（プライマリ DNS サーバー、セカンダリ DNS サーバー）は、プロバイダによっては指定がない場合もあります。指定がない場合は特に設定する必要はありません。

準備2：パソコン、本製品、携帯電話の準備

パソコン、本製品、携帯電話があればインターネットに接続できます。ただし、以下の確認を行っておいてください。

チェック1：携帯電話の電源

携帯電話の電源が入っていることを確認してください。

チェック2：携帯電話と本製品の接続

携帯電話と本製品が添付のケーブルで接続されていることを確認してください。

※携帯電話の電源が入っていても、本製品を接続できます。

チェック3：携帯電話の電波の状態

携帯電話の電波の状態が良好なことを確認してください。

ステップ 2

インターネット接続編

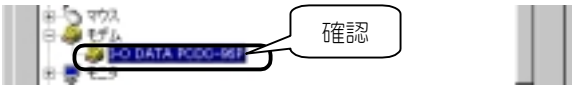
接続に必要なソフトウェア

インターネットに接続するには、以下のソフトウェアがインストールおよび設定されている必要があります。

①本製品のドライバソフトウェア

【インストールする】(104 ページ)でインストールした本製品を使用するためのソフトウェアです。
【インストールは正常ですか？】(123 ページ)で正常にインストールされているか確認しておきましょう。

[デバイスマネージャ]画面の[モデム]の下に
「I-O DATA PCDC-96P」が表示されていることの確認



②ダイヤルアップを行うためのソフトウェア

140 ページ以降で説明します。

ダイヤルアップを行ってプロバイダに接続するためのソフトウェアです。
詳細な設定は、140 ページ以降を参照してください。

③Web ブラウザやメールソフトウェア

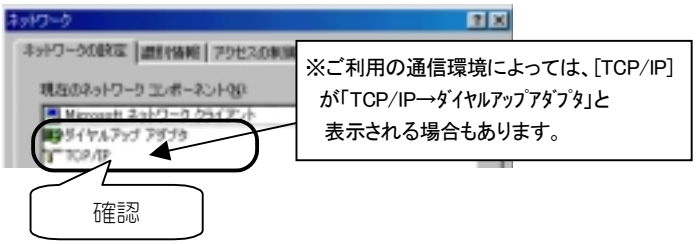
インターネットに接続する際に特に必要ではありませんが、接続後に、ホームページなどを見るためのソフトウェアです。
Windows 98 や Windows 95 OSR2には、Web ブラウザとして InternetExplorer が標準でインストールされています。

ここでは、次ページ以降で[ダイヤルアップアダプタ]と[TCP/IP]の確認、および、[ダイヤルアップアダプタ]の設定について説明します。
はじめてインターネットに接続する場合、また、以前の設定はそのまま残して新しい設定を作る場合にも、次ページ以降を参照してください。

[ダイヤルアップアダプタ]と[TCP/IP]を確認する

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。

2 [ダイヤルアップアダプタ]と[TCP/IP](または[TCP/IP->ダイヤルアップアダプタ])があることを確認し、[OK]ボタンをクリックします。



[ダイヤルアップアダプタ]や[TCP/IP]が表示されない場合は…

【困ったときには】の257 ページをご参照ください。

[ダイヤルアップネットワーク]を設定する

インターネットに接続するには、パソコンからプロバイダなどにダイヤルアップするためのソフトウェア[ダイヤルアップネットワーク]を設定する必要があります。

はじめて［ダイヤルアップネットワーク］の設定を行う場合、または、以前の設定はそのまま残して新しい設定を作る場合は、次ページ【新しい設定を作るとき】を行います。

参考1

ダイヤルアップとは

→電話回線などの公衆網を利用して、インターネットに接続できる通信業者(プロバイダ)に接続すること。

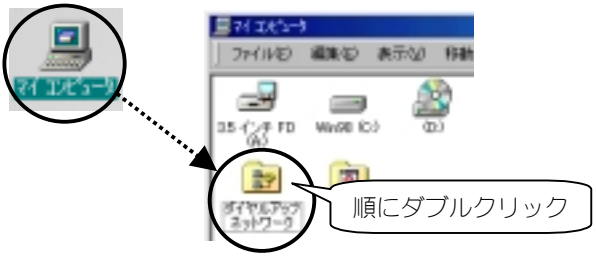
参考2

すでに[ダイヤルアップネットワーク]の設定を行っていて、設定内容を変更する場合は147 ページ【設定を変更するとき】をご覧ください。

新しい設定を作るとき

1 インターネットプロバイダから入手した[ユーザー名]や[パスワード]などが記載されている資料をご用意ください。

2 [マイコンピュータ]→[ダイヤルアップネットワーク]を順にダブルクリックします。

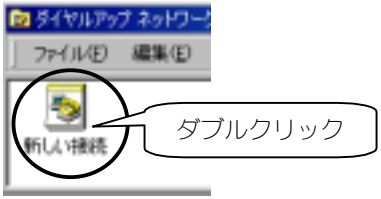


[ダイヤルアップネットワーク]が表示されない場合は…

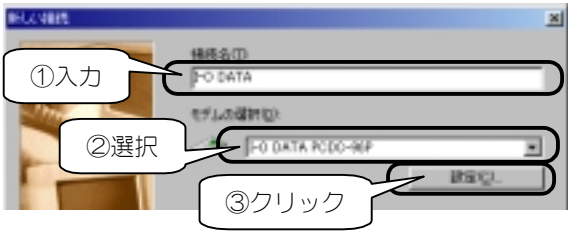
【困ったときには】の255ページをご参照ください。

3 以下の画面が表示された場合は、[次へ]ボタンをクリックします。

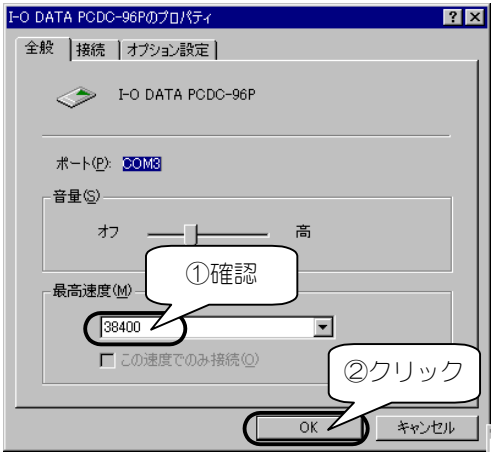
4 以下の画面が表示された場合は、
[新しい接続]アイコンをダブルクリックします。



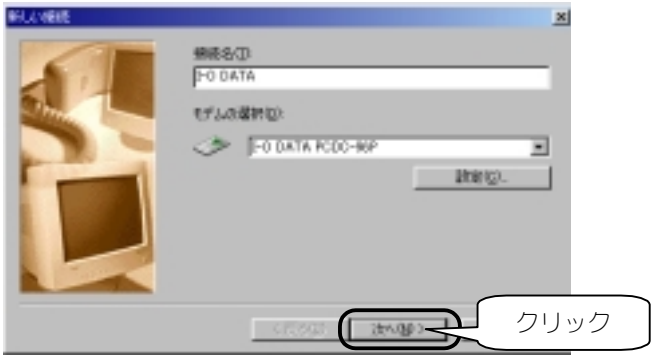
5 [接続名]欄に任意の接続名(お好きな名前)を入力し、
モデムの選択欄から[I-O DATA PCDC-96P]を選び、
[設定]ボタンをクリックします。



6 [全般]タブで[最高速度]が[38400bps]となっていることを確認し、[OK]ボタンをクリックします。

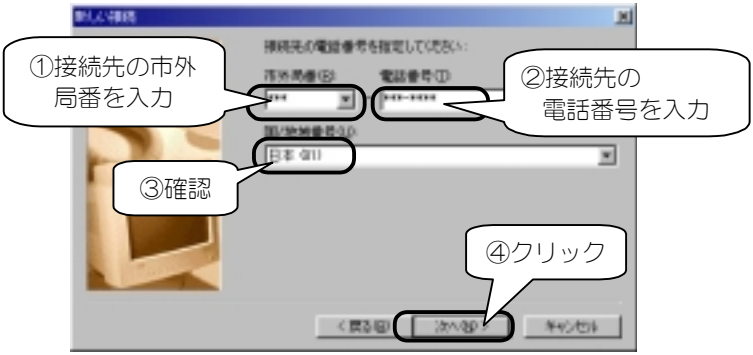


7 [新しい接続]画面に戻りますので、[次へ]ボタンをクリックします。



8 以下を設定後、[次へ]ボタンをクリックします。

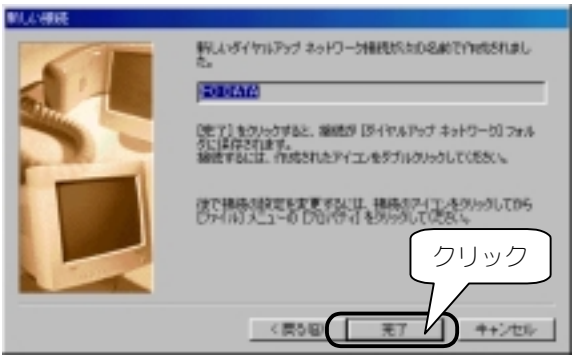
市外局番	接続先(プロバイダ)の市外局番 ※ダイヤル先が市内であっても、必ず市外局番から入力してください。
電話番号	接続先(プロバイダ)の電話番号
国/地域番号	[日本]



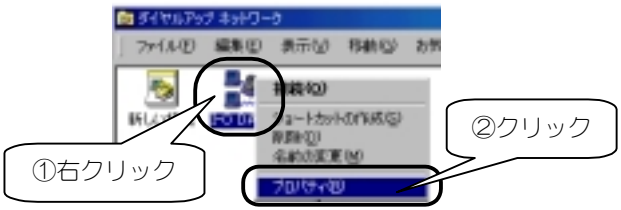
注意

[市外局番][電話番号]欄の「*」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号を入力してください。**

9　[完了]ボタンをクリックします。



10　新しく作成したアイコンが[ダイヤルアップネットワーク]画面に手順**5** で指定した[接続名]で表示されます。
新しく作成したアイコンを右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。



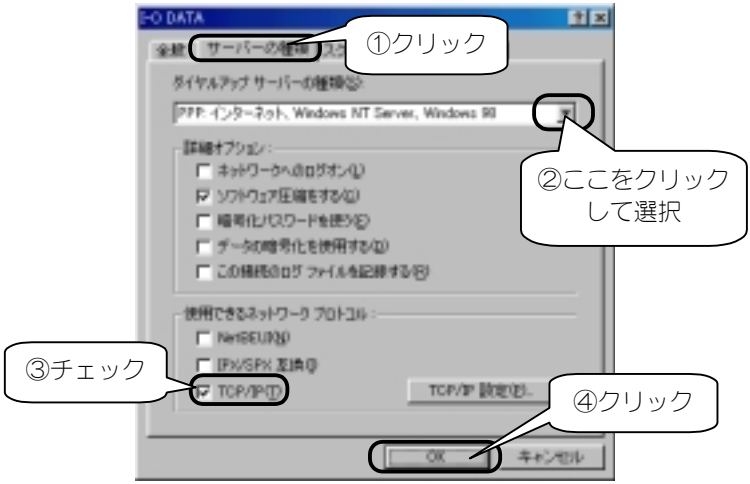
11 [サーバーの種類]タブをクリックし、
以下のように設定します。

・[ダイヤルアップサーバーの種類]では
[PPP:インターネット、Windows NT Server、Windows 98]を選択

・[使用できるネットワークプロトコル]で[TCP/IP]のみにチェック

プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合は次ページを参照し、設定してください。

設定後、[OK]ボタンをクリックします。

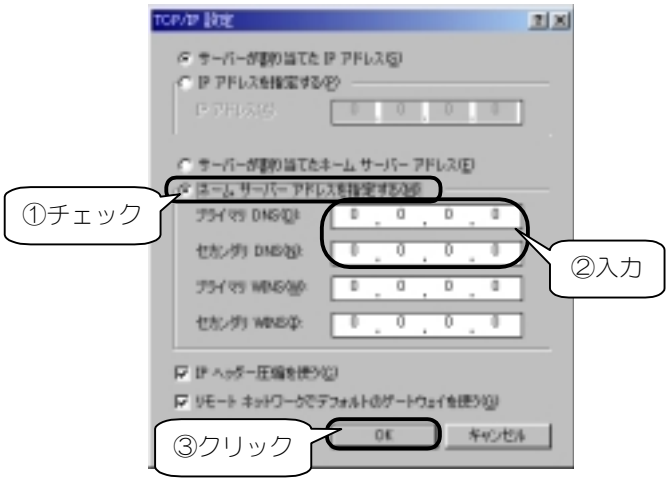


以上でダイヤルアップネットワークの設定は終了です。
【インターネットを楽しもう】(150 ページ)を参照して、実際にインターネットに接続してみましょう。

●プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合

1 前ページ手順 **11** の画面で、[TCP/IP 設定]ボタンをクリックします。

2 以下を設定します。
①[ネームサーバーアドレスを指定する]をチェックします。
②[プライマリ DNS]欄にプライマリ DNS を、[セカンダリ DNS]欄にセカンダリ DNS の値を入力します。
設定後、[OK]ボタンをクリックします。



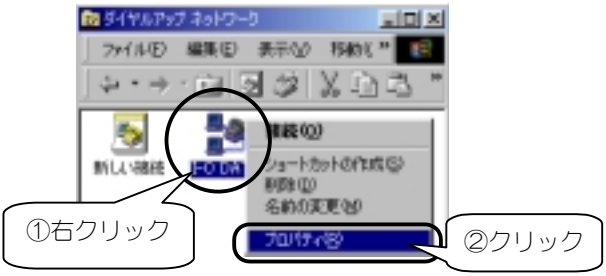
注意

・ネームサーバーアドレスの入力内容がわからない場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。
・プロバイダによっては、IP アドレスの設定が必要な場合もあります。必要な設定内容については、ご契約のプロバイダに確認してください。

設定を変更するとき

1 [マイコンピュータ]→[ダイヤルアップネットワーク]アイコンを順にダブルクリックします。

2 変更したい接続のアイコンを右クリックして、表示された[プロパティ]をクリックします。



3 以下を設定します。

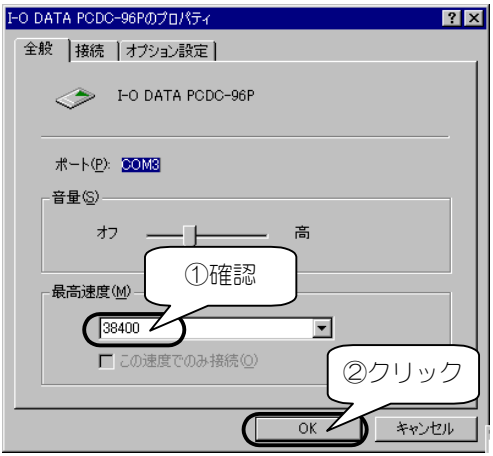
①[接続の方法]に[I-O DATA PCDC-96P]を選びます。
②[市外局番とダイヤルのプロパティを使う]をチェックします。
③[市外局番]欄には、接続先の市外局番を入力します。
④[電話番号]欄には、接続先の電話番号を入力します。
⑤[国番号]欄は、「日本」であることを確認します。

設定後、[設定]ボタンをクリックします。

注意

[市外局番][電話番号]欄の「*」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号を入力してください。**

4 [全般]タブで[最高速度]が[38400bps]となっていることを確認し、[OK]ボタンをクリックします。



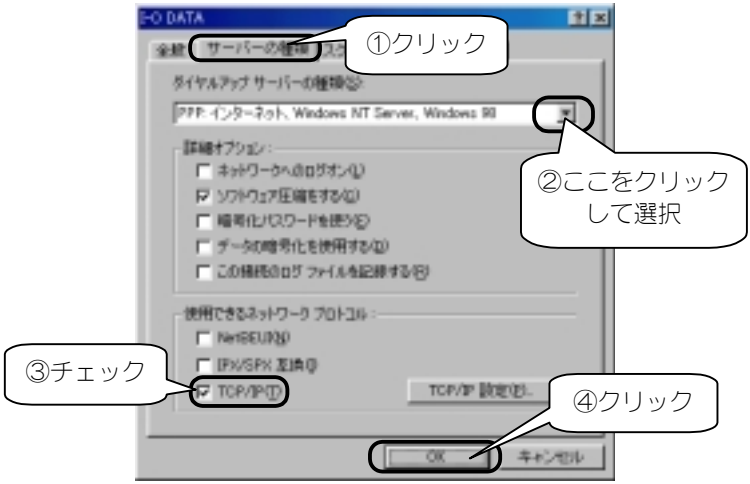
5 [サーバーの種類]タブをクリックし、
以下のように設定します。

・[ダイヤルアップサーバーの種類]では
[PPP:インターネット、Windows NT Server、Windows 98]を選択

・[使用できるネットワークプロトコル]で[TCP/IP]のみにチェック

プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合は146ページを参照し、設定してください。

設定後、[OK]ボタンをクリックします。



6 [OK]ボタンをクリックし、画面を閉じます。

これでダイヤルアップネットワークの設定は終了です。
【インターネットを楽しもう】(次ページ)を参照して、実際にインターネットに接続してみましょう。

ステップ 3

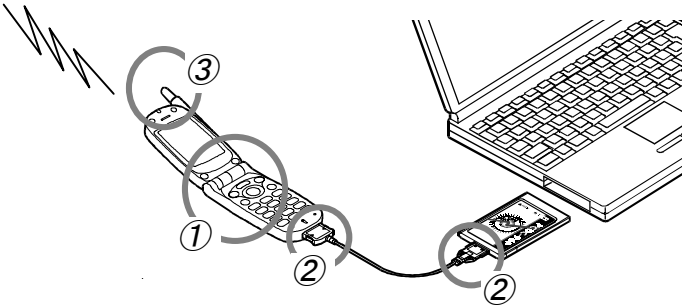
インターネット接続編

インターネットを楽しもう

ここまでの設定がすべて終了すれば、いよいよインターネットへの接続です。

接続する際のチェック項目

インターネットに接続する際は、携帯電話を操作する必要は特にありませんが、毎回以下を確認してから、本製品をパソコンに取り付け、インターネットに接続してください。



チェック①：携帯電話の電源

携帯電話の電源が入っていることを確認してください。

チェック②：携帯電話と本製品の接続

携帯電話と本製品が添付のケーブルで接続されていることを確認してください。

※携帯電話の電源が入っている状態でも問題ありません。

チェック③：携帯電話の電波の状態

携帯電話の電波の状態が良好なことを確認してください。

※携帯電話でその場から正常に通話できることを確認しておいてください。

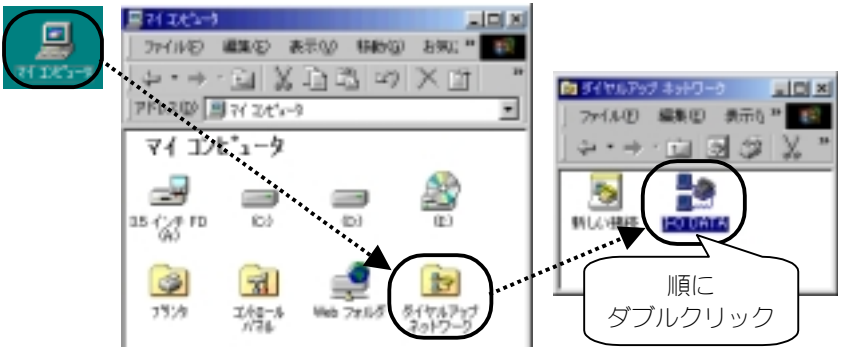
注意

携帯電話の電波が弱い場合は、正常にインターネットなどに接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることを、携帯電話の液晶画面などで確認してから、インターネットなどに接続してください。

インターネットに接続する

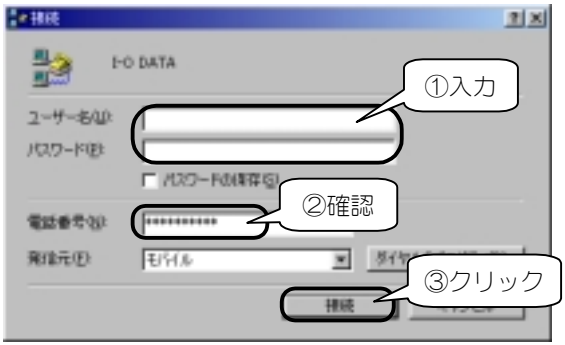
インターネットへの接続は、【[ダイヤルアップネットワーク] を設定する】(140 ページ) で作成した[ダイヤルアップネットワーク]で行います。

1 [マイコンピュータ]→[ダイヤルアップネットワーク]→作成した接続のアイコンを順にダブルクリックします。



2 プロバイダから通知された[ユーザー名]と[パスワード]を入力して、[電話番号]欄に発信する番号が表示されていることを確認後、[接続]ボタンをクリックします。

[接続]ボタンをクリックすると、プロバイダと通信を開始します。



注意

・[電話番号]欄の「********」は、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号が市外局番から表示されていることを確認してください。**
表示されていない場合は、[ダイヤルのプロパティ]ボタンをクリックし、130 ページ手順3 の設定になっているかご確認ください。
・パスワードは「***」と表示され、入力内容が確認できないので、アルファベットの大文字小文字などを間違えないように注意してください。**

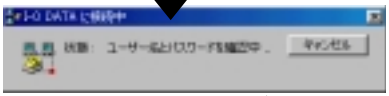
注意

・[パスワードの保存]をチェックすると、次回からパスワードが「*」印で表示されるので、パスワードを入力する必要がありません。セキュリティの必要に応じてお使いください。
・他のモデムも併用している場合、[発信元]欄に本製品用の接続名（142 ページの手順５ の①で設定した[接続名]）を選択してください。

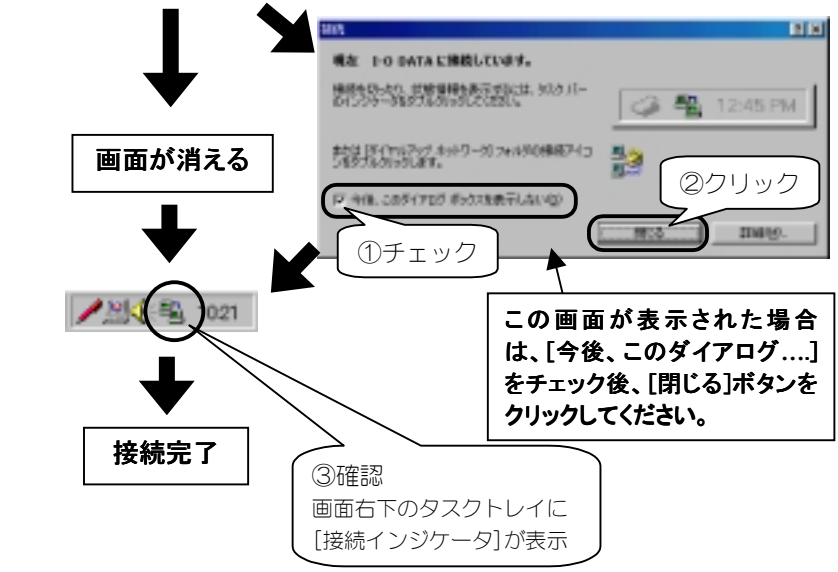
3 しばらくして「. . . に接続中」という画面が消えたら、完了です。

パソコン画面右下のタスクトレイに[接続インジケータ]アイコンが表示されます。

（携帯電話には「ASYNC」を表示）



（携帯電話には「V42.bis」や「ASYNCDD」を表示）



「回線が使用中です」などと表示された場合は…

【困ったときには】の 260 ページをご参照ください。

[接続インジケータ]アイコンが表示されない場合は…

【困ったときには】の 262 ページをご参照ください。

4 接続状況は、[接続インジケータ]アイコンを
ダブルクリックすれば確認できます。

注意

ここで表示される接続速度（上図の例では 38,400bps）はパソコンと本製品間の通信速度になります（127 ページの手順 4 で指定した値）。実際の回線速度は 9.6Kbps です。（パケット通信対応電話機の場合は最高 28.8Kbps までです。）

5 ブラウザや電子メールソフトを起動してお楽しみください。
接続中は、常時[接続インジケータ]が表示されています。
また、接続中の携帯電話の液晶には「V42.bis」と表示されます。
接続先によっては、「ASYNCDD」と表示されます。

インターネットを終了する

インターネットを終了する場合は、ブラウザや電子メールを終了するだけでなく、必ず以下の手順を行ってください。

注意

・ブラウザや電子メールを終わっただけでは電話回線は切断されません。必ず以下の[切断]ボタンをクリックしてください。クリック後、携帯電話の通話が終わっていること、また、[接続インジケータ]が消えることを必ず確認してください。
・携帯電話の通話だけを切ってもパソコン側の通信は終了しません。必ずパソコン側で切断してください。

1 インターネット利用が終わったら、画面右下の[接続インジケータ]をダブルクリックし、[切断]ボタンをクリックします。

これで電話回線が切断され、画面右下の[接続インジケータ]が消えます。
携帯電話の通話も自動的に切断されますので、液晶表示を見て通話が終わっていることを確認してください。

以上で、インターネットは終了できました。

添付ソフト編

回線モニターを使う

（Windows 98/95 のみ対応）

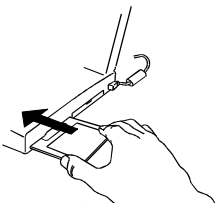
添付の「サポートソフト」ディスク内にある**「回線モニター」**（*Windows 98/95 のみ対応*）を使用すれば、通信中の状況や接続時間や実際の通信速度などを確認できます。
必要に応じて、インストールしてご使用ください。

注意

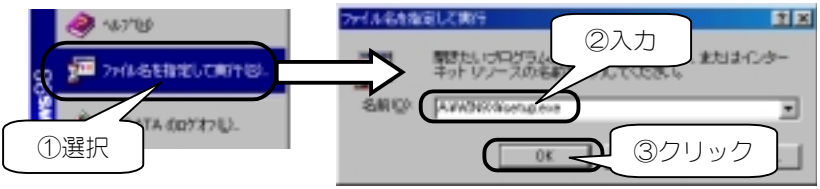
FAX 通信時は通信中の状況や通信速度などを正しくモニタリングできません。
インターネット接続時やパソコン通信時にご利用ください。

「回線モニター」をインストールする

1 「サポートソフト」ディスクを
フロッピーディスクドライブにセットします。



2 [スタート]→[ファイル名を指定して実行]を選び、[名前]欄に
A:¥WIN9X¥setup.exe
（フロッピーディスクドライブが A ドライブの場合）
と入力し、[OK]ボタンをクリックします。



3 画面の指示にしたがって、インストールを進めてください。
途中で[スタートアップへの登録]画面が表示されますが、回線モニターを手動で起動したいときはチェックを外してください。

「回線モニター」の起動と終了

「回線モニター」は通信を開始する前に起動してください。
通信開始後に起動しても、モニタリング（通信状態の監視や時間表示など）しません。

1 [スタート]→[プログラム]→[I-O DATAモデムツール]→[回線モニター]を開きます。

2 「回線モニター」の画面が表示されます。
この時点ではまだ通信が開始されていないので、今月累計接続時間だけが表示されています。

3 インターネットなど、通信を開始するとモニタリングを始めます。

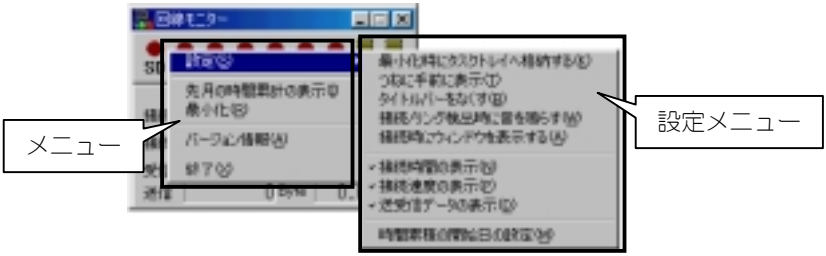
表示内容		意味
インジケータ	SD	データ送信中に赤ランプ点灯
	RD	データ受信中に赤ランプ点灯
	RI	RING 検出したら赤ランプ点灯
	CD	キャリア検出したら赤ランプ点灯
	OH	オフフック中に赤ランプ点灯
	DR	データセットレディ状態で赤ランプ点灯
	CS	データ送信許可状態で赤ランプ点灯
送受信レベル	SD	送信レベルを緑色のランプで表示
	RD	受信レベルを緑色のランプで表示

表示内容		意味
接続時間	今回	今回の接続時間(時:分:秒)
	今月 累計	今月になってからの接続時間合計(時:分:秒) ただし、回線モニター起動中の接続時間のみ集計
接続速度		現在、接続している通信速度 パソコンと本製品間の通信速度が表示されます。回線速度(9600bps)は表示されません。
受信	Byte	今回の接続の受信データ量(バイト)
	KB/s	現在の受信データの転送速度(K バイト/秒)
送信	Byte	今回の接続の送信データ量(バイト)
	KB/s	現在の送信データの転送速度(K バイト/秒)

4 「回線モニター」を終了するには、「回線モニター」画面右上の ボタンをクリックします。

「回線モニター」の各種設定

「回線モニター」画面で右クリックすると、設定などのメニューが表示されます。



■メニュー■

メニュー項目	意味
設定	各種設定メニューを表示します。
先月の時間累計の表示	先月の接続時間合計を表示します (ただし、回線モニター起動時の接続時間のみ対象)。
最小化	回線モニターを最小化します。
バージョン情報	バージョン情報を表示します。
終了	回線モニターを終了します。

■設定メニュー■

メニュー項目の先頭に「レ」印が表示されている状態がONです。

メニュー項目	ONのときの機能
最小化時にタスクトレイへ格納する	最小化したときに、タスクバーでなく、タスクトレイにアイコンを表示します。 《タスクトレイ設定で最小化した時》 このアイコンをダブルクリックすると 回線モニター画面が再表示されます。
	初期値:OFF(=タスクバー設定)
つねに手前に表示	常に他のウィンドウより手前に回線モニター画面を表示します。
	初期値:OFF(=手前表示しない)
タイトルバーをなくす	タイトルバーを非表示にします。
	初期値:OFF(=タイトルバーあり)

メニュー項目	ONのときの機能
接続/リング検出時に音を鳴らす	接続時(CD/OH 検出時)とリング検出時(RI 検出時)に音を鳴らします。
	初期値:OFF(=音を鳴らさない)
接続時間の表示	接続時間(今回、今月累計)を表示します。
	初期値:ON(=表示する)
接続速度の表示	接続速度を表示します。
	初期値:ON(=表示する)
送受信データの表示	送受信データ量と転送速度を表示します。
	初期値:ON(=表示する)
時間累積の開始日の設定	接続時間の累計を行うときに、月の開始日を設定します。電話料金計算などの締日と合わせることができます。
	初期値:1日

「回線モニター」を削除する場合

インストールした回線モニターを削除したい場合は、回線モニターが起動されていないことを確認してから、以下の作業を行ってください。

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、
[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。

2 [I-O DATA モデムツール]を選択し、
[追加と削除]ボタンをクリックします。

3 後は、画面の指示にしたがって、処理を進めてください。

これで「回線モニター」の削除は完了です。

5 Windows NT 4.0 で使うには

～ 準備編 ～
本製品で通信できるまでの流れ ····· 162ページ
ステップ1 インストールする ····· 163ページ
ステップ2 通信するための設定 ····· 173ページ

～ インターネット接続編 ～
Windows NT 4.0 でインターネットに
接続するには · 176ページ
ステップ1 接続前の準備 ····· 177ページ
ステップ2 接続に必要なソフトウェア · 178ページ
ステップ3 インターネットを楽しもう··· 187ページ

準備編

本製品で通信できるまでの流れ

本製品を利用して、インターネットをはじめ通信ソフトなどを使用するには、最初に本製品を使用できるようにする設定、またパソコン側での設定が必要です。
ここでは、本製品を使用して通信できるようにするまでの手順について説明します。
以下の流れに沿ってお進みください。

ステップ 1

インストールする ····· *163ページ*
“本製品を使用できるようにする”サポートソフトのインストール手順について説明します。

ステップ 2

通信するための設定 ····· *173ページ*
パソコンで通信するために必要な設定について説明します。

ステップ
1

準備編

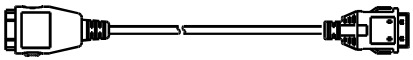
インストールする

本製品を使用するには、まず、「サポートソフト」ディスクのインストールが必要です。
次ページ以降の手順でインストールしてください。

用意するもの

・本製品

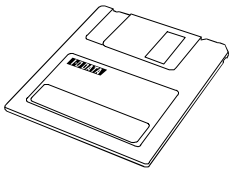
・添付の専用デジタルセルラーケーブル



・携帯電話

※本書で説明している携帯電話のイラストは一例です。
お使いの機種により、異なります。
また、本製品との接続コネクタの場所も機種により異なります。

・添付の「サポートソフト」ディスク



「サポートソフト」をインストールする

本製品を使用するには、添付の「サポートソフト」ディスク内のドライバソフトをパソコンにインストールする必要があります。
ここでは、そのインストール手順について説明します。
インストール作業は、はじめて本製品を接続したときだけ行います。
次回からは、パソコンを起動すれば本製品を使用できます。

注意

・弊社製 CardDock2-EX/DV、EX/98、IN/DV は Windows NT 4.0 には対応しておりませんので、ご利用いただくことはできません。
・以前に他のモデムを使用していて、本製品が同一の COM ポートで認識された場合は、以前のモデムのドライバは削除してから本製品のドライバをインストールしてください。（削除方法は[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の[モデム]アイコンをダブルクリックし、[モデムのプロパティ]画面の[情報]タブで“以前に使用していたモデム”を選択後、[削除]ボタンをクリックしてください。）
・PC-9821 シリーズの場合は、IRQ3 固定となります。本製品をセットアップする前に、IRQ3 がすでに他のデバイスで使用されていないかご確認ください。すでに使用されている場合は、IRQ3 を開放するように設定を変更してください。

1　パソコンの電源が切れていることを確認します。

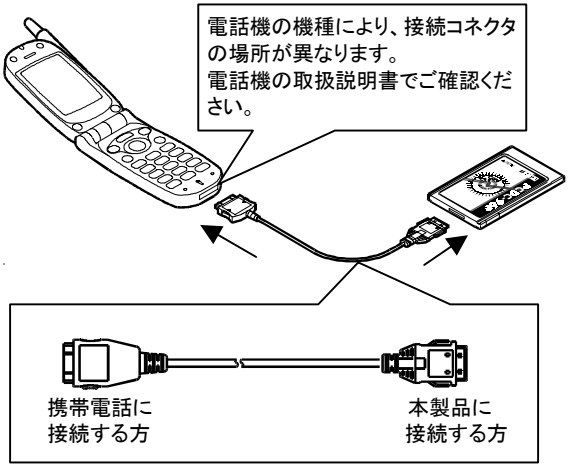
2　携帯電話の電源を入れます。

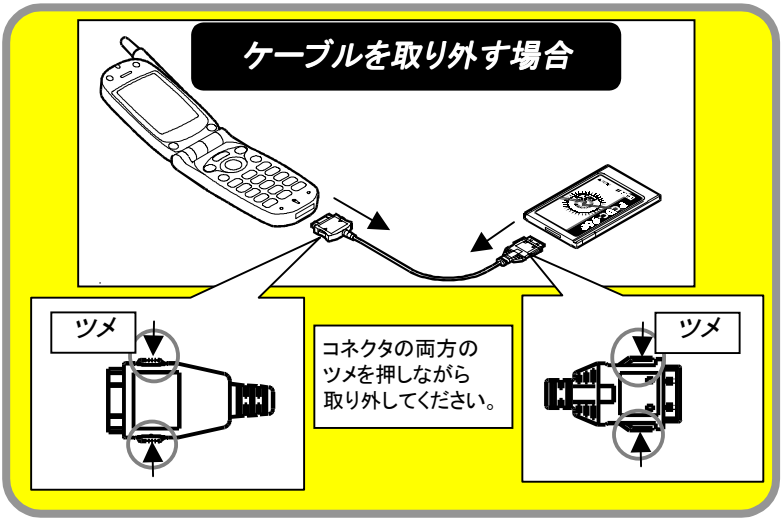
参考

手順3 で携帯電話と本製品を接続しますが、携帯電話の電源が入っている状態でも問題ありません。（接続後に携帯電話の電源を入れることもできます。）

3 携帯電話の接続コネクタのカバーを取り外し、本製品添付のケーブルで携帯電話と本製品を接続します。

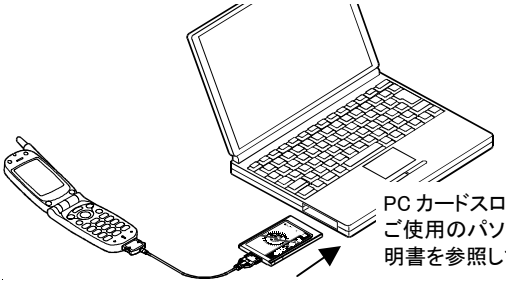
携帯電話にはカチッと音がするまで差し込んでください。
コネクタが入りにくいときは無理な力で挿入せず、コネクタの向き（裏表）を確認してください。
取り外したカバーはなくさないように保管してください。





4 本製品を PC カードスロットに差し込みます。

ケーブルが本製品に接続されていることを確認後、本製品のラベル面を上にして、PCカードスロットの奥までしっかりと差し込みます。



5 パソコンの電源を入れ、Windows NT 4.0 を起動します。

Windows NT 4.0使用中にPCカードの抜き差しはできません。必ず、Windows NT 4.0を終了し、電源を切った状態で抜き差しを行ってください。

6 スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の
[PCカード]アイコンをダブルクリックします。

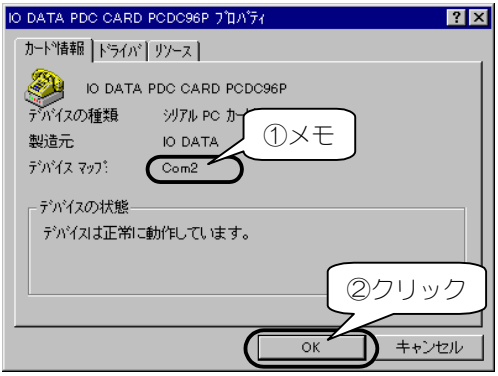
7 画面上の [I-O DATA PCDC-96P]をクリックして、
[プロパティ]ボタンをクリックします。

注意

表示されていない場合は、取り付けを確認してください。
また、カードの状態に×マークが付いている場合は、パソコンに、PC カード専用のユーティリティソフトがないかご確認ください。
ユーティリティがある場合は、そのユーティリティ上で本製品が正常に認識されているか、COM 番号が何番かをご確認ください。
また、ユーティリティで正常に認識されている場合は、上記画面で正常に表示されていないくても動作には問題ありません。

8 表示されたCom番号（以下の画面では[Com2]）をメモした後、[OK]ボタンをクリックします。

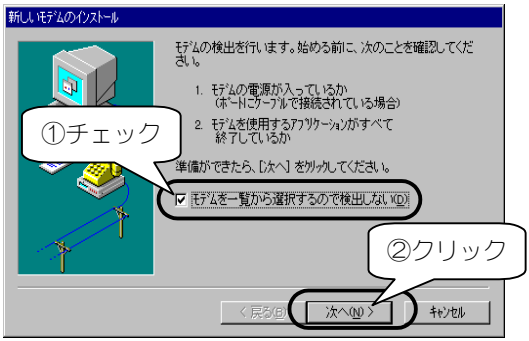
※このCom番号を手順 ***15*** で選択します。



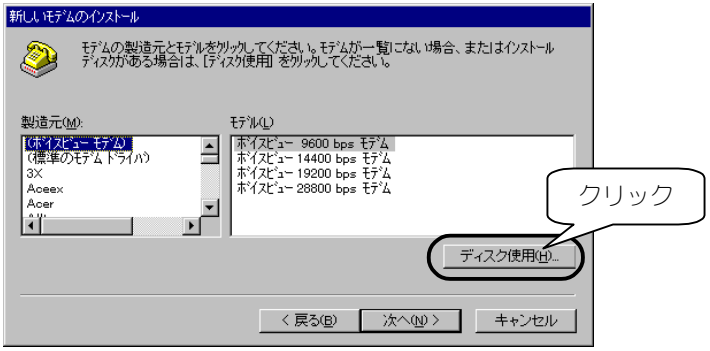
9 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の[モデム]アイコンをダブルクリックします。

10 [モデムを一覧から…]をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。

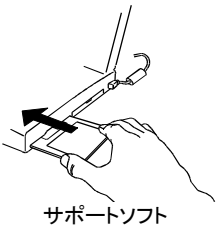
※すでに他のモデムがインストールされている場合は、[追加]ボタンをクリックすれば以下の画面が表示されます。



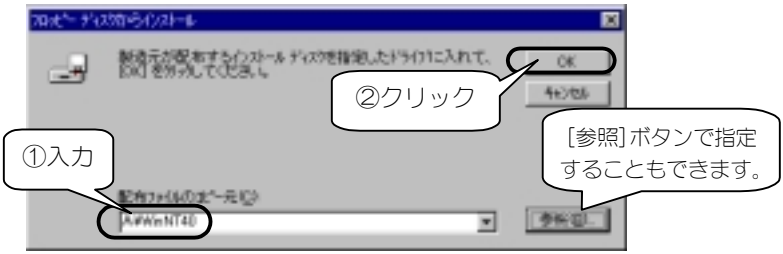
11　[ディスク使用]ボタンをクリックします。



12　「サポートソフト」ディスクを フロッピーディスクドライブにセットします。

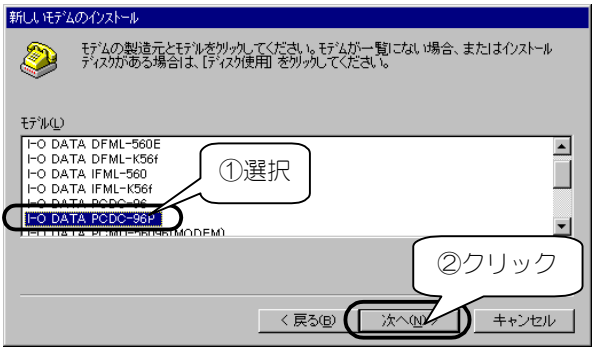


13　以下の画面で A:¥WinNT40　（フロッピーディスクドライブが A ドライブの場合） と入力して[OK]ボタンをクリックします。



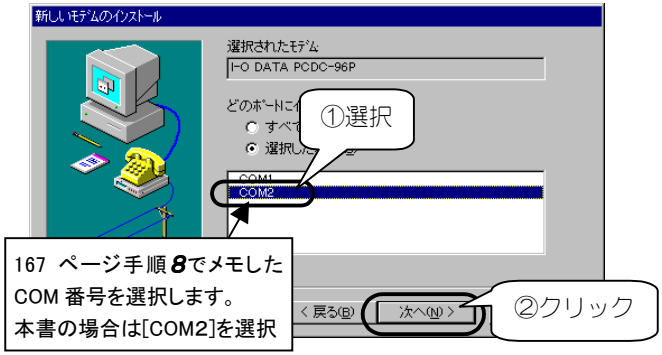
（フロッピーディスクドライブが A ドライブの場合の例）

14 [I-O DATA PCDC-96P]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。



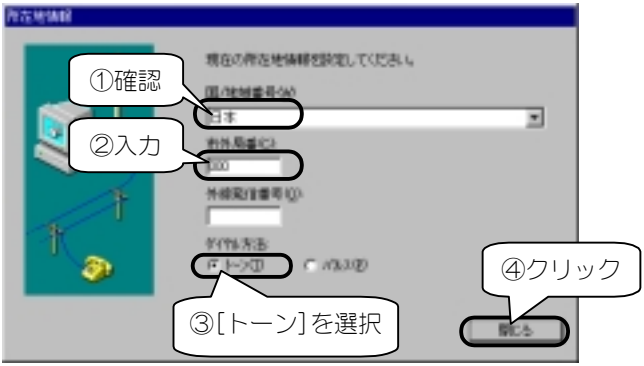
15 手順8 でメモしたCOM番号を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

ファイルのコピーを開始します。



16　以下の画面が表示された場合は、必要な情報を設定します。

No.	項目	設定内容
①	国／地域番号	[日本]であることを確認
②	市外局番	[000]などの存在しない数値を入力 ※携帯電話は市外局番から入力するので、このような仮の値を設定しておきます。 （設定しないと市外局番から発信できません。）
③	ダイヤル方法	[トーン]を選択



17　[完了]ボタンをクリックします。

18 [閉じる]ボタンをクリックして、
[モデムのプロパティ]画面を閉じます。

19 パケット通信対応電話機でパケット通信をする場合のみ
次ページを参照して、追加設定を行ってください。

※パケット通信を行うには、携帯電話のオプション契約（パケット使用料）が別途必要です。また、プロバイダがパケット通信に対応している必要があります。

※以下の場合は、設定する必要はありません。

・（パケット通信でない）通常のデータ通信を行う場合
・パケット通信対応でない電話機で使用する場合
・パケット通信対応か不明な場合

以上でインストールは終了です。
次は通信の設定を行います。
173 ページ【通信するための設定】へお進みください。

Windows NT 4.0 使用中に本製品を PC カードスロットから取り出すことはできません。本製品を PC カードスロットから取り出す際は、必ず Windows NT 4.0 を終了してパソコンの電源を切った後で取り出してください。

●パケット通信対応電話機でパケット通信をする場合の追加設定

1　[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[モデム]を開き、[I-O DATA PCDC-96P]をクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックします。

2　[接続]タブをクリックし、[詳細]ボタンをクリックします。

3　[追加設定]に半角で「AT^M1」と入力し、[OK]ボタンをクリックします。後は[OK]ボタンや[閉じる]ボタンをクリックして画面を閉じてください。

ステップ 2

準備編

通信するための設定

インターネットをはじめ通信ソフトを利用するには、パソコンに通信の設定をしておく必要があります。
設定は、Windows の［モデム］アイコンで行います。
本製品を PC カードスロットに差し込んだまま（専用ケーブルを携帯電話に接続した状態）で設定してください。

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、[モデム]アイコンをダブルクリックします。

2 [I-O DATA PCDC-96P]をクリック後、[プロパティ]ボタンをクリックします。

「I-O DATA PCDC-96P」が表示されない場合は…

【困ったときには】の 252 ページをご参照ください。

3 [最高速度]を選択肢中で一番速い速度に設定し、
[OK]ボタンをクリックします。

最高速度には選択できる速度のうち、最高の速度（38400bpsが望ましい）を設定しておくと、最大パフォーマンスが引き出せます。

注意

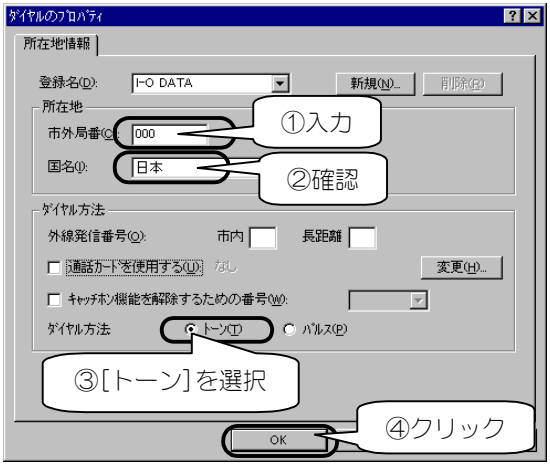
・ご使用になるパソコンの種類によっては、設定した速度で通信できない場合があります。 その場合は自動的に通信速度が落ちますので、あらかじめご了承ください。

・ここで設定する速度は、端末速度（パソコンと本製品間の速度）です。

4 [モデムのプロパティ]画面の
[ダイヤルのプロパティ]ボタンをクリックします。

5　必要な情報を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

No.	項目	設定内容
①	市外局番	[000]などの存在しない数値を入力 ※携帯電話は市外局番から入力するので、このような仮の値を設定しておきます。 （設定しないと市外局番から発信できません。）
②	国名	[日本]であることを確認
③	ダイヤル方法	[トーン]を選択



6　[閉じる]ボタンをクリックし、[モデムのプロパティ]画面を閉じます。

ここまでで、通信するための設定は終了です。
1度これらのインストールや設定を行えば、今後はパソコンを起動するだけで使えるようになります。

本製品を使って…

インターネットを楽しみたい	→【Windows NT 4.0 でインターネットに接続するには】（次ページ）へ
FAX 通信したい	→【パソコンからダイレクトに FAX 送信したい】（271 ページ）へ

インターネット接続編

Windows NT 4.0 で インターネットに接続するには

【準備編】(【ステップ１】(163 ページ)～【ステップ２】(173 ページ)) が終了したら、いよいよインターネットに接続してみましょう。

ステップ 1

接続前の準備 ····· *177ページ*

インターネットに接続する上で必要な確認事項について説明します。

・プロバイダとの契約
・本製品、携帯電話の準備

ステップ 2

接続に必要なソフトウェア ····· *178ページ*

インターネットに接続するために必要なソフトウェアについて説明します。

・ダイヤルアップネットワーク

ステップ 3

インターネットを楽しもう ····· *187ページ*

【ステップ2】で設定した［ダイヤルアップネットワーク］で実際にインターネットに接続してみましょう。

ステップ 1

インターネット接続編

接続前の準備

インターネット接続を行うには、以下をまず準備しておく必要があります。順にチェックしておいてください。

準備1:プロバイダとの契約

インターネット・サービスを受けるために、商用プロバイダとダイヤルアップ IP 接続の契約を行ってください。

※パケット通信を行う場合にはキャリアメーカーとパケット通信の契約も必要です。

契約時に入手した資料について

プロバイダとの契約後、パソコンからインターネット接続するために以下が記載されている資料を受け取ります。

パソコンにインターネット接続するための設定をする際（次ページ【ステップ2】）、また、インターネットに接続する際（【ステップ3】187 ページ）に必要となりますので、準備しておいてください。

- ユーザー名
- パスワード
- 接続先の電話番号
- ネームサーバーアドレス※
  - プライマリ DNS サーバー
  - セカンダリ DNS サーバー

※ネームサーバーアドレス（プライマリ DNS サーバー、セカンダリ DNS サーバー）は、プロバイダによっては指定がない場合もあります。指定がない場合は特に設定する必要はありません。

準備2:パソコン、本製品、携帯電話の準備

パソコン、本製品、携帯電話があればインターネットに接続できます。ただし、以下の確認を行っておいてください。

チェック1:携帯電話の電源

携帯電話の電源が入っていることを確認してください。

チェック2:携帯電話と本製品の接続

携帯電話と本製品が添付のケーブルで接続されていることを確認してください。

※携帯電話の電源が入っていても、本製品を接続できます。

チェック3:携帯電話の電波の状態

携帯電話の電波の状態が良好なことを確認してください。

ステップ 2

インターネット接続編

接続に必要なソフトウェア

本製品経由でインターネット接続を行うには、パソコンに以下のソフトウェアをインストールし、設定する必要があります。

・ダイヤルアップネットワーク

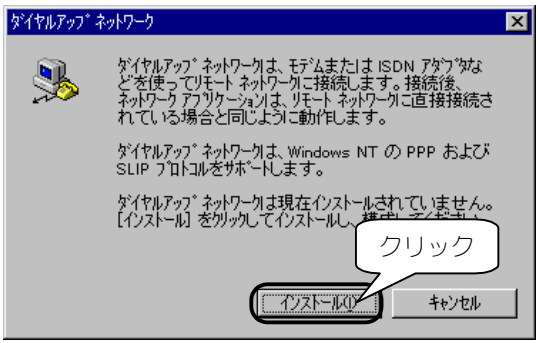
すでに、[ダイヤルアップネットワーク]をインストールしている場合は、【[ダイヤルアップネットワーク] を設定する】(181 ページ)へお進みください。

インストールしていない場合は、以下の手順でインストールしてください。

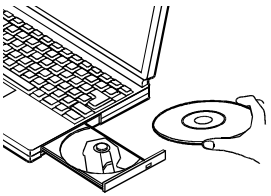
[ダイヤルアップネットワーク]をインストールする

1 [マイコンピュータ]の[ダイヤルアップネットワーク]アイコンをダブルクリックします。

2 [インストール]ボタンをクリックします。



3 Windows NT 4.0 の CD-ROM を CD-ROMドライブにセットします。



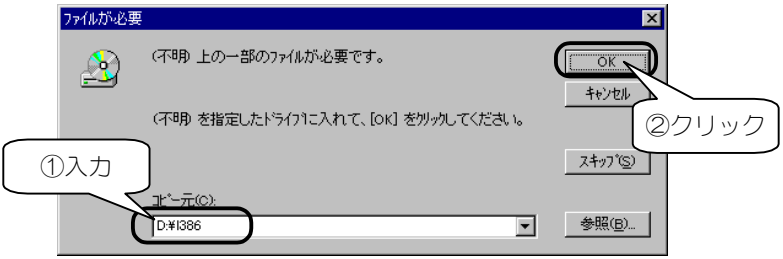
「Windows NT 4.0」CD-ROM

4 以下の画面が表示された場合は、
以下を入力して[OK]ボタンをクリックします。

「D:¥i386」　（DOS/V マシン、NEC PC98-NX シリーズ）

「D:¥Pc98」　（NEC PC-9821 シリーズ）

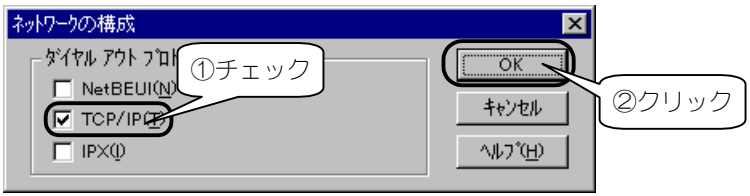
（ともにCD-ROMドライブがDドライブの場合の入力例です。）



5 [RASデバイスの追加]画面で、
[I-O DATA PCDC-96P]を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

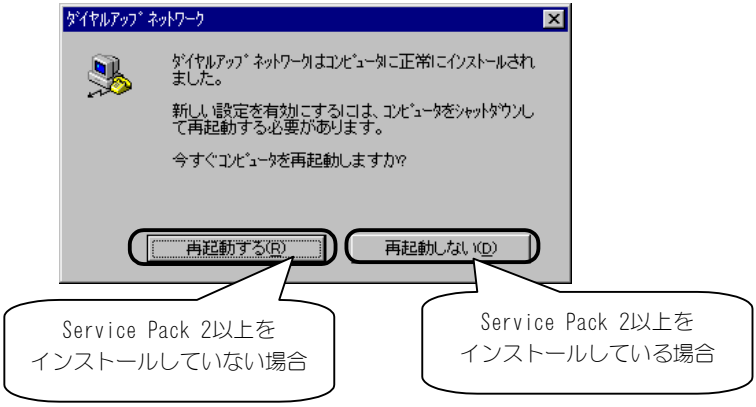
6 [リモートアクセスセットアップ]画面が表示されますので、
[ネットワーク]ボタンをクリックします。

7 [ネットワークの構成]画面が表示されますので、
[TCP/IP]のみをチェックして、[OK]ボタンをクリックします。



8 [リモートアクセスセットアップ]画面に戻りますので、
[続行]をクリックします。

9 [ダイヤルアップネットワーク]画面に戻ります。



- ***Service Pack 2以上をインストールしている場合***
  [再起動しない]をクリックしてService Packをもう一度インストールしてから再起動してください。
- ***Service Pack 2以上をインストールしていない場合***
  ［再起動する］をクリックしてパソコンを再起動してください。

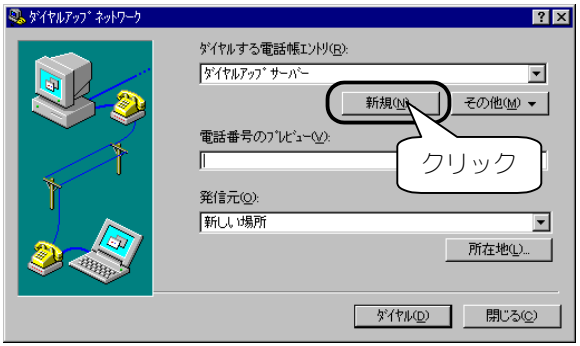
以上で、インストールは終了です。
次に【[ダイヤルアップネットワーク]を設定する】(次ページ)へお進みください。

[ダイヤルアップネットワーク]を設定する

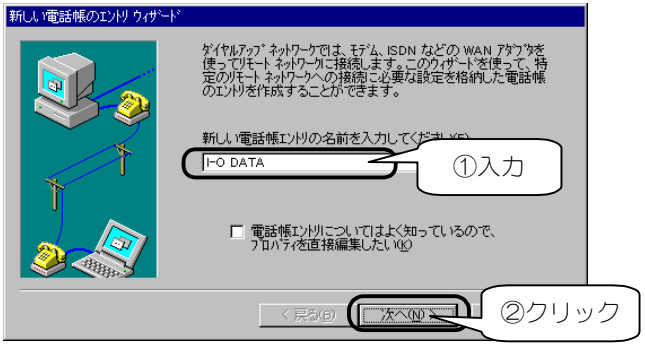
インターネットに接続するには、さらに以下の［ダイヤルアップネットワーク］を設定する必要があります。

1 [マイコンピュータ]の[ダイヤルアップネットワーク」アイコンをダブルクリックし、以下の画面で[OK]ボタンをクリックします。

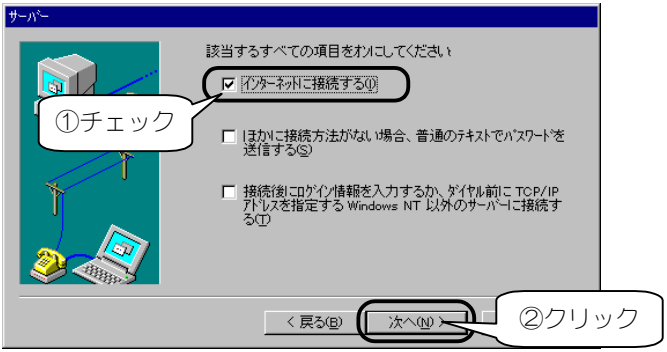
（既に「ダイヤルアップネットワーク」がインストールならびに設定されている場合は、下記の画面が表示されますので、[新規]ボタンをクリックしてください。）



2 電話帳に登録する名前（任意）を入力し、[次へ]をクリックします。

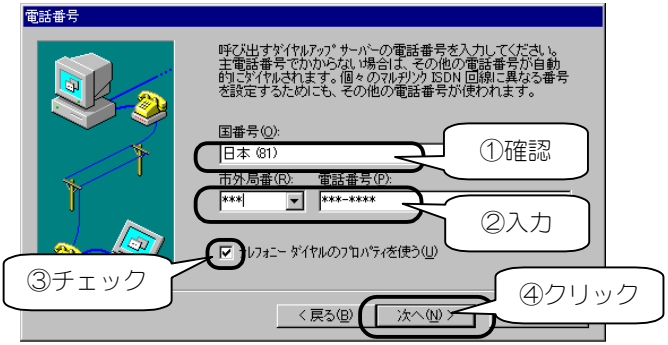


3 [インターネットに接続する]をチェックして、
[次へ]をクリックします。



4 以下を設定後、[次へ]ボタンをクリックします。

国番号	[日本(81)]
市外局番	接続先(プロバイダ)の市外局番 ※ダイヤル先が市内であっても、必ず市外局番から入力してください。
電話番号	接続先(プロバイダ)の電話番号
テレフォニーダイヤルのプロパティを使う	チェックする

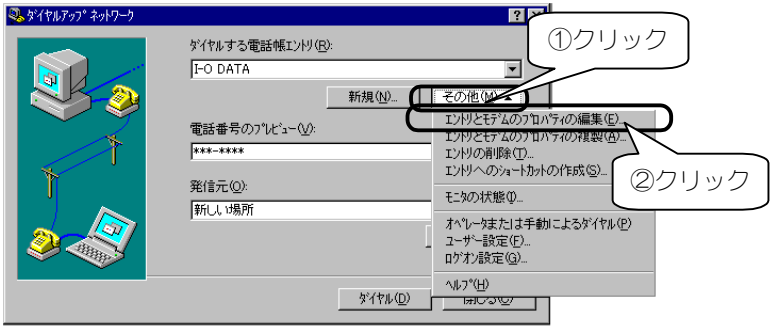


注意

[市外局番][電話番号]欄の「*」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号を入力してください。**

5 [完了]ボタンをクリックします。

6 [ダイヤルアップネットワーク]画面に戻りますので、
[その他]をクリックし、[エントリとモデムのプロパティの編集]をクリックします。



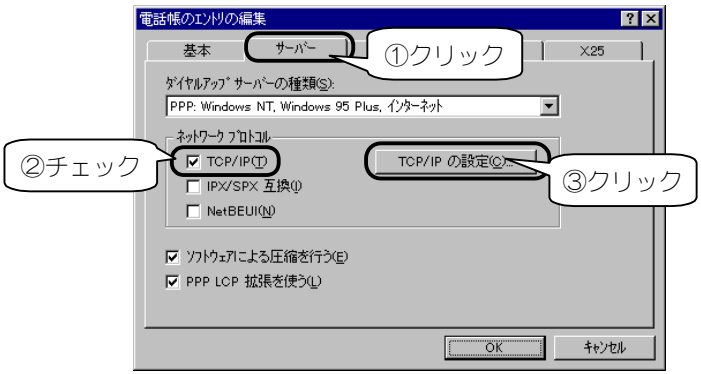
7 [基本]タブで、[ダイヤル方法]に
[I-O DATA PCDC-96P]を選択し、[構成]ボタンをクリックします。

8 [初期速度]が[38400]となっていることを確認後、
[ハードウェアの機能]の項目をすべてチェックし、
[OK]ボタンをクリックします。

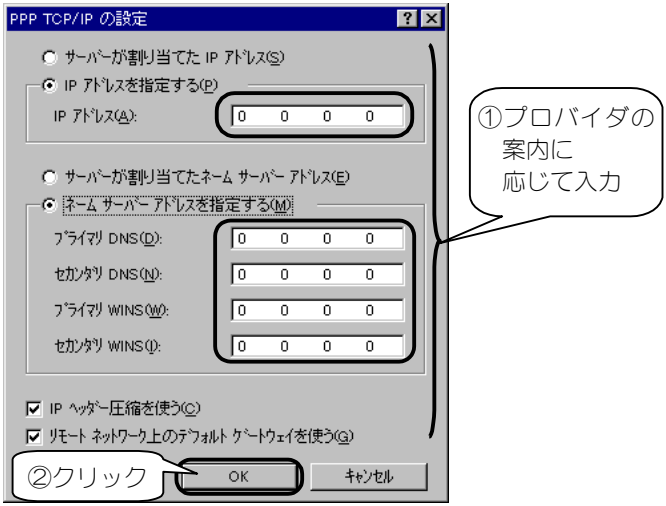
注意

本製品は、[38400]bps まで対応です。
[38400]bps より上の速度には設定しないでください。

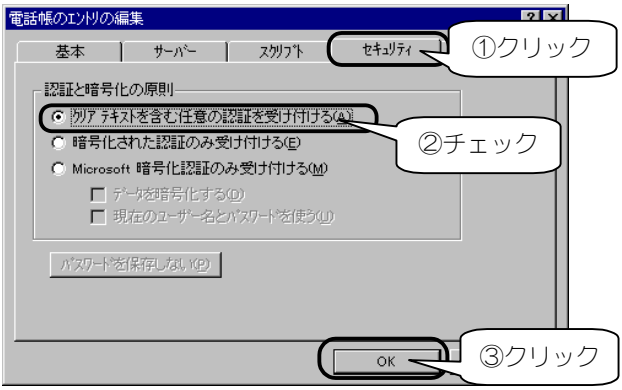
9 [サーバー]タブをクリックし、[ネットワークプロトコル]の
[TCP/IP]をチェックし、[TCP/IPの設定]ボタンをクリックします。



10 [IPアドレス][プライマリ(セカンダリ)DNS][プライマリ(セカンダリ)WINS]については、各プロバイダの案内に応じて入力してください。
設定後、[OK]ボタンをクリックします。



11 [電話帳のエントリの編集]画面に戻ったら、今度は[セキュリティ]タブをクリックし、[クリア テキストを含む任意の認証を受け付ける]をチェックします。
チェック後、[OK]ボタンをクリックします。



12　[閉じる]ボタンをクリックします。

これで[ダイヤルアップネットワーク]の設定は終了です。
次ページからの【インターネットを楽しもう】を参照して、実際にインターネットへ接続してみましょう。

ステップ 3

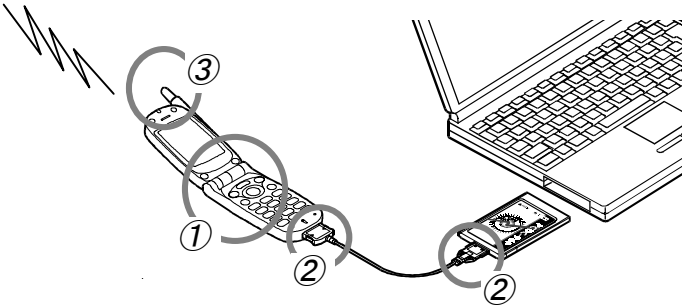
インターネット接続編

インターネットを楽しもう

ここまでの設定がすべて終了すれば、いよいよインターネットへの接続です。

接続する際のチェック項目

インターネットに接続する際は、携帯電話を操作する必要は特にありませんが、毎回以下を確認してから、本製品をパソコンに取り付け、インターネットに接続してください。



チェック①：携帯電話の電源

携帯電話の電源が入っていることを確認してください。

チェック②：携帯電話と本製品の接続

携帯電話と本製品が添付のケーブルで接続されていることを確認してください。

※携帯電話の電源が入っている状態でも問題ありません。

チェック③：携帯電話の電波の状態

携帯電話の電波の状態が良好なことを確認してください。

※携帯電話でその場から正常に通話できることを確認しておいてください。

注意

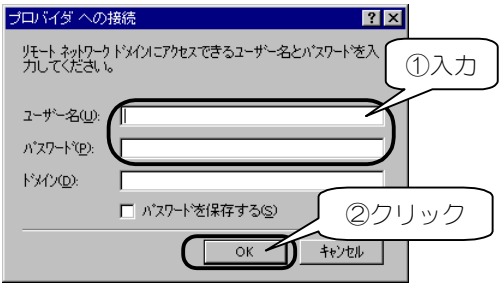
携帯電話の電波が弱い場合は、正常にインターネットなどに接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることを、携帯電話の液晶画面などで確認してから、インターネットなどに接続してください。

インターネットに接続する

インターネットへの接続は、【[ダイヤルアップネットワーク] を設定する】(181 ページ) で作成した[ダイヤルアップネットワーク]で行います。

1 [マイコンピュータ]→[ダイヤルアップネットワーク]を開き、[ダイヤル]ボタンをクリックします。

2 プロバイダから通知された[ユーザー名]と[パスワード]を入力して、[OK]ボタンをクリックします。



注意

・パスワードは[*****]と表示され、入力内容が確認できないので、アルファベットの大文字小文字などを間違えないように注意してください。
・[パスワードを保存する]をチェックすると、次回からパスワードが[*]印で表示されるのでパスワードを入力する必要がありません。セキュリティの必要に応じてお使いください。

3 インターネットに接続されます。
ディスプレイ画面右下のタスクトレイに[ダイヤルアップネットワークモニタ]アイコンが追加され、ダブルクリックすると接続状況を確認できます。

「回線が使用中です」などと表示された場合は…

【困ったときには】の 260 ページをご参照ください。

注意

[ダイヤルネットワークモニタ]をダブルクリックして表示される接続状況は、パソコンと本製品間の通信速度になります(174 ページの手順 3で指定した値)。実際の回線速度は 9.6Kbps です。(パケット通信対応電話機の場合は最高 28.8Kbps まで)

4 ブラウザや電子メールソフトを起動してお楽しみください。

接続中は、常時[ダイヤルアップネットワークモニタ]が表示されています。
また、接続中の携帯電話の液晶には「V42.bis」と表示されます。
接続先によっては、「ASYNCDD」と表示されます。

インターネットを終了する

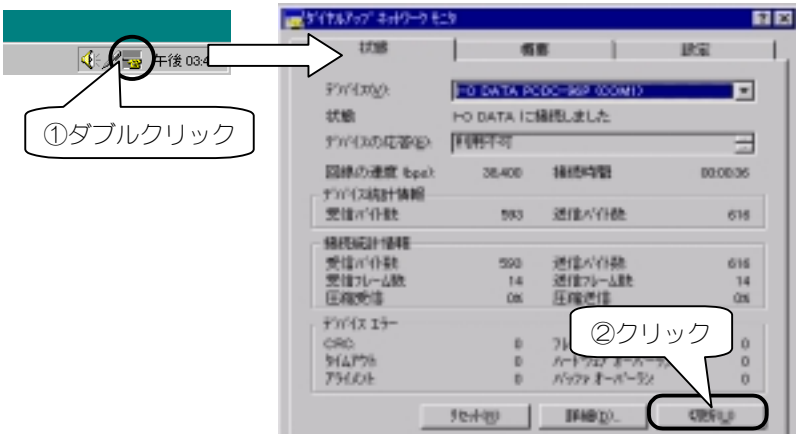
インターネットを終了する場合は、ブラウザや電子メールを終了するだけでなく、必ず以下の手順を行ってください。

注意

・ブラウザや電子メールを終わっただけでは電話回線は切断されません。必ず以下の[切断]ボタンをクリックしてください。クリック後、携帯電話の通話が終わっていること、また、[接続インジケータ]が消えることを必ず確認してください。
・携帯電話の通話だけを切ってもパソコン側の通信は終了しません。必ずパソコン側で切断してください。

1 インターネット利用が終わったら、画面右下の[ダイヤルアップネットワークモニタ]をダブルクリックし、[切断]ボタンをクリックします。

これで電話回線が切断され、画面右下の[ダイヤルアップネットワークモニタ]が消えます。携帯電話の通話も自動的に切断されるので、液晶表示を見て通話が終わっていることを確認してください。



以上で、インターネットは終了できました。

MEMO

6 Windows CE で使うには

～ *準備編* ～

ハンドヘルド PC に取り付ける ····· 192ページ

～ *インターネット接続編* ～

Windows CE でインターネットに
接続するには · 194ページ

ステップ1 接続前の準備 ····· 195ページ

ステップ2 接続に必要なソフトウェア · 196ページ

ステップ3 インターネットを楽しもう ··· 199ページ

準備編

ハンドヘルド PC に取り付ける

本製品をハンドヘルド PC に取り付けます。

注意

・ハンドヘルド PC を使用中に本製品の抜き差しはできません。
必ず Windows CE を終了し、電源を切った後で抜き差しを行ってください。
・AC アダプタを接続せずにバッテリでお使いの場合、本製品を差すと[このバッテリで使用しますか？]と表示されるので、[はい]ボタンをタップします。

1 ハンドヘルドPCの電源を切ります。

2 携帯電話の電源を入れます。

参考

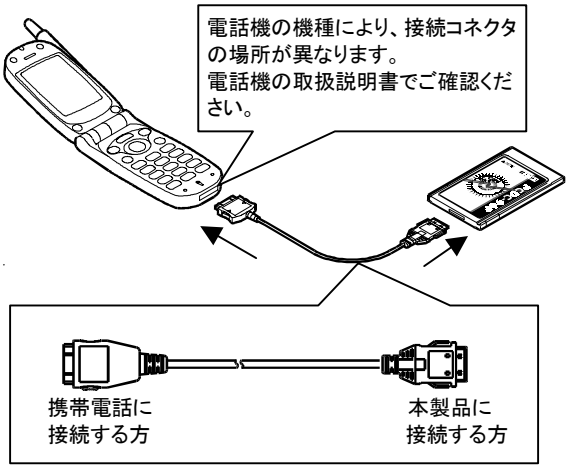
手順3 で携帯電話と本製品を接続しますが、携帯電話の電源が入っている状態でも問題ありません。（接続後に携帯電話の電源を入れることもできます。）

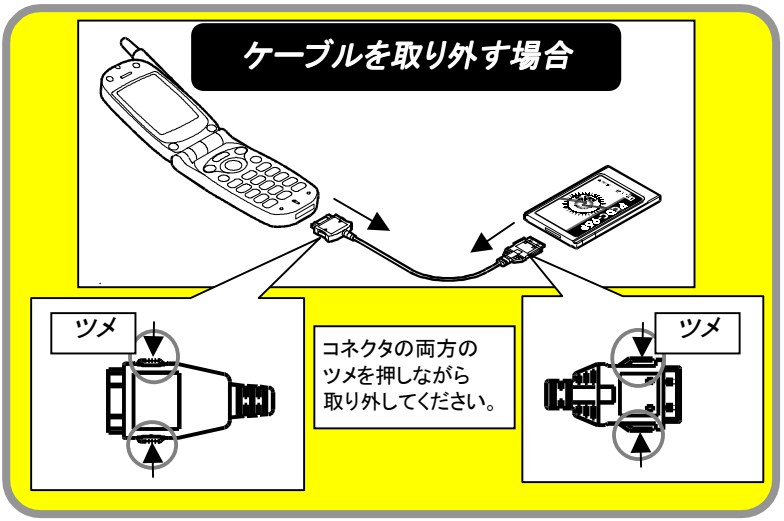
3 携帯電話の接続コネクタのカバーを取り外し、本製品添付のケーブルで携帯電話と本製品を接続します。

携帯電話にはカチッと音がするまで差し込んでください。

コネクタが入りにくいときは無理な力で挿入せず、コネクタの向き（裏表）を確認してください。

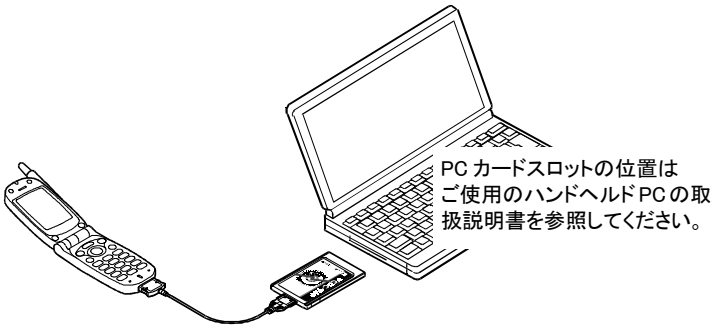
取り外したカバーはなくさないように保管してください。





4 本製品を PC カードスロットに差し込みます。

ケーブルが本製品に接続されていることを確認後、本製品のラベル面を上にして、PCカードスロットの奥までしっかりと差し込みます。



5 ハンドヘルドPCの電源を入れます。

以上で、本製品の取り付けは終了です。
インターネットを楽しみたい場合は、次ページ以降を参照してください。

インターネット接続編

Windows CE で インターネットに接続するには

本製品のハンドヘルド PC への取り付けが終了したら、いよいよインターネットに接続してみましょう。

ステップ 1

接続前の準備 ····· *195ページ*

インターネットに接続する上で必要な確認事項について説明します。

・プロバイダとの契約
・本製品、携帯電話の準備

ステップ 2

接続に必要なソフトウェア ····· *196ページ*

インターネットに接続するために必要なソフトウェアについて説明します。

・リモートネットワーク

ステップ 3

インターネットを楽しもう ····· *199ページ*

【ステップ2】で設定した［リモートネットワーク］で実際にインターネットに接続してみましょう。

ステップ 1

インターネット接続編

接続前の準備

インターネットに接続するには、以下をまず準備しておく必要があります。順にチェックしておいてください。

準備1:プロバイダとの契約

インターネット・サービスを受けるために、商用プロバイダとダイヤルアップ IP 接続の契約を行ってください。

※パケット通信を行う場合にはキャリアメーカーとパケット通信の契約も必要です。

契約時に入手した資料について

プロバイダとの契約後、パソコンからインターネット接続するために以下が記載されている資料を受け取ります。

パソコンにインターネット接続するための設定をする際（次ページ【ステップ2】）、また、インターネットに接続する際（【ステップ3】199 ページ）に必要となりますので、準備しておいてください。

- ユーザー名
- パスワード
- 接続先の電話番号
- ネームサーバーアドレス※
  - プライマリ DNS サーバー
  - セカンダリ DNS サーバー

※ネームサーバーアドレス（プライマリ DNS サーバー、セカンダリ DNS サーバー）は、プロバイダによっては指定がない場合もあります。指定がない場合は特に設定する必要はありません。

準備2:ハンドヘルド PC、本製品、携帯電話の準備

ハンドヘルド PC、本製品、携帯電話があればインターネットに接続できます。ただし、以下の確認を行っておいてください。

チェック1:携帯電話の電源

携帯電話の電源が入っていることを確認してください。

チェック2:携帯電話と本製品の接続

携帯電話と本製品が添付のケーブルで接続されていることを確認してください。

※携帯電話の電源が入っていても、本製品を接続できます。

チェック3:携帯電話の電波の状態

携帯電話の電波の状態が良好なことを確認してください。

ステップ 2

インターネット接続編

接続に必要なソフトウェア

インターネット接続を行うには、ハンドヘルド PC からプロバイダなどにダイヤルアップするためのソフトウェア[リモートネットワーク]を設定する必要があります。
以下の手順で設定してください。

注意

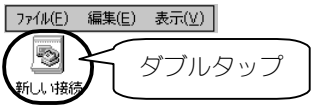
パケット通信を行うには、携帯電話のオプション契約(パケット使用料)が別途必要です。また、プロバイダがパケット通信に対応している必要があります。

参考

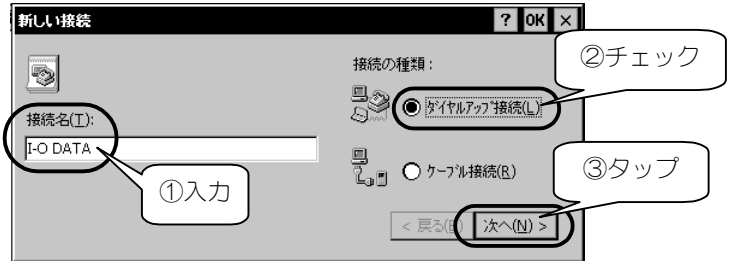
ダイヤルアップとは
→電話回線などの公衆網を利用して、インターネットに接続できる通信業者(プロバイダ)に接続すること。

1 [スタート]→[プログラム]→[通信]を開き、
[リモートネットワーク]アイコンをダブルタップします。

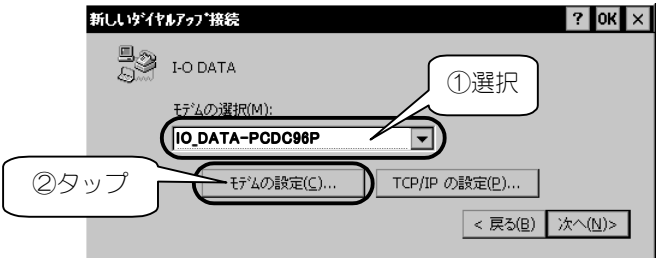
2 [新しい接続]アイコンを
ダブルタップします。



3 任意の接続名(お好きな名前)を入力し、
[ダイヤルアップ接続]にチェックし、[次へ]ボタンをタップします。



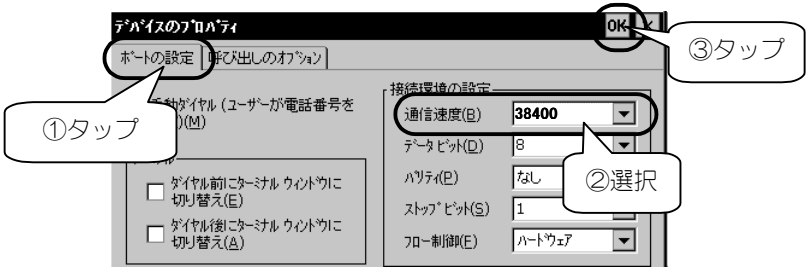
4 [モデムの選択]で[IO_DATA-PCDC96P]を選択し、[モデムの設定]ボタンをタップします。



注意

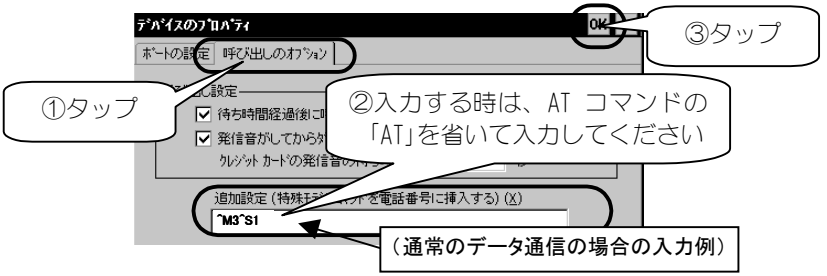
[モデムの選択]に[IO_DATA-PCDC96P]が現れない場合は、Windows CE をいったん終了し、本製品の接続を確認の上、Windows CE マシン本体のリセットスイッチを押してリセットしてください。

5 [ポートの設定]タブをタップし、[通信速度]欄で[38400]を選択して、ウィンドウ右上の[OK]ボタンをタップします。



6 [呼び出しのオプション]タブをタップし、[追加設定]に以下を参照して半角で文字列を入力後、[OK]ボタンをタップします。

●通常のデータ通信をする場合	^M3^S1
●パケット通信対応電話機でパケット通信をする場合	^M1^S1

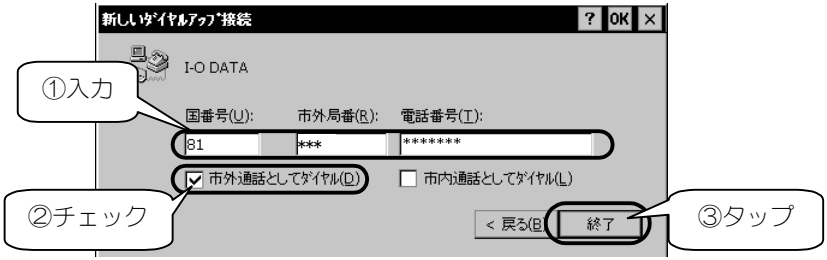


注意

・[追加設定]欄に入力する文字はすべて半角文字で入力してください。
・[追加設定]欄に入力する AT コマンドの意味や詳細は、「サポートソフト」ディスク内の manual フォルダにある「readme.txt」を参照してください。

7 プロバイダからの指定がある場合は、
[TCP/IP の設定]ボタンをタップして設定してください。
設定が不要または終了したら、[次へ]ボタンをタップします。

8 接続先のプロバイダの電話番号(国番号は81)を入力し、
[市外通話としてダイヤル]をチェックして、
[終了]ボタンをタップします。



9 作成した接続のアイコンが表示されます。

これでリモートネットワークの設定は終了です。
次ページの【インターネットを楽しもう】を参照して、実際にインターネットに接続してみましょう。

ステップ 3

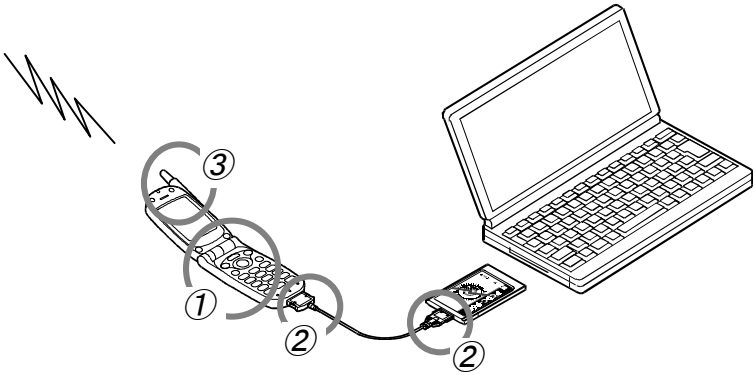
インターネット接続編

インターネットを楽しもう

ここまでの設定がすべて終了すれば、いよいよインターネットへの接続です。

接続する際のチェック項目

インターネットに接続する際は、携帯電話を操作する必要は特にありませんが、毎回以下を確認してから、本製品をハンドヘルド PC に取り付け、インターネットに接続してください。



チェック①：携帯電話の電源

携帯電話の電源が入っていることを確認してください。

チェック②：携帯電話と本製品の接続

携帯電話と本製品が添付のケーブルで接続されていることを確認してください。

※携帯電話の電源が入っている状態でも問題ありません。

チェック③：携帯電話の電波の状態

携帯電話の電波の状態が良好なことを確認してください。

※携帯電話でその場から正常に通話できることを確認しておいてください。

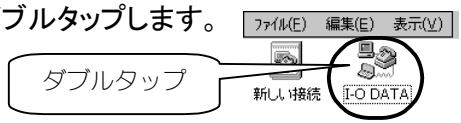
注意

携帯電話の電波が弱い場合は、正常にインターネットなどに接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることを、携帯電話の液晶画面などで確認してから、インターネットなどに接続してください。

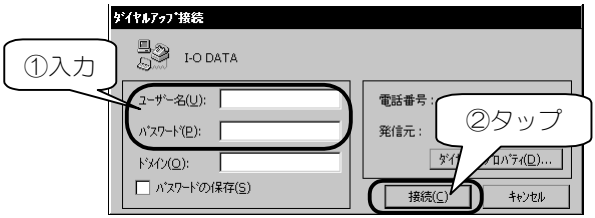
インターネットに接続する

インターネットへの接続は、【接続に必要なソフトウェア】（196 ページ）で作成した[リモートネットワーク]で行います。

1 作成した接続アイコンをダブルタップします。



2 プロバイダから通知された[ユーザー名]と[パスワード]を入力して、[接続]ボタンをタップします。



注意

・パスワードは[*****]と表示され、入力内容が確認できないので、アルファベットの大文字小文字などを間違えないように注意してください。
・[パスワードの保存]をチェックすると、次回からパスワードが[*]印で表示されるので、パスワードを入力する必要がありません。セキュリティの必要に応じてお使いください。

3 インターネットに接続されます。

画面右下のタスクトレイに[接続インジケータ]アイコンが追加され、ダブルタップすると接続状況を確認できます。

4 ブラウザや電子メールソフトを起動してお楽しみください。

接続中は、ずっと[接続インジケータ]が表示されています。
また、接続中、携帯電話の液晶には「V42.bis」と表示されます。

インターネットを終了する

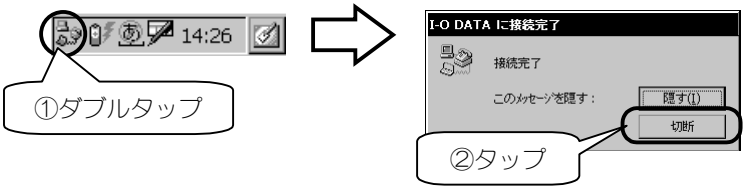
インターネットを終了する場合は、ブラウザや電子メールを終了するだけでなく、必ず以下の手順を行ってください。

注意

・ブラウザや電子メールを終わっただけでは電話回線は切断されません。必ず以下の[切断]ボタンをクリックしてください。クリック後、携帯電話の通話が終わっていること、また、[接続インジケータ]が消えることを必ず確認してください。
・携帯電話の通話だけを切ってもパソコン側の通信は終了しません。必ずパソコン側で切断してください。

1 インターネット利用が終わったら、画面右下の[接続インジケータ]アイコンをダブルタップし、[切断]ボタンをタップします。

これで電話回線が切断され、画面右下の[接続インジケータ]が消えます。
携帯電話の通話も自動的に切断されますので、液晶表示を見て通話が終わっていることを確認してください。



以上で、インターネットは終了できました。

MEMO

7 Mac OS で使うには

～ *準備編* ～

本製品で通信できるまでの流れ ····· 204ページ
ステップ1 パソコンに取り付ける····· 205ページ
ステップ2 設定ファイルをコピーする· 208ページ

～ *インターネット接続編* ～

Mac OS でインターネットに
接続するには· 210ページ
ステップ1 接続前の準備 ····· 211ページ
ステップ2 接続するための手順 ····· 213ページ
［インターネット接続アシスタント］
での接続··· 215ページ
［PPP ダイヤラ］での接続 ····· 222ページ

準備編

本製品で通信できるまでの流れ

本製品を利用して、インターネットをはじめ通信ソフトなどを使用するには、本製品をパソコンに取り付け、「サポートソフト」ディスク内の「モデム設定ファイル」（CCL ファイル）をパソコンにコピーする必要があります。
以下の流れに沿ってお進みください。

ステップ 1

パソコンに取り付ける ····· *205ページ*
本製品をパソコンに取り付ける手順について説明します。

ステップ 2

設定ファイルをコピーする ····· *208ページ*
本製品を使用するためのモデム設定ファイルをコピーする手順について説明します。

ステップ
1

準備編

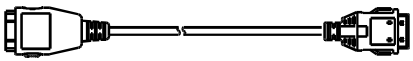
パソコンに取り付ける

パソコンに取り付ける手順について説明します。

用意するもの

・本製品

・添付の専用デジタルセルラーケーブル



・携帯電話

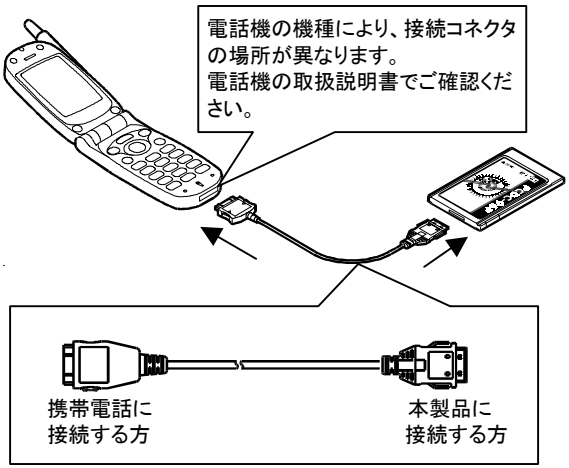
※本書で説明している携帯電話のイラストは一例です。
お使いの機種により、異なります。
また、本製品との接続コネクタも機種により異なります。

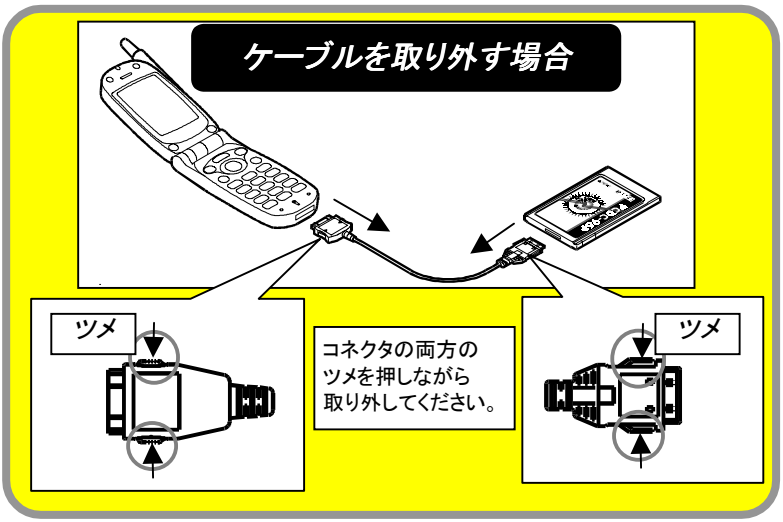
パソコンに取り付ける

1 本製品を差し込まずに、パソコンの電源を入れ、
Mac OSを起動します。

2 携帯電話の接続コネクタのカバーを取り外し、本製品添付のケーブルで携帯電話と本製品を接続します。

携帯電話にはカチッと音がするまで差し込んでください。
コネクタが入りにくいときは無理な力で挿入せず、コネクタの向き（裏表）を確認してください。
取り外したカバーはなくさないように保管してください。



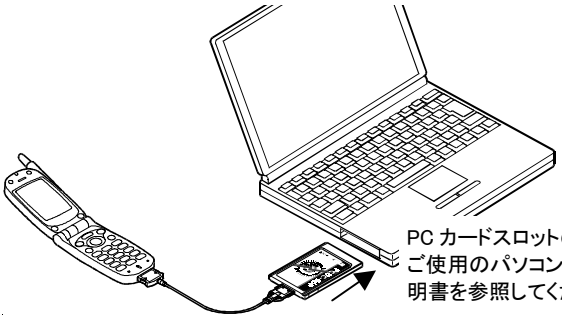


3 携帯電話の電源を入れます。

参考

携帯電話の電源は本製品との接続前、接続後のどちらでも問題ありません。

4 本製品を PC カードスロットに差し込みます。
ケーブルが本製品に接続されていることを確認後、本製品のラベル面を上にして、PCカードスロットの奥までしっかりと差し込みます。



以上で取り付けは終了です。
次は本製品を使用するために必要な「モデム設定ファイル」のコピーを行います。
次ページ【設定ファイルをコピーする】へお進みください。

ステップ 2

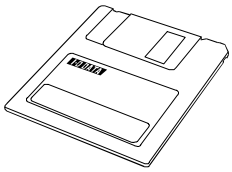
準備編

設定ファイルをコピーする

本製品を取り付けたら、次に「サポートソフト」ディスク内の「モデム設定ファイル」（CCL ファイル）をパソコンにコピーします。

用意するもの

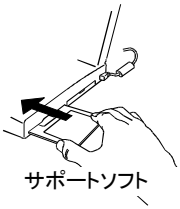
・添付の「サポートソフト」ディスク



「モデム設定ファイル」をコピーする

以下の手順は、初めて本製品を使うときだけ行います。

1 「サポートソフト」ディスクを
フロッピーディスクドライブにセットします。



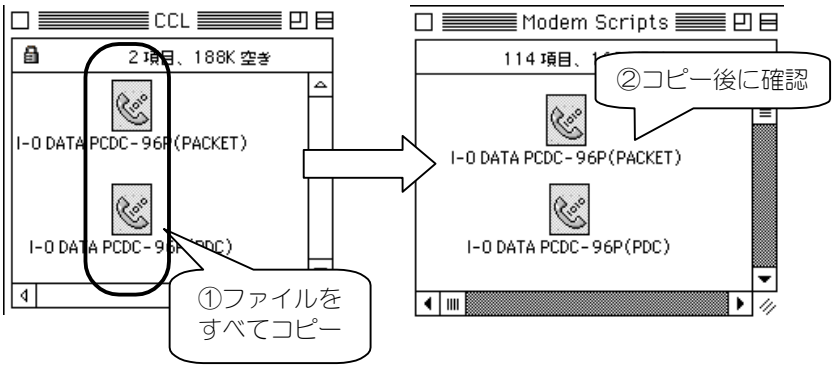
注意

「PCDC-96P サポートソフト」ディスクは 1.44MB フォーマットですので、モデム設定ファイルをコピーするときは、「PC Exchange」または「File Exchange」がインストールされている必要があります。

2 フロッピーディスクドライブアイコンをダブルクリックして、[Mac]フォルダの中の[CCL]フォルダを開きます。

3 [CCL]フォルダにある2つのファイル(このファイルが「モデム設定ファイル」です)を[機能拡張]フォルダの中の[Modem Script]フォルダへコピーします。

[機能拡張]フォルダは、Mac OSをインストールしたドライブの[システムフォルダ]の中にあります。

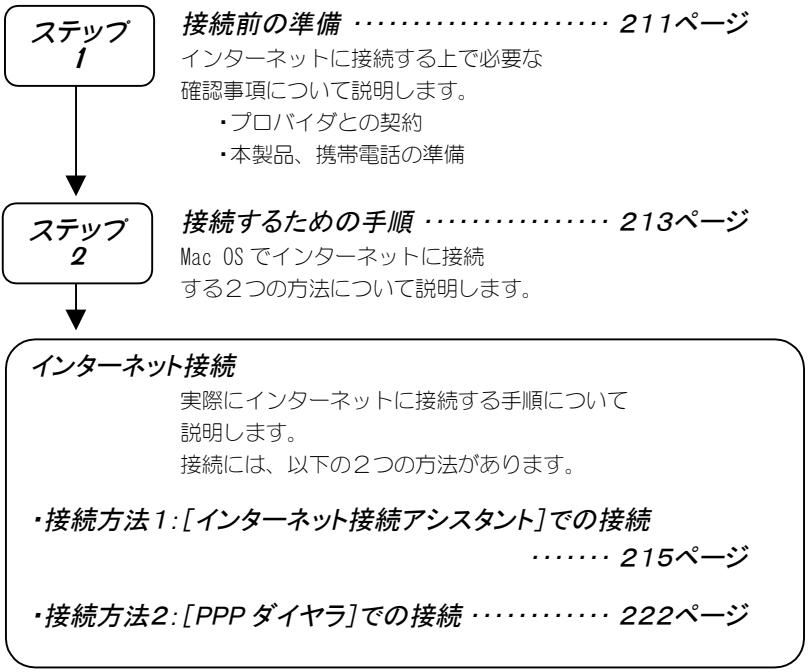


以上で「モデム設定ファイル」のコピーは終了です。
インターネットを楽しみたい場合は、次ページ以降を参照してください。

インターネット接続編

Mac OS で インターネットに接続するには

【準備編】(【ステップ１】(205 ページ)～【ステップ２】(208 ページ)) が終了したら、いよいよインターネットに接続してみましょう。



ステップ 1

インターネット接続編

接続前の準備

インターネットに接続するには、以下をまず準備しておく必要があります。順にチェックしておいてください。

準備1:プロバイダとの契約

インターネット・サービスを受けるために、商用プロバイダとダイヤルアップ IP 接続の契約を行ってください。

※パケット通信を行う場合にはパケット通信の契約も必要です。

契約時に入手した資料について

プロバイダとの契約後、パソコンからインターネット接続するために以下が記載されている資料を受け取ります。

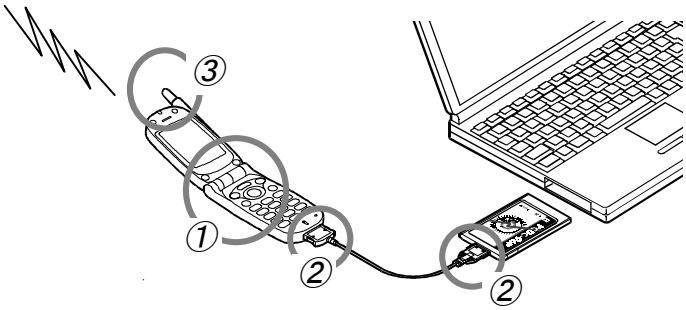
パソコンにインターネット接続するための設定をする際、また、インターネットに接続する際に必要となりますので、準備しておいてください。

- ユーザー名
- パスワード
- 接続先の電話番号
- ネームサーバーアドレス※
  - プライマリ DNS サーバー
  - セカンダリ DNS サーバー

※ネームサーバーアドレス(プライマリ DNS サーバー、セカンダリ DNS サーバー)は、プロバイダによっては指定がない場合もあります。
指定がない場合は特に設定する必要はありません。

準備2:パソコン、本製品、携帯電話の準備

パソコン、本製品、携帯電話があればインターネットに接続できます。
また、本製品は、パソコンの電源を入れる前でも、また、パソコンの電源を入れた後（Mac OS を起動した後）のどちらでもパソコンに取り付けることができます。
ただし、必ず以下のことを確認してから、本製品を PC カードスロットに差し込んでください。



チェック①:携帯電話の電源

携帯電話の電源が入っていることを確認してください。

チェック②:携帯電話と本製品の接続

携帯電話と本製品が添付のケーブルで接続されていることを確認してください。

※携帯電話の電源が入っている状態でも問題ありません。

チェック③:携帯電話の電波の状態

携帯電話の電波の状態が良好なことを確認してください。

※携帯電話でその場から正常に通話できることを確認しておいてください。

注意

携帯電話の電波が弱い場合は、正常にインターネットなどに接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることを、携帯電話の液晶画面などで確認してから、インターネットなどに接続してください。

ステップ
2

インターネット接続編

接続するための手順

インターネットに接続するには、以下の２通りの方法があります。

接続方法１:[インターネット接続アシスタント]での接続

[インターネット接続アシスタント]を使って、インターネット接続のために必要な設定を順番に行っていきます。
この設定を行うとき、プロバイダから教えてもらったユーザー名などの情報が必要になります。

接続方法２:[PPP ダイヤラ]での接続

「TCP/IP プロトコル」（本書例は「Open Transport」）および「PPP ダイヤラ」を使って、インターネット接続のために必要な設定を順番に行います。
この設定を行うとき、プロバイダから教えてもらったユーザー名などの情報が必要になります。

[インターネット接続アシスタント]での手順の方が楽に設定できますが、、お使いのパソコンの OS によって、パソコンに[インターネット接続アシスタント]がある場合と、ない場合があります。
次ページの手順で確認してください。

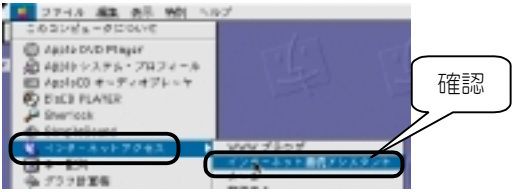
接続手順を確認する

インターネットへ接続するためには、パソコン本体に[インターネット接続アシスタント]があるかどうかによって手順が異なります。
以下の手順で確認してください。

1 アップルメニューから[インターネットアクセス]をクリックし、メニュー内に[インターネット接続アシスタント]があるかどうかを確認します。

（Mac OS 9.0 の場合は、起動ディスク(例えば Macintosh HD)→[インターネット]フォルダに[インターネット接続アシスタント]アイコンがあるかを確認してください。）

※確認後は、メニューを閉じてください。



[インターネット接続アシスタント]が……

ある場合は… → 次ページ【[インターネット接続アシスタント]での接続】へ進んでください。

ない場合は… → 【[PPP ダイヤラ]での接続】(222 ページ)へ進んでください。

インターネット接続編

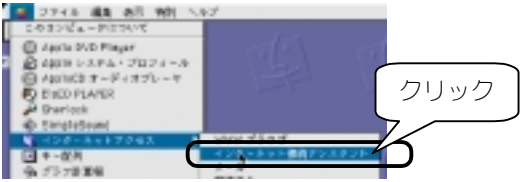
[インターネット接続アシスタント]での接続

ここでは、Mac OS の[インターネット接続アシスタント]でのインターネット接続手順について説明します。

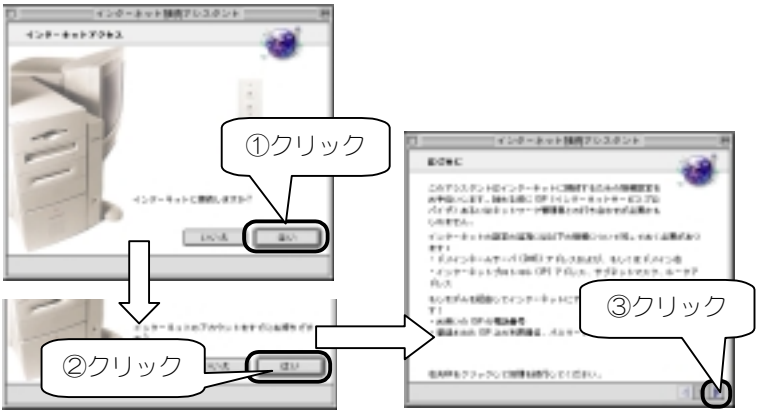
接続のための設定

1 アップルメニューから、[インターネットアクセス]→[インターネット接続アシスタント]を起動します。

Mac OS 9.0の場合は、起動ディスク(例えばMacintosh HD)→[インターネット]フォルダ→[インターネット接続アシスタント]アイコンを順にダブルクリックして起動します。



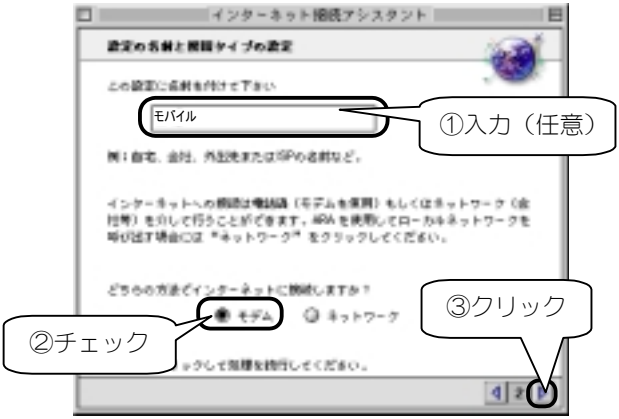
2 [はい]ボタンをクリックして処理を進め、[はじめに]が表示されたら、内容を確認して、[▶]ボタンをクリックします。



「情報がないか不適切」と
表示された場合は…

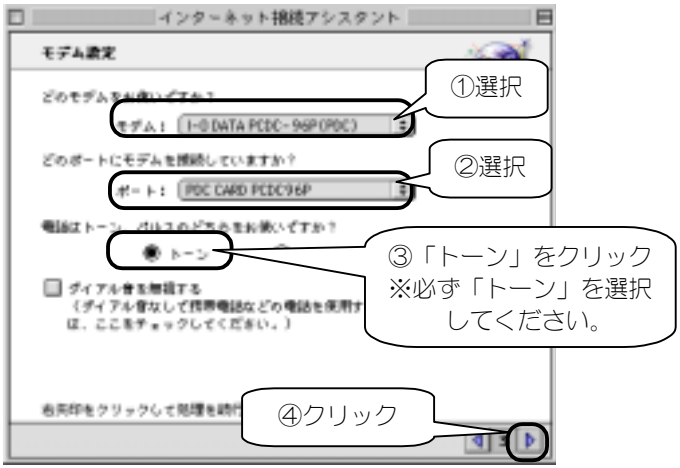
【困ったときには】の
264 ページ
をご参照ください。

3 [設定の名称と接続タイプの設定]を以下のように設定し、
[▶]ボタンをクリックします。



4 [モデム設定]を以下のように設定し、
[▶]ボタンをクリックします。

●パケット通信対応電話機でパケット通信をする場合は、
[モデム]で[I-O DATA PCDC-96P(PACKET)]を選択します。
（ご不明な場合は、[I-O DATA PCDC-96P(PDC)]を選択してください。）



[モデム]に[I-O DATA PCDC-96P]
と表示されない場合は…

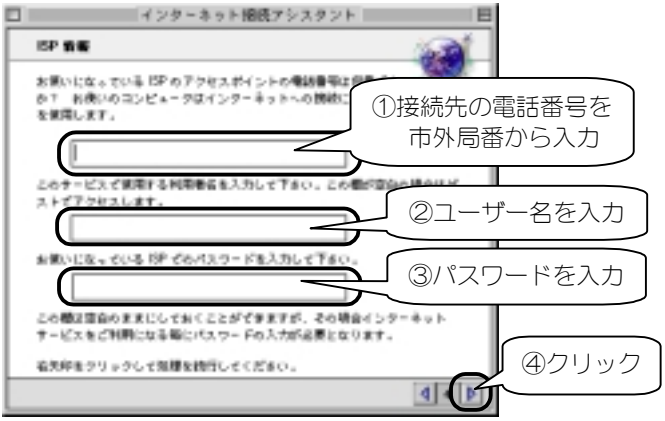
【困ったときには】の
265 ページ
をご参照ください。

[ポート]に[I-O DATA PCDC-96P]と表示されない場合は…

207 ページを参照し、カードを差し込みなおしてください。

5 [ISP情報](プロバイダからの通知情報)を以下のように設定し、[►]ボタンをクリックします。

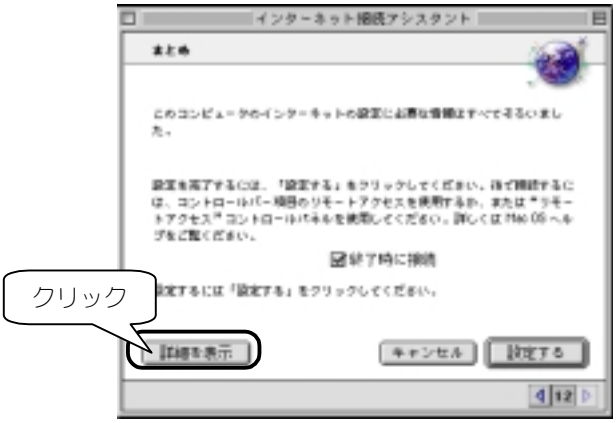
入力内容がわからないときは、プロバイダにお問い合わせください。



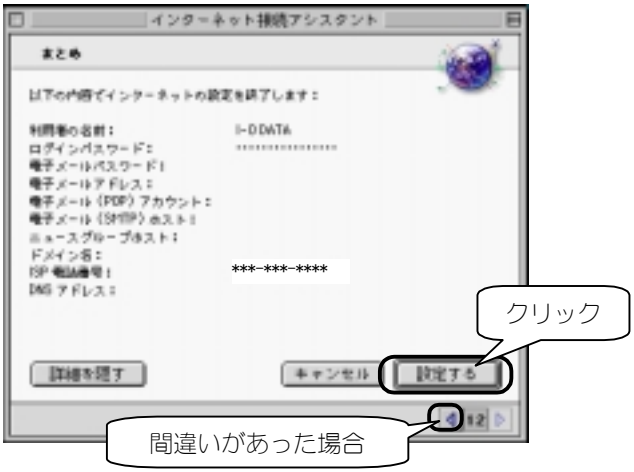
6 後は画面の指示にしたがって、適切な内容を設定してから、[►]ボタンをクリックして、処理を進めてください。

入力内容がわからないときは、プロバイダにお問い合わせください。

7 以下の画面が表示されたら、[詳細を表示]ボタンをクリックします。



8 以下の画面が表示されたら、設定した内容を確認後、[設定する]ボタンをクリックします。
内容に間違いがあった場合は、[◀]ボタンをクリックして、必要な設定画面に戻り、内容を修正してください。



これで、インターネット接続の準備は完了しました。
手順**7** の画面で[終了時に接続]がチェックされているので、この後は、自動的に接続画面が表示されます。220 ページの手順**2** へ進んでください。
なお、次回接続時からは次ページの手順 *1*から始めてください。

参考

ここで設定した内容を、後で見直したい場合は、[[PPP ダイヤラ]での接続](222 ページ)の手順を参照してください。

インターネットを楽しもう

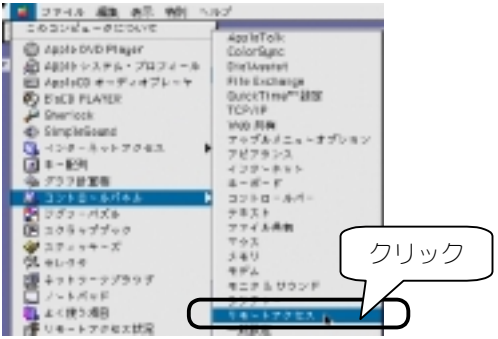
携帯電話を本製品に接続し、携帯電話の電源が入っていることを確認し、電波の状態が良好なことを確認してください。

注意

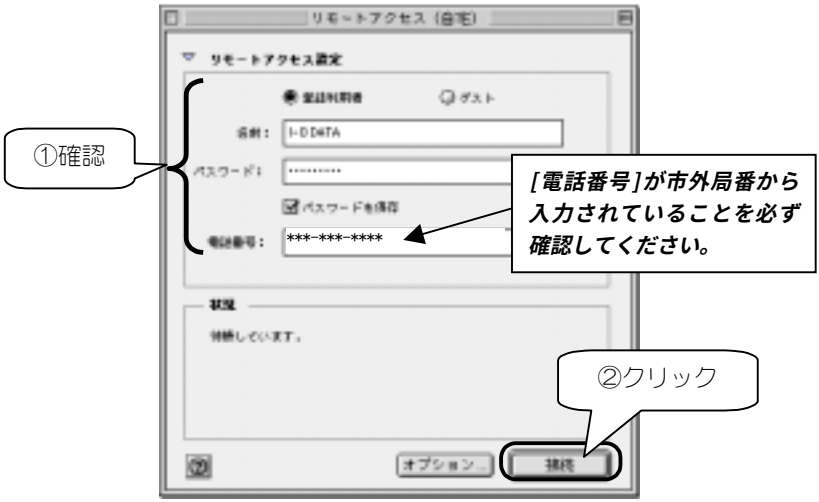
本製品の携帯電話への接続は、携帯電話の電源が入っている状態でも問題ありません。携帯電話の電波が弱い場合は、正常に接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることも確認してから、接続してください。

前ページの設定から引き続き行っているときは、次ページの手順**2** から始まります。

1 アップルメニューから[コントロールパネル]→[リモートアクセス]を起動します。



2 内容を確認して、[接続]ボタンをクリックします。



3 状況欄に下記のように表示されたら、接続完了です。

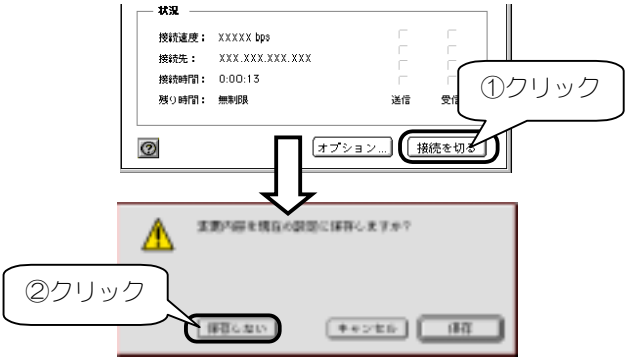
状況欄に「この電話番号は話し中です」と表示される場合は…

【困ったときには】の 263 ページをご参照ください。

4 ブラウザや電子メールを開いて、インターネットをお楽しみください。

5 インターネット利用が終わったら、[接続を切る]ボタンをクリックします。

これで携帯電話の通話が切断され、通信が終了します。



注意

・変更内容とは、前ページ手順2 の内容です。接続先の電話番号やユーザー名（名前）、パスワードなどを変更してから接続した場合は[保存]ボタンをクリックしてください。次回からその内容が最初に表示されます。
・ブラウザや電子メールを終わっただけでは電話回線は切断されません。必ず[接続を切る]ボタンをクリックしてください。携帯電話を確認して、通話が終わっていること、また、[状況]が[待機しています。]となっていることを必ずご確認ください。
・ここで表示される接続速度はパソコンと本製品間の通信速度になります。実際の回線速度は 9,600bps です。（パケット通信対応電話機の場合は最高 28800bps までです。）
・携帯電話の通話だけを切ってもパソコン側の通信は終了しません。必ずパソコン側で切断してください。

インターネットをご体験いただけましたか。
これからも、本製品でインターネットをお楽しみください。

インターネット接続編

[PPP ダイヤラ]での接続

ここでは、Mac OS に[インターネット接続アシスタント]が無い場合のインターネット接続手順（PPP ダイヤラでの接続手順）について説明します。

参考

ここでの設定は、[インターネット接続アシスタント]で行った設定の確認としても参照することができます。

接続のための設定

［インターネット接続アシスタント］が無い場合に、インターネット接続をするためには、下記のソフトウェアが必要となります。
お使いのパソコンにインストールされていることを確認してください。

- *TCP/IP プロトコル*　（インターネットに必要な通信手順）
- *PPP ダイヤラ*　（電話回線を用いてプロバイダにダイヤルアップ IP 接続するためのソフトウェア）

ここでは、PPP ダイヤラとして[OpenTransportPPP]を例にして説明します。

・本製品には[TCP/IP プロトコル]および[PPP ダイヤラ]は付属しておりません。パソコン本体に無い場合はお客様各自でご用意願います。
・TCP/IP プロトコル最新版の入手方法に関しては、アップルコンピュータ株式会社のアップルカスタマーアシスタントセンター(CAC)にお問い合わせください。

TCP/IP を設定する

1 [システム]フォルダ内の[コントロールパネル]フォルダ内にある[TCP/IP]アイコンをダブルクリックします。

2 [TCP/IP 設定]画面が表示されたら以下の各設定を行います。設定が終わったら、[TCP/IP 設定]画面を閉じます。

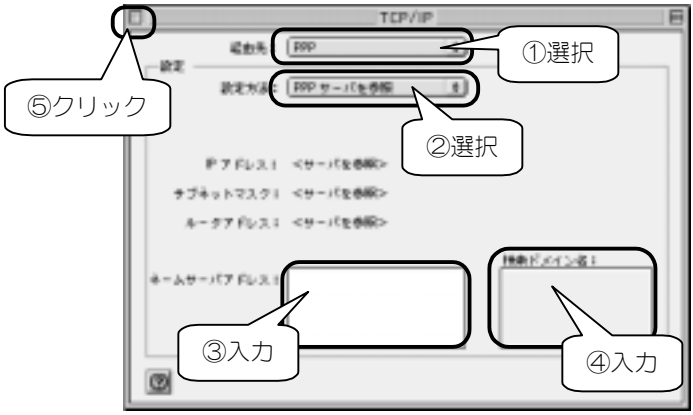
①[経由先:]は、プルダウンメニューから[PPP]を選択します。

②[設定方法:]は、[PPP サーバーを参照]を選択します。

③[ネームサーバーアドレス:]には、ご契約したプロバイダから案内されている IP アドレス(DNS アドレス)を入力します。

④[検索ドメイン名:]には、ご契約したプロバイダから案内されているドメイン(DNS サーバー名称)を入力します。

※③④の設定内容の詳細については、プロバイダにご確認ください。



これで TCP/IP プロトコルの設定は終わりです。
引き続き、次ページの【PPP ダイヤラの設定】へ進んでください。

PPP ダイヤラを設定する

ここでは PPP ダイヤラとして、OpenTransportPPP を使用する場合の手順を説明します。

1 [システム]フォルダ内の[コントロールパネル]フォルダ内にある[モデム]アイコンをダブルクリックします。

2 [モデム]画面が表示されたら、以下の各設定を行います。
設定が終わったら、[モデム]画面を閉じます。

①[経由先:]は、本製品を接続しているカードスロットもしくはカード名を選択します。

②[モデム:]は、[I-O DATA PCDC-96P(PDC)]を選択します。

●パケット通信対応電話機でパケット通信をする場合は、
[I-O DATA PCDC-96P(PACKET)]を選択します。
(ご不明な場合は、[I-O DATA PCDC-96P(PDC)]を選択してください。)

③[ダイヤル:]は、[トーン]をチェックします。

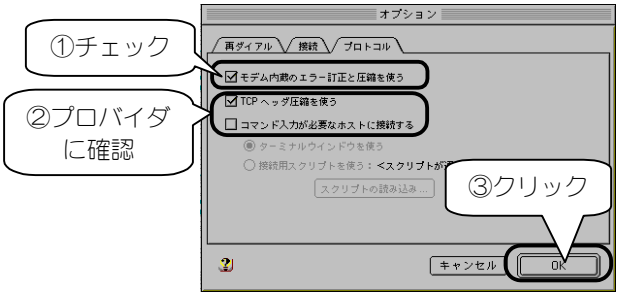
3 [システムフォルダ]内の[コントロールパネル]フォルダ内にある[PPP]アイコンをクリックし、[PPP]画面で[オプション]ボタンをクリックします。

4 以下の設定を行います。

①[モデム内蔵のエラー訂正と圧縮を使う]にチェックします。

②[TCP ヘッダ圧縮を使う]および[コマンド入力が必要なホストに接続する]のチェックは、各プロバイダに確認してください。

③設定後、[OK]ボタンをクリックします。



5 設定が終わったら、[PPP]画面を閉じます。

これで、インターネット接続の準備は完了しました。
次ページの【インターネットを楽しもう】を参照して、実際にインターネットに接続してみましょう。

インターネットを楽しもう

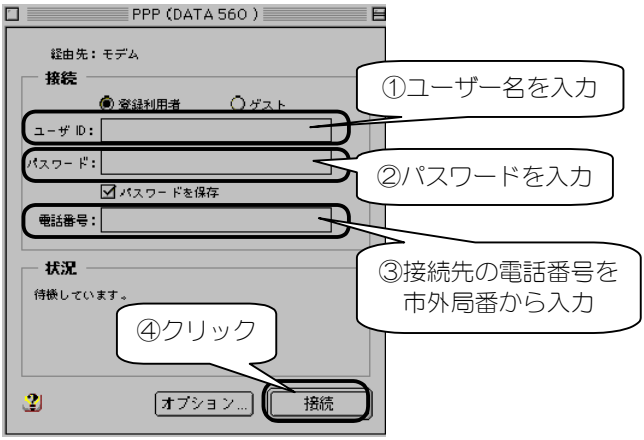
携帯電話を本製品に接続し、携帯電話の電源が入っていることを確認し、電波の状態が良好なことを確認してください。

注意

本製品の携帯電話への接続は、携帯電話の電源が入っている状態でも問題ありません。携帯電話の電波が弱い場合は、正常に接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることも確認してから、接続してください。

1 [システムフォルダ]内の[コントロールパネル]フォルダ内にある[PPP]をクリックします。

2 ISP情報(プロバイダからの情報)を以下のように設定し、[接続]ボタンをクリックします。



3 状況欄に以下のように表示されたら、接続完了です。

状況欄に「この電話番号は話し中です」と表示される場合は…

【困ったときには】の 263 ページをご参照ください。

4 ブラウザや電子メールを開いて、インターネットをお楽しみください。

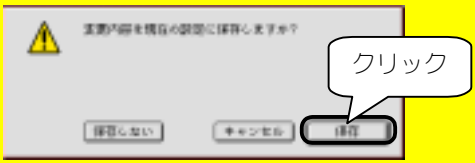
5 インターネットの使用が終わったら、[解除]ボタン※をクリックします。

これで携帯電話の通話が切断され、通信が終了します。

※ご使用のPPPによっては[切断]ボタンや[接続を切る]ボタンなどの場合があります。

注意

・変更内容とは、前ページ手順2 の内容です。接続先の電話番号やユーザー名、パスワードなどを変更してから接続した場合は[保存]ボタンをクリックしてください。次回からその内容が最初に表示されます。



・ブラウザや電子メールを終わっただけでは電話回線は切断されません。必ず[解除]ボタンをクリックしてください。携帯電話を確認して、通話が終わっていること、また、[状況]が[待機しています。]となっていることを必ずご確認ください。

・手順3 で回線速度が 38400bps と表示されていますが、実際の回線速度は 9600bps です。(パケット通信対応電話機の場合は最高 28800bps までです。)

・携帯電話の通話だけを切ってもパソコン側の通信は終了しません。必ずパソコン側で切断してください。

インターネットをご体験いただけましたか。
これからも、本製品でインターネットをお楽しみください。

MEMO

8 漢字 Talk で使うには

～ 準備編 ～
パソコンに取り付ける …… 230ページ

～ インターネット接続編 ～
漢字 Talk でインターネットに
接続するには … 233ページ
ステップ1 接続前の準備…… 234ページ
ステップ2 接続するための手順…… 236ページ
[ConfigPPP]での接続 …… 237ページ
[FreePPP]での接続 …… 241ページ

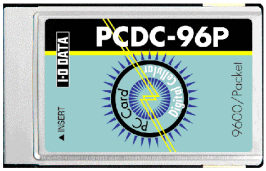
準備編

パソコンに取り付ける

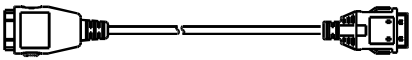
パソコンに取り付ける手順について説明します。

用意するもの

・本製品



・添付の専用デジタルセルラーケーブル



・携帯電話

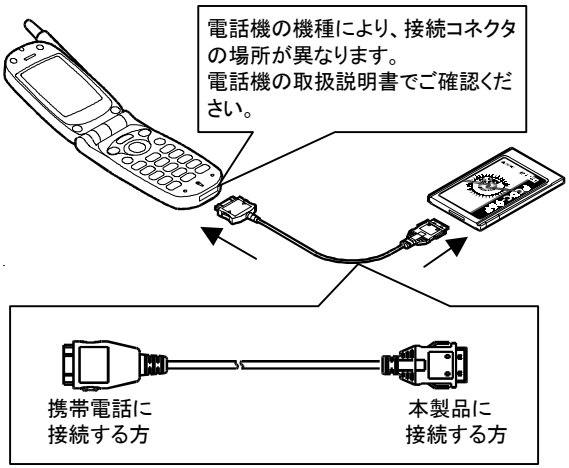
※本書で説明している携帯電話のイラストは一例です。
お使いの機種により、異なります。
また、本製品との接続コネクタも機種により異なります。

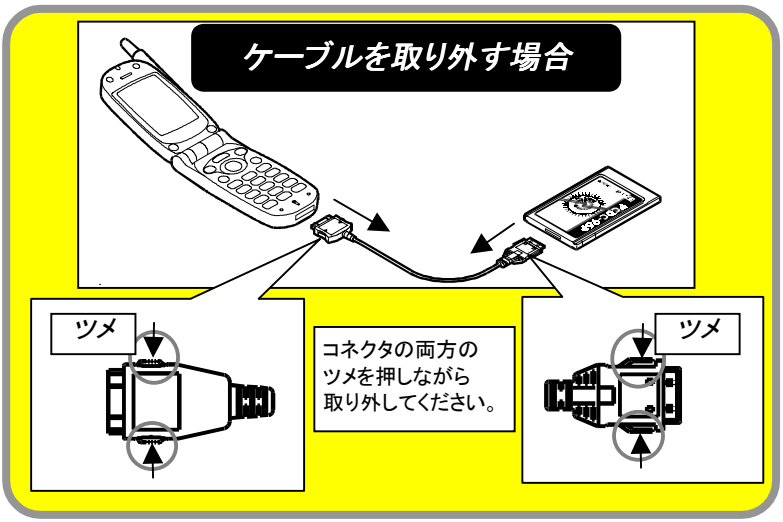
パソコンに取り付ける

1 本製品を差し込まずに、パソコンの電源を入れ漢字Talkを起動します。

2 携帯電話の接続コネクタのカバーを取り外し、本製品添付のケーブルで携帯電話と本製品を接続します。

携帯電話にはカチッと音がするまで差し込んでください。
コネクタが入りにくいときは無理な力で挿入せず、コネクタの向き（裏表）を確認してください。
取り外したカバーはなくさないように保管してください。





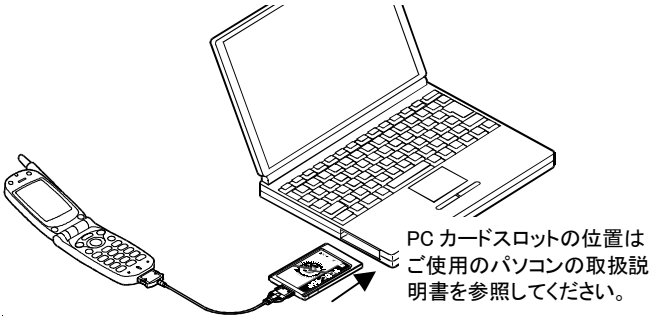
3 携帯電話の電源を入れます。

参考

携帯電話の電源は本製品との接続前、接続後のどちらでも問題ありません。

4 本製品を PC カードスロットに差し込みます。

ケーブルが本製品に接続されていることを確認後、本製品のラベル面を上にして、PCカードスロットの奥までしっかりと差し込みます。

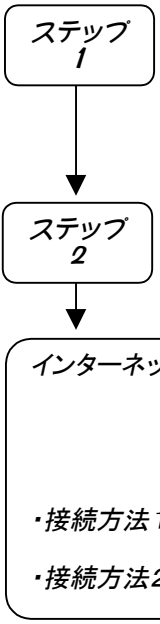


以上で取り付けは終了です。
インターネットを楽しみたい場合は、次ページ以降を参照してください。

インターネット接続編

漢字 Talk で インターネットに接続するには

パソコンへの取り付けが終了したら、いよいよインターネットに接続してみましょう。



接続前の準備 ····· *234ページ*

インターネットに接続する上で必要な確認事項について説明します。

・プロバイダとの契約
・本製品、携帯電話の準備

接続するための手順 ····· *236ページ*

漢字 Talk でインターネットに接続する2つの方法について説明します。

インターネット接続

実際にインターネットに接続する手順について説明します。
接続には、以下の2つの方法があります。

・接続方法1:[ConfigPPP]での接続 ····· *237ページ*

・接続方法2:[FreePPP]での接続 ····· *241ページ*

ステップ 1

インターネット接続編

接続前の準備

インターネットに接続するには、以下をまず準備しておく必要があります。順にチェックしておいてください。

準備1:プロバイダとの契約

インターネット・サービスを受けるために、商用プロバイダとダイヤルアップ IP 接続の契約を行ってください。

※パケット通信を行う場合にはパケット通信の契約も必要です。

契約時に入手した資料について

プロバイダとの契約後、パソコンからインターネット接続するために以下が記載されている資料を受け取ります。

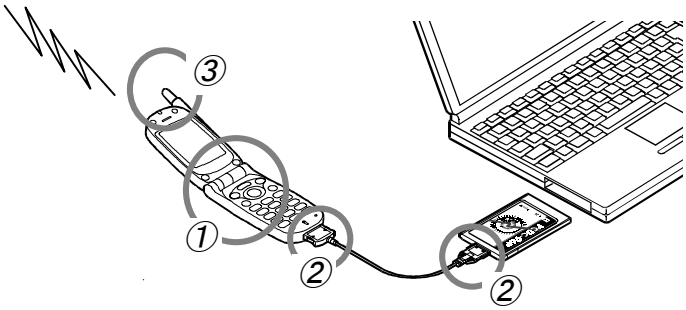
パソコンにインターネット接続するための設定をする際、また、インターネットに接続する際に必要となりますので、準備しておいてください。

- ユーザー名
- パスワード
- 接続先の電話番号
- ネームサーバーアドレス※
  - プライマリ DNS サーバー
  - セカンダリ DNS サーバー

※ネームサーバーアドレス(プライマリ DNS サーバー、セカンダリ DNS サーバー)は、プロバイダによっては指定がない場合もあります。
指定がない場合は特に設定する必要はありません。

準備2:パソコン、本製品、携帯電話の準備

パソコン、本製品、携帯電話があればインターネットに接続できます。
また、本製品は、パソコンの電源を入れる前でも、また、パソコンの電源を入れた後（漢字 Talk を起動した後）のどちらでもパソコンに取り付けることができます。
ただし、必ず以下のことを確認してから、本製品を PC カードスロットに差し込んでください。



チェック①:携帯電話の電源

携帯電話の電源が入っていることを確認してください。

チェック②:携帯電話と本製品の接続

携帯電話と本製品が添付のケーブルで接続されていることを確認してください。

※携帯電話の電源が入っている状態でも問題ありません。

チェック③:携帯電話の電波の状態

携帯電話の電波の状態が良好なことを確認してください。

※携帯電話でその場から正常に通話できることを確認しておいてください。

注意

携帯電話の電波が弱い場合は、正常にインターネットなどに接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることを、携帯電話の液晶画面などで確認してから、インターネットなどに接続してください。

ステップ 2

インターネット接続編

接続するための手順

インターネットに接続するには、以下の２通りの方法があります。

接続方法１:[ConfigPPP]での接続 → *237ページへ*

[TCP/IP プロトコル]（本書例は[OpenTransport]）と[ConfigPPP]の PPP ダイヤラを使って、インターネット接続のために必要な設定を順番に行っていきます。
この設定を行うとき、プロバイダから教えてもらったユーザー名などの情報が必要になります。

接続方法２:[FreePPP]での接続 → *241ページへ*

[TCP/IP プロトコル]（本書例は[OpenTransport]）と[FreePPP]の PPP ダイヤラを使って、インターネット接続のために必要な設定を順番に行っていきます。
この設定を行うとき、プロバイダから教えてもらったユーザー名などの情報が必要になります。

注意

・本製品には[TCP/IP プロトコル]および[PPP ダイヤラ]は付属しておりません。パソコン本体に無い場合はお客様各自でご用意願います。
・TCP/IP プロトコル最新版の入手方法に関しては、アップルコンピュータ株式会社のアップルカスタマーアシスタントセンター(CAC)にお問い合わせください。
・バージョンによっては画面や操作が異なる場合があります。

参考

[TCP/IP プロトコル]とはインターネットに必要な通信手順です。
[PPP ダイヤラ]とは、電話回線を用いてプロバイダにダイヤルアップ IP 接続するためのソフトウェアです。本書では、[PPP ダイヤラ]として、ConfigPPP と FreePPP を使った手順についてそれぞれ説明しています。

インターネット接続編

[ConfigPPP]での接続

ここでは、ConfigPPP でのインターネット接続手順について説明します。

TCP/IP プロトコル]の設定

最初に TCP/IP の設定を行います。

1 [システム]フォルダ内の[コントロールパネル]フォルダ内にある[TCP/IP]アイコンをダブルクリックします。

2 [TCP/IP]画面で、以下の各設定を行います。
設定が終わったら、[TCP/IP 設定]画面を閉じます。

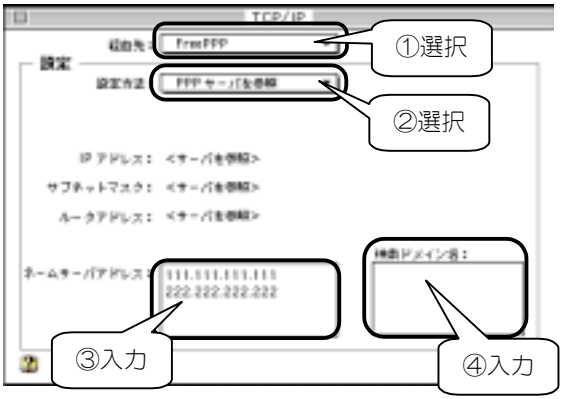
①[経由先:]は、プルダウンメニューからご利用になる PPP ダイヤラの名称を選択します。

②[設定方法:]は、[PPP サーバーを参照]を選択します。

③[ネームサーバーアドレス:]には、ご契約したプロバイダから案内されている IP アドレス(DNS アドレス)を入力します。

④[検索ドメイン名:]には、ご契約したプロバイダから案内されているドメイン(DNS サーバー名称)を入力します。

※③④の設定内容の詳細については、プロバイダにご確認ください。



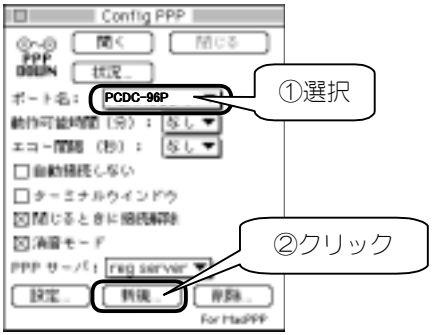
これで TCP/IP プロトコルの設定は終了です。
引き続き、次ページの【ConfigPPP の設定】へ進んでください。

ConfigPPP の設定

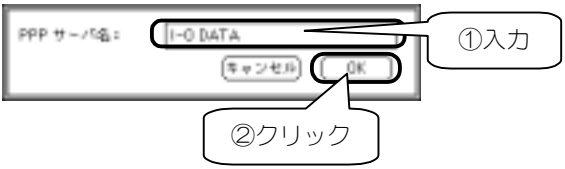
ここでは、PPP ダイヤラとして、ConfigPPP を使用する場合の手順を説明します。

1 [システムフォルダ]内の[コントロールパネル]フォルダ内にある[ConfigPPP]アイコンをダブルクリックします。

2 [ポート名:]に[PCDC-96P]を選択し、[新規]ボタンをクリックします。



3 [PPPサーバー名:]に、接続先のプロバイダ名などを入力し、[OK]ボタンをクリックします。



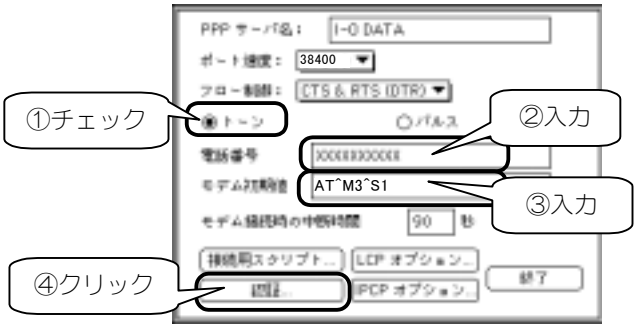
4 以下の内容を設定し、[認証]ボタンをクリックします。

①[トーン][パルス]は、[トーン]をチェックします。

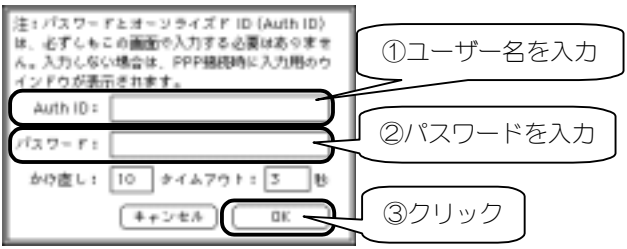
②[電話番号]は、プロバイダのアクセスポイントの電話番号を市外局番から入力します。

③[モデム初期値]は、以下を参照して文字列を半角で入力します。

●通常のデータ通信をする場合	AT^M3^S1
●パケット通信対応電話機でパケット通信をする場合	AT^M1^S1



5 ISP情報(プロバイダからの通知情報)を以下のように入力し、[OK]ボタンをクリックします。



6 手順**4** の画面に戻りますので、[終了]ボタンをクリックします。

これで ConfigPPP の設定は終了しました。
【インターネットを楽しもう】(次ページ)を参照して、実際にインターネットに接続してみましょう。

インターネットを楽しもう

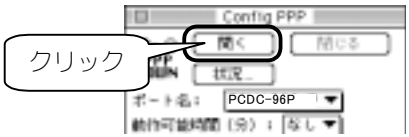
携帯電話を本製品に接続し、携帯電話の電源が入っていることを確認し、電波の状態が良好なことを確認してください。

注意

本製品の携帯電話への接続は、携帯電話の電源が入っている状態でも問題ありません。携帯電話の電波が弱い場合は、正常に接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることも確認してから、接続してください。

1 [システムフォルダ]内の[コントロールパネル]の
[Config PPP]または[FreePPP]をダブルクリックします。

2 [開く]または[接続]ボタンをクリックします。
プロバイダへ接続し、インターネットが利用できるようになります。
接続できないときは、[状況]ボタンをクリックしてみてください。



3 接続が終わったら、
[閉じる]または[解除]ボタンをクリックします。

インターネットをご体験いただけましたか。
これからも、本製品でインターネットをお楽しみください。

インターネット接続編

[FreePPP]での接続

ここでは、FreePPP でのインターネット接続手順について説明します。

TCP/IP プロトコル]の設定

最初に TCP/IP の設定を行います。

1 [システム]フォルダ内の[コントロールパネル]フォルダ内にある[TCP/IP]アイコンをダブルクリックします。

2 [TCP/IP]画面で、以下の各設定を行います。
設定が終わったら、[TCP/IP 設定]画面を閉じます。

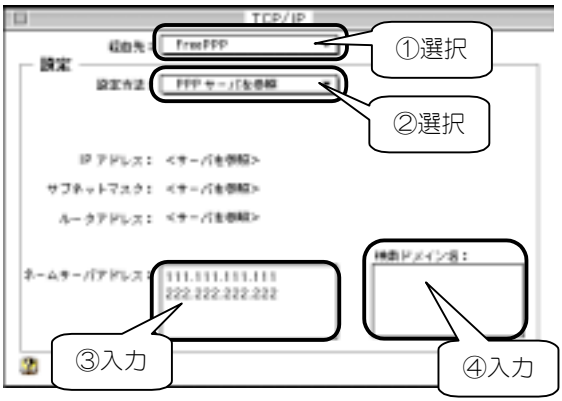
①[経由先:]は、プルダウンメニューからご利用になる PPP ダイヤラの名称を選択します。

②[設定方法:]は、[PPP サーバーを参照]を選択します。

③[ネームサーバーアドレス:]には、ご契約したプロバイダから案内されている IP アドレス(DNS アドレス)を入力します。

④[検索ドメイン名:]には、ご契約したプロバイダから案内されているドメイン(DNS サーバー名称)を入力します。

※③④の設定内容の詳細については、プロバイダにご確認ください。



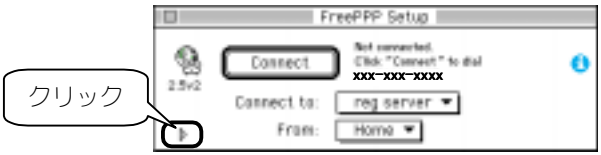
これで TCP/IP プロトコルの設定は終了です。
引き続き、次ページ【FreePPP の設定】へ進んでください。

FreePPP の設定

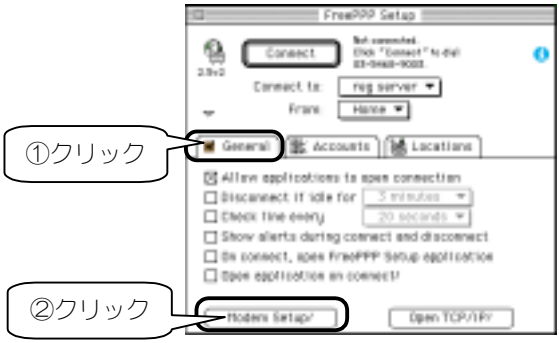
ここでは、PPP ダイヤラとして、FreePPP を使用する場合の手順を説明します。

1 メニューバーの電話のアイコンをプレス(マウスのボタンを押し続ける)し、[Open FreePPP Setup]を選択します。
（電話のアイコンが無い場合は、FreePPPインストール先の[Open FreePPP Setup]をダブルクリックします。）

2 [システムフォルダ]内の[コントロールパネル]フォルダの[FreePPP]をダブルクリックし、画面左下にある小さな三角のボタンをクリックします。



3 [General]タブをクリックし、
[Modem Setup]ボタンをクリックします。



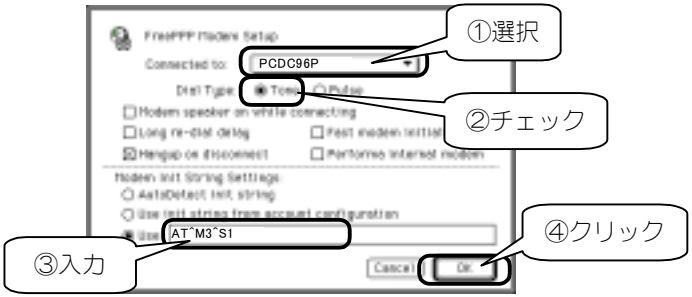
4 以下の内容を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

①[Connected to:]は、[PCDC96P]を選択します。

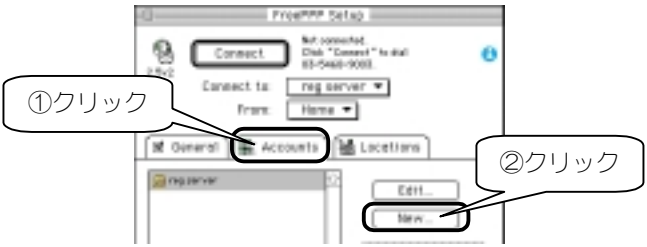
②[Dial Type:]は、[Tone]をチェックします。

③[Modem Init String Setting:]は、以下を参照して文字列を半角で入力します。

●通常のデータ通信をする場合	AT^M3^S1
●パケット通信対応電話機でパケット通信をする場合	AT^M1^S1



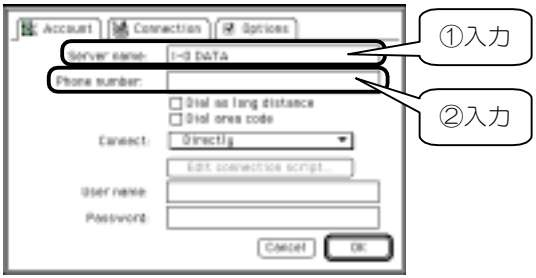
5 手順*3* の画面に戻りますので、
[Accounts]タブをクリックし、[New]ボタンをクリックします。



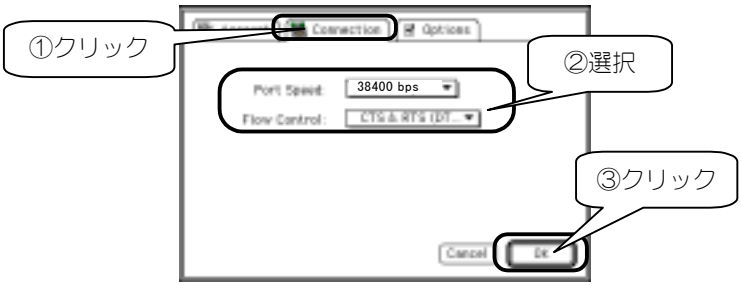
6 以下の内容を入力します。

[Server name:]は、プロバイダの名称などを入力します。

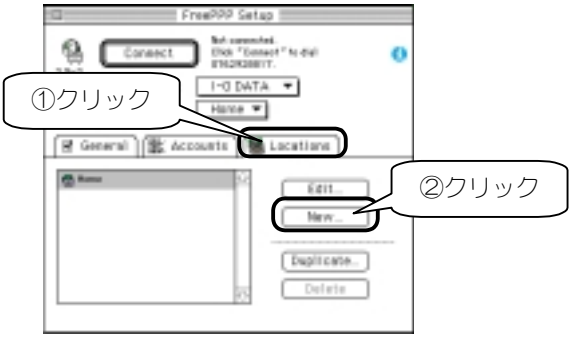
[Phone Number:]は、プロバイダのアクセスポイントの電話番号を市外局番から入力します。



7 [Connection]タブをクリックして以下のように設定し、
[OK]ボタンをクリックします。

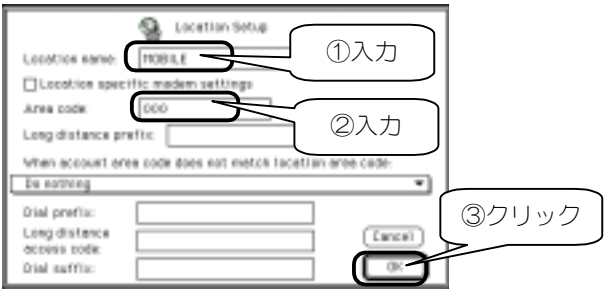


8 手順**3** の画面に戻りますので、
[Locations]タブをクリックし、[New]ボタンをクリックします。



9 以下のように設定し、[OK]ボタンをクリックします。

No.	項目	設定内容
①	Location name	任意の登録名を入力
②	Area code	[000]などの存在しない数値を入力 ※携帯電話は市外局番から入力するので、このような値を仮に設定しておきます。



10 手順**3** の画面に戻りますので、
画面左上のクローズボタンをクリックします。

これで ConfigPPP の設定は終了しました。
次ページの【インターネットを楽しもう】を参照して、実際にインターネットに接続してみましょう。

インターネットを楽しもう

携帯電話を本製品に接続し、携帯電話の電源が入っていることを確認し、電波の状態が良好なことを確認してください。

注意

本製品の携帯電話への接続は、携帯電話の電源が入っている状態でも問題ありません。携帯電話の電波が弱い場合は、正常に接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることも確認してから、接続してください。

1 メニューバーの電話のアイコンをプレス(マウスのボタンを押し続ける)し、[Open PPP Connection]を選択します。

2 接続が終わったら、電話のアイコンメニューから[Close PPP Connection]を選択します。

インターネットをご体験いただけましたか。
これからも、本製品でインターネットをお楽しみください。

付録1

困ったときには

本製品を使用して異常があった場合にご覧ください。

困ったときには（もくじ）

・インストール時のトラブル（Windows 編）

状態	参照頁
本製品を接続してもインストール画面が表示されない	249
ケーブルが電話機の接続コネクタに入らない	251
[このデバイス用のドライバが見つかりませんでした]と表示された	
[指定の場所にはお使いのハードウェアに関する情報がありません]と表示された	
デバイスマネージャの[モデム]の確認で、[I-O DATA PCDC-96P]が表示されない、または、先頭に「！」マークが付いている（Windows 2000、Windows Me/98/95）	252
端末速度設定時に[詳細情報]（または[詳細]）ボタンをクリックしたとき、「ポートが開けません」または[ポートが開かれています]と表示されたり、応答がない（Windows 2000、Windows Me/98/95）	

・インターネット接続時のトラブル（Windows 編）

状態	参照頁
ダイヤルアップネットワークが表示されない（Windows Me/98/95）	255
ダイヤルアップアダプタや TCP/IP が表示されない（Windows Me/98/95）	257
[回線が使用中です]と表示された	260
[発信音が聞こえません]と表示された	
[ダイヤル先のコンピュータが応答しません]と表示された	261
[ダイヤル先のコンピュータから切断されました]と表示された	262
接続動作はするようだが、[ダイヤルアップ接続モニター]や[接続インジケータ]が表示されない	

・インターネット接続時のトラブル（Macintosh 編）

状態	参照頁
[状況]欄に[この電話番号は話し中です]と表示された	263
[利用者として認証されませんでした]と表示された	
[お使いのモデムが正しく応答しません]と表示された	264
[情報がないか不適切]と表示された	
[搬送波が検出されませんでした]と表示された	265
[モデム]に[I-O DATA PCDC-96P]と表示されない	

・その他のトラブル

状態	参照頁
通信ソフトが起動できない	266
AT コマンドを使用して通信できない	

インストール時のトラブル
（Windows 編）

本製品を接続してもインストール画面が表示されない

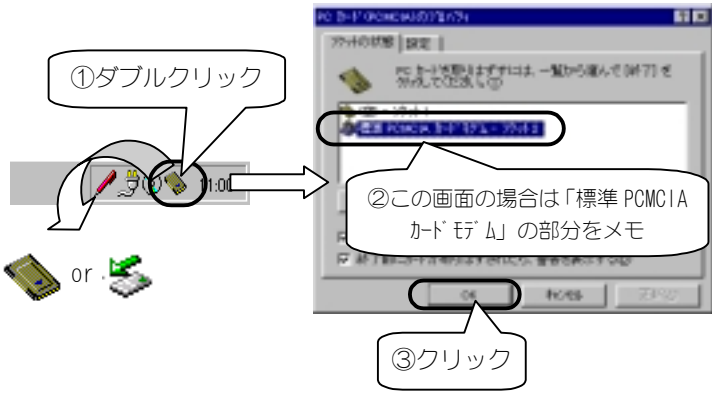
原因1	本製品がパソコンに正しく取り付けられていない。
対処	パソコンの PC カードスロットに最後まできちんと挿入されていることを確認してください。またカードの裏表も確認してください。

原因2	PC カードドライバが 32 ビットになっていない。　（Windows 98/95）
対処	【パソコンの PC カードドライバを確認する】(16 ページ)を参照して、32 ビットカードドライバをインストールしてください。

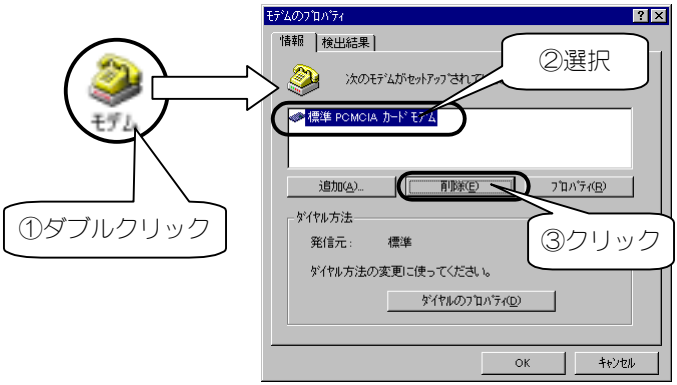
原因3	すでにインストール済みである。
対処	サポートソフトを1度インストールすると、PC カードスロットに差し込んでも、インストール画面は表示されません。本製品を PC カードスロットに差し込むだけで取り付け準備完了となります。

原因4	すでに何らかの形でインストールされ、誤認識されている。
対処	本製品を差し込んだ状態で、以下の手順でドライバを削除後、もう 1 度、インストールをやり直してください。

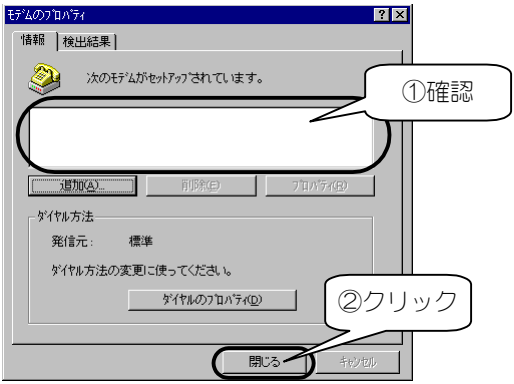
1 画面右下のタスクトレイに表示されている［PC カード］アイコンをダブルクリックします。挿入した PC カードスロットに表示されるモデム名の名称をメモした後、［OK］ボタンをクリックして画面を閉じます。



2 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、[モデム]アイコンをダブルクリックします。
手順 **1**でメモしたモデムを選択して、[削除]ボタンをクリックします。



3 指定したモデムが削除されます。
指定したモデムが消えたことを確認し、[閉じる]ボタンをクリックして画面を閉じます。



4 念のため、【パソコンから取り出す場合】（Windows 2000は30ページ、Windows Meは77ページ、Windows 98/95は133ページ））
を参照し、ソケットの状態に何も表示されていないことを確認してください。

5 確認後、本製品を PC カードスロットから取り出し、再度、挿入するとインストールが始まりますので、もう1度、インストールを行ってください。

ケーブルが電話機の接続コネクタに入らない

原因1	電話機の接続コネクタにカバーがかかっている。
対処	接続コネクタにはカバーがかかっている場合があります。カバーを開けてから差し込んでください。カバーの開け方は、電話機の取扱説明書を参照してください。

原因2	本製品のコネクタの向きが正しくない。
対処	コネクタの向きを変えて、もう1度差し込んでください。向きが一致していれば、コネクタを差し込むのに大きな力を加える必要はありません。

原因3	電話機の接続コネクタが違う。
対処	接続コネクタの位置は、電話機の取扱説明書を参照してください。

「*指定の場所にはお使いのハードウェアに関する情報がありません*」と表示された

原因	挿入したフロッピーディスクまたは指定したフォルダが間違っている。
対処	挿入したフロッピーディスクが「PCDC-96P サポートソフト」ディスクであることを確認してください。また、[マイコンピュータ]を開くなどしてお使いのパソコンのフロッピーディスクドライブが何ドライブ（例えばAドライブ）かを確認してください。その後、[参照]ボタンをクリックして、フロッピーディスクの「WIN9X」フォルダ（Windows 98/95 の場合）を指定してください。

「*このデバイス用のドライバが見つかりませんでした*」と表示された

原因	検索場所の指定が間違っている。
対処	[戻る]ボタンを押して、「PCDC-96P サポートソフト」ディスクがフロッピーディスクドライブにセットされているか確認して、もう一度、検索場所の指定を行ってください。

[デバイスマネージャ]の[モデム]の確認で、[I-O DATA PCDC-96P]が表示されない、または、先頭に「！」マークが付いている

原因1	正しくインストールされていない。
対処	・【インストールしたソフトを削除するには】（273 ページ）を参照し、いったん、サポートソフトを削除してください。その後で、インストールをもう1度やり直してください。 ・Windows NT 4.0 の場合は、【インストールする】の 164 ページの注意を参照してください。

原因2	本製品がパソコンに正しく接続されていない。
対処	パソコンのPCカードスロットに最後まできちんと挿入されていることを確認してください。最後まで挿入するとピポッと音がします。 また画面右下のタスクトレイに[PC カード]アイコンが表示されます。

原因3	ドライバが誤認識されている。
対処	249 ページの【本製品を接続してもインストール画面が表示されない】という項の「すでに何らかの形でインストールされ、誤認識されている」欄をご参照になり、ドライバを削除してから、もう一度、インストールしてください。

原因4	うまく自動認識が行われなかった
対処	本製品をPCカードスロットに挿入したまま、Windows を再起動してみてください。

端末速度設定時に、[*ポートが開けません*]または[*ポートが開かれています*]と表示される。　（Windows 2000、Windows Me/98/95）

原因1	パソコンの PC カードスロットにきちんと挿入されていない。
対処	パソコンのPCカードスロットに最後まできちんと挿入されていることを確認してください。最後まで挿入するピポッと音がします。 また画面右下のタスクバーに[PC カード]アイコンが表示されます。

原因2	リソースが競合している（内蔵モデムが使用しているポートと競合している場合もあります）。
対処	本製品をPCカードスロットに差し込んだ状態で、次ページの【■*確認手順*】の手順を行って、リソースを変更してみてください。 変更が終わったら、もう一度、インストール終了後の確認を行ってください。

■確認手順

1 [マイコンピュータ]を右クリックして[プロパティ]を選び、[デバイスマネージャ]タブをクリックします。

2 [ポート(COM/LPT)]をダブルクリックし、[COMx]（例 COM1、COM2 など）と表示されているものがある場合は、その番号をメモします。

3 [モデム]をダブルクリックし、本製品以外のモデムが存在するかどうかを確認します。存在する場合は、そのモデムをダブルクリックし、[モデム]タブをクリックして、COM 番号（例 COM1、COM2 など）をメモし、[キャンセル]ボタンをクリックして画面を閉じます。

4 [モデム]に表示されている[I-O DATA PCDC-96P]をダブルクリックし、[リソース]タブをクリックして、[I-O の範囲]を確認します。

5 以下の表を参考にして、現在、存在しない COM 番号に対応する[I-O の範囲]をメモします。次の「■変更の詳細手順」を行って、[I-O DATA PCDC-96P]の[I-O の範囲]を、メモした値に変更してください。

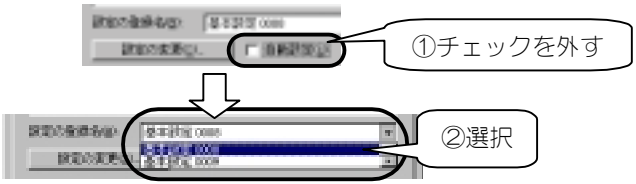
COM 番号と使用している[I-O の範囲]

COM 番号	I-O の範囲
COM1	03F8～03FF
COM2	02F8～02FF
COM3	03E8～03EF
COM4	02E8～02EF

例）手順２で「通信ポート（COM1）」があり、手順３で「内蔵モデム（COM2）」が使用されていた場合、[I-O DATA PCDC-96P]の[I-O の範囲]は、COM3 か COM4 の値にします。

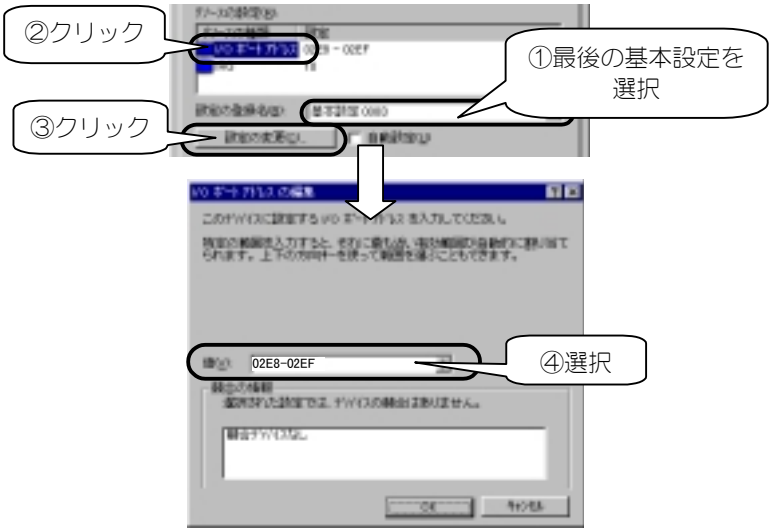
■変更の詳細手順

1 [自動設定]のチェックを外してから、[設定の登録名]の中から、 [I-Oの範囲]が手順5でメモした値になる基本設定を探します。（割り込みは変更不要ですが、4以外で競合するデバイスがない値なら変更可能）
競合しない値が見つかったときは、手順3へ進みます。



2 競合しない基本設定が見つからなかった場合

1. 基本設定を最後の選択肢にします。
2. [I/O ポートアドレス]をクリックします。
3. [設定の変更]ボタンをクリックします。
4. 値の編集画面になるので、変更したい値にします。



3 [OK]ボタンをクリックしながら、順番に画面を閉じて行きます。リソースが手動で変更されているメッセージが表示されるので[はい]ボタンをクリックして続行します。再起動が要求されたら、再起動してください。
変更が終わったら、もう1度、「インストール終了後の確認」を行って、正常に詳細情報が出るかを確認してください。

インターネット接続時のトラブル
（Windows 編）

[ダイヤルアップネットワーク]が表示されない（Windows Me/98/95）

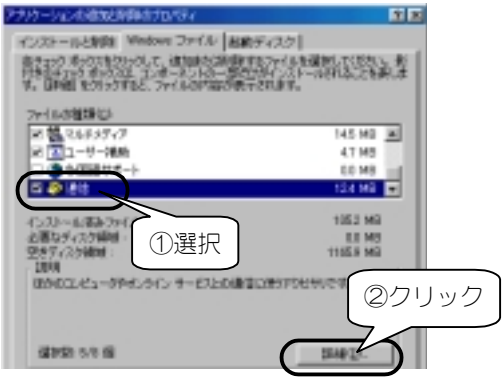
原因	ダイヤルアップネットワークがインストールされていない。
対処	以下の手順でダイヤルアップネットワークをインストールします。

■ダイヤルアップネットワークのインストール手順

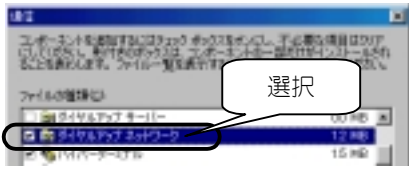
1 [アプリケーションの追加と削除]を起動します。
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]から、[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。

2 [Windowsファイル]タブをクリックします。
表示が切り替わるまでに時間がかかります。しばらくお待ちください。

3 [通信]を選択し、[詳細]ボタンをクリックします。

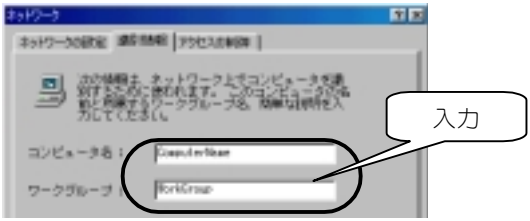


4 [ダイヤルアップネットワーク]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



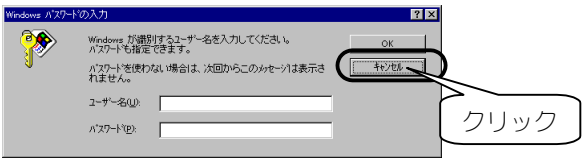
5 手順*3* の画面に戻りますので、[OK]ボタンをクリックします。
Windows の CD-ROM を用意し、画面の指示にしたがって処理を進めます。

6 以下の画面になったら、[コンピュータ名]と[ワークグループ]名を入力し、[閉じる]ボタンをクリックします。これらの名称はインターネットを使うときには使用しないので、適当な名称を入力してください（[コンピュータの説明]は省略可）。



7 [OK]ボタンをクリックします。
インストールが終わったら、パソコンを再起動します。
[ケーブル接続]はインターネットを使うときには不要ですので、インストールは行いません。

8 Windows が再起動すると、下記の画面が表示されるので、[キャンセル]ボタンをクリックします。



[ダイヤルアップアダプタ]や[TCP/IP]が表示されない（Windows Me/98/95）

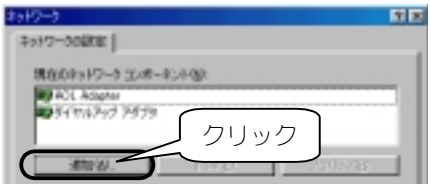
原因	TCP/IP がインストールされていない。
対処	以下の手順で TCP/IP をインストールします。

■[ダイヤルアップアダプタ]と[TCP/IP]の両方の表示が無い場合のインストール手順

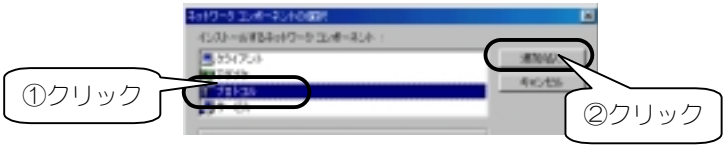
以下の手順で[TCP/IP]をインストールすることによって、両方とも（[ダイヤルアップアダプタ]と[TCP/IP]）がインストールされます。

1 [ネットワーク]を起動します。
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]から、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。

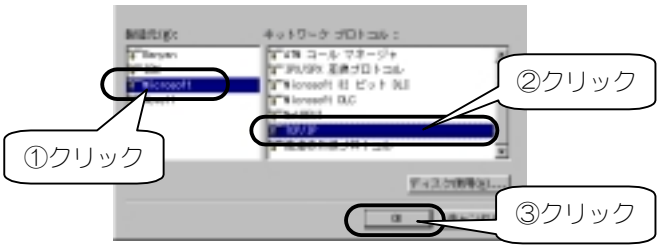
2 [追加]ボタンをクリックします。



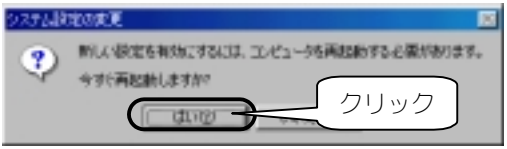
3 [プロトコル]を選択し、[追加]ボタンをクリックします。



4 [Microsoft]の[TCP/IP]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。後は画面の指示にしたがって、処理を進めてください。



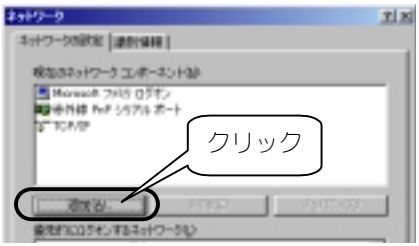
5 [はい]ボタンをクリックして、パソコンを再起動します。



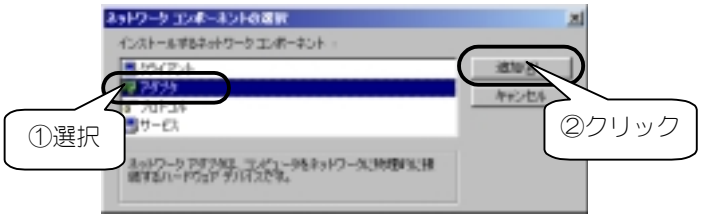
■[ダイヤルアップアダプタ]のみ表示が無い場合のインストール手順

1 [ネットワーク]を起動します。
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]から、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。

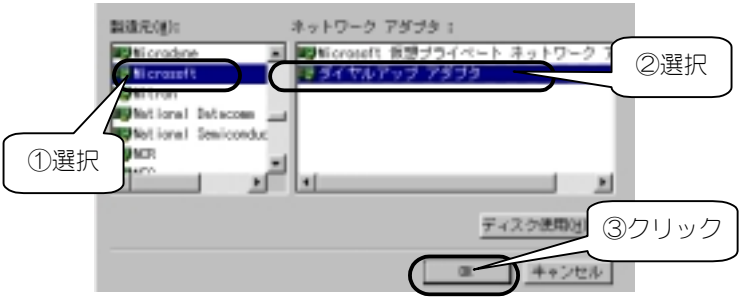
2 [追加]ボタンをクリックします。



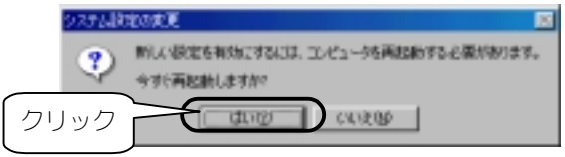
3 [アダプタ]を選択し、[追加]ボタンをクリックします。



4 [Microsoft]の[ダイヤルアップアダプタ]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。後は画面の指示にしたがって、処理を進めてください。



5 [はい]ボタンをクリックして、パソコンを再起動します。



[回線が使用中です]と表示された

原因	接続先のアクセスポイントが混雑している。
対処	[OK]ボタンをクリックし、接続画面が表示されたら、[キャンセル]ボタンをクリックします。 時間をおいてもう1度接続するか、アクセスポイントが複数ある場合は、別のアクセスポイントの電話番号を設定してください。

[発信音が聞こえません]と表示された

原因1	電話機の電源が入っていない。
対処	[OK]ボタンをクリックし、電話機の電源を入れてからもう1度接続してください。

原因2	電話機の接続コネクタに、本製品が正しく接続されていない。
対処	[OK]ボタンをクリックし、電話機の接続コネクタをきちんと差し込んでから（カチッと音がするまで）もう1度接続してください。

原因3	正しくインストールされていない。
対処	【インストールしたソフトを削除するには】(273 ページ)を実行し、いったんサポートソフトを削除します。 その後、【インストールする】（Windows 2000 は 9 ページ、Windows Me は 59 ページ、Windows 98/95 は 104 ページ）を参照して、インストールをやり直してください。

原因4	モデムの設定で、本製品が選択されていない。
対処	【設定を変更するとき】の手順3（Windows 2000 は 45 ページ、Windows Me は 91 ページ、Windows 98/95 は 148 ページ）を参照して、[接続の方法]欄で[I-O DATA PCDC-96P]を選択してください。

原因5	プッシュトーンが選択されている。
対処	【発信情報を設定する】（Windows 2000 は 26 ページ、Windows Me は 73 ページ、Windows 98/95 は 125 ﾍﾟｰｼﾞ）を参照して、 ダイヤル方式に[トーン]が選択されているか確認してください。

[ダイヤル先のコンピュータが応答しません]と表示された

原因1	[ダイヤルのプロパティ]画面で設定した市外局番が「000」になっていない。
対処	[OK]ボタンをクリックし、接続画面が表示されたら、[ダイヤルのプロパティ]ボタン（Windows 2000 は[プロパティ]ボタン）をクリックして、[市外局番]欄を「000」にしてください。

原因2	接続先の電話番号が違っている。
対処	[OK]ボタンを押し、接続画面が表示されたら、[キャンセル]ボタンをクリックします。 接続アイコンを右クリックして、[プロパティ]を選び、正しい電話番号を（市外局番を含めて）確認してください。 ※プロバイダに接続先の電話番号を確認してください。 ●NTTドコモのパケットデータ通信サービス対応電話機をお使いの場合、本製品は2種類のパケット通信(最大通信速度28.8kbpsと9600bps)に対応しています。 NTTドコモのパケットデータ通信サービス対応電話機を使って接続する場合は、接続先の電話番号がパケットデータ通信サービス用のアクセスポイントであることを確認してください。

原因3	接続先のアクセスポイントが混雑している。
対処	[OK]ボタンを押し、接続画面が表示されたら、[キャンセル]ボタンを押します。 時間をおいてもう1度接続するか、アクセスポイントが複数ある場合は、別のアクセスポイントの電話番号を設定してください。

原因4	パケット通信対応電話機でパケット通信をする場合、追加設定が必要。
対処	以下のページを参照して、モデムの追加設定をしてください。 Windows 2000→29 ページ、 Windows Me→76 ページ、 Windows 98/95→132 ページ、 Windows NT 4.0→172 ページ、 Windows CE→197 ページ

原因5	正しくインストールされていない。
対処	【インストールしたソフトを削除するには】(273 ページ)を実行し、いったんサポートソフトを削除します。 その後、【インストールする】（Windows 2000 は 9 ページ、Windows Me は 59 ページ、Windows 98/95 は 104 ページ）を参照して、インストールをやり直してください。

［ダイヤル先のコンピュータから切断されました］と表示された

原因1	接続先の電話番号が違っている。
対処	［OK］ボタンを押し、接続画面が表示されたら、［キャンセル］ボタンを押します。 接続アイコンを右クリックして、［プロパティ］を選び、正しい電話番号を（市外局番を含めて）入力してください。 ※接続先の電話番号が携帯電話でご利用可能な電話番号かを確認してください。 プロバイダによっては、アナログモデム用と携帯電話用で電話番号が異なる場合があります。

原因2	パソコンの PC カードスロットにきちんと挿入されていない。
対処	パソコンのPCカードスロットに最後まできちんと挿入されていることを確認してください。最後まで挿入するピポッと音がします。 また画面右下のタスクバーに［PC カード］アイコンが表示されます。

接続動作はするようだが、［ダイヤルアップ接続モニタ］や［接続インジケータ］が表示されない

原因1	接続先の電話番号が違っている。
対処	接続画面で、正しい電話番号を（市外局番を含めて）確認してください。 ※正しい電話番号は、プロバイダに確認してください。

原因2	NTT ドコモのパケット通信サービスをご利用の場合、指定した電話番号が使いたい通信方式の電話番号ではない。
対処	NTTドコモのパケットデータ通信サービス対応電話機をお使いの場合、本製品は2種類のパケット通信(最大通信速度28.8kbpsと9600bps)に対応しています。 NTT ドコモのパケットデータ通信サービス対応電話機を使って接続する場合は、接続先の電話番号がパケットデータ通信サービス用のアクセスポイントであることを確認してください。

インターネット接続時のトラブル
（Macintosh 編）

状況欄に[この電話番号は話し中です]と表示された

原因1	本製品に取り付けた電話機の「通話」ボタンをクリックしている。
対処	「HOLD」で通話を切り、電話機を切ってから、再度、通信ソフトの[接続]ボタンをクリックしてください。

原因2	接続先の電話番号が違っている。
対処	[OK]ボタンをクリックして、接続画面が表示されたら、正しい電話番号を（市外局番を含めて）確認してください。 ※正しい電話番号は、プロバイダに確認してください。

原因3	接続先のアクセスポイントが混雑している。
対処	時間をおいてから、再度[接続]ボタンをクリックするか、アクセスポイントが複数ある場合は、別のアクセスポイントの電話番号を入力してから[接続]ボタンをクリックしてください。

[利用者として認証されませんでした]と表示された

原因	ユーザー名やパスワードが違っている。
対処	[OK]ボタンをクリックしてください。アルファベットの大文字や小文字に注意してユーザー名やパスワードを入力し、[接続]ボタンをクリックしてください。正しく入力してもこの画面が表示されるようなら、プロバイダにユーザー名やパスワードを確認してください。

[お使いのモデムが正しく応答しません]と表示された

原因1	本製品が正しく接続されていない。
対処	[OK]ボタンをクリックしてください。 本製品が正しく PC カードスロットに挿入されているかどうか、ケーブルが正しく電話機に接続されているかどうかをご確認ください。 正しく接続後、再度[接続]ボタンをクリックします。

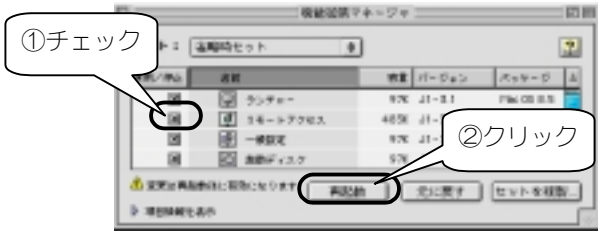
原因2	ダイヤラでの設定が正しく行われていない。
対処	● Mac OS の場合 経由先やモデムの選択が正しく行われているか、確認してください。（216 ページおよび 223 ページ参照） ● 漢字 Talk の場合 経由先が正しく設定されているか、また、ご利用の方法にあった初期化コマンドが設定されているかどうかを確認してください。（237 ページ～239 ページおよび 241～243 ページ参照）。

「情報がないか不適切」と表示された

原因	接続に必要なソフトウェア「リモートアクセス」がインストールされていない。
対処	画面を閉じると、[本当に終了してよろしいですか]と表示されるので、[終了]ボタンをクリックします。 以下の操作を行って「リモートアクセス」をインストールしてください。

1 アップルメニューから[コントロールパネル]→[機能拡張マネージャ]を開きます。

2 「リモートアクセス」に[×]印をつけて、[再起動]ボタンをクリックします。画面の指示にしたがって、インストールを行ってください。



[搬送波が検出されませんでした]と表示された

原因1	本製品が正しく接続されていない。
対処	[OK]ボタンをクリックしてください。 本製品が正しく PC カードスロットに挿入されているかどうか、ケーブルが正しく電話機に接続されているかどうかをご確認ください。 正しく接続後、再度[接続]ボタンをクリックします。

原因2	本製品のケーブルとご利用の電話機との接続に問題がある。
対処	[OK]ボタンをクリックして警告画面を閉じてください。 電話機をいったん取り外し、接続し直してみてください。正しい接続後、再度[接続]ボタンをクリックします。

原因3	接続先の電話番号が違っている。
対処	プロバイダに接続先の電話番号を確認してください。 NTTドコモのパケットデータ通信サービス対応電話機をお使いの場合、本製品は2種類のパケット通信(最大通信速度28.8kbpsと9600bps)に対応しています。 NTT ドコモのパケットデータ通信サービス対応電話機を使って接続する場合は、接続先の電話番号がパケットデータ通信サービス用のアクセスポイントであることを確認してください。

モデムに[I-O DATA PCDC-96P]と表示されない

原因	モデム設定ファイル（CCL ファイル）が Modem Scripts フォルダにコピーされていない。
対処	モデム設定ファイル（CCL ファイル）を Modem Scripts フォルダにコピーしてください。 【モデム設定ファイルをコピーする】（208 ページ）を参照。

その他のトラブル

通信ソフトが起動できない

原因1	通信ソフトの起動方法などが正しくない。
対処	インターネットへの接続が正しく動作すれば、通信ソフト側の問題が考えられます。通信ソフトの取扱説明書などをご参照ください。

原因2	通信ソフトの起動方法などが正しくない。
対処	インターネットへの接続が正しく動作すれば、通信ソフト側の問題が考えられます。通信ソフトの取扱説明書などをご参照ください。

AT コマンドを使用して通信できない

原因	AT コマンドに対するリザルトコードにより、エラー障害の切り分けができます。リザルトコードとは、エコーバックと呼ばれる応答信号のことです。
対処	リザルトコードの種類によって、以下のように、エラーの回復を試みてください。 ATコマンドに関しては、「PCDC-96P サポートソフト」ディスク内の¥manualフォルダ内のReadme.txtファイルを参照してください。 **※AT コマンドでの操作を行うためには、別途ターミナルソフトをご用意いただく必要があります。（Windows の場合は、次ページ参照）**

1. **ERROR**
   ATコマンドに誤りがあります。マニュアルをよく呼んで、パラメータなどをチェックしてください。
2. **NO CARRIER**
   ダイアルコマンドを入力した時このエコーが表示された時は、回線が接続されていないか、こちらの呼び出しに対して接続先が応答信号を返さない状態です。先ず、こちらのカードが正しくパソコンのスロットに挿入されているか、モジュラーケーブルがカードや専用モジュラージャックに正しく取り付けられているかを確認してみてください。

補足1:ATコマンドによる通信の動作確認

通信できない、あるいはモデムが正常に動作しないなどのトラブルが発生した場合、例えば、以下の手順のようにWindows標準の「ハイパーターミナル」で操作をためすことができます。(以下の画面はWindows Meの例です。)

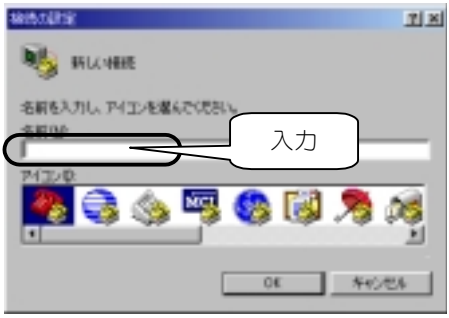
1 「ハイパーターミナル」を起動します。
[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ](Windows Me、Windows 98およびWindows 2000の場合は→[通信])→[ハイパーターミナル](Windows NT 4.0では→[ハイパーターミナル])を順にクリックします。

参考

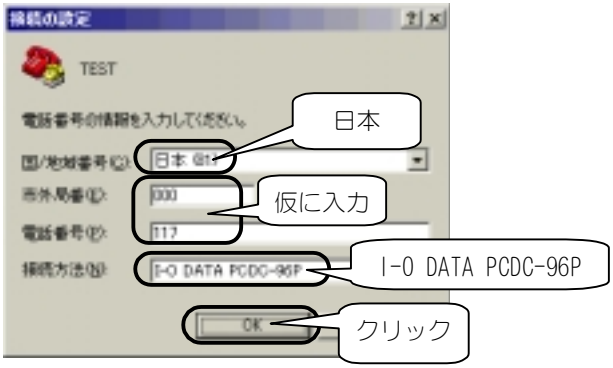
メニュー内に[ハイパーターミナル]が無い場合は、[コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]の[Windows ファイル]タブ(Windows NT 4.0では、[Windows NT セットアップ]タブ)から追加してください。

2 Windows 98/95の場合は、[HyperTerminal]画面が表示されます。
[Hypertrm]アイコンをダブルクリックします。

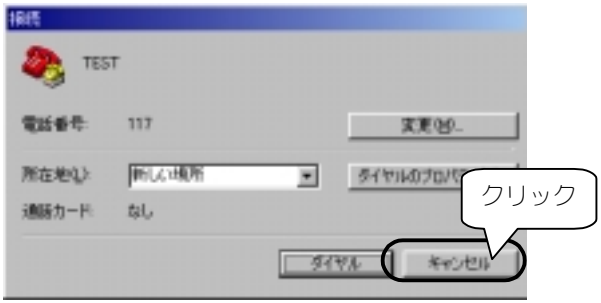
3 [名前]に適当な名前(例:TEST)を入力し、[OK]ボタンをクリックします。



4 以下を設定して[OK]ボタンをクリックします。



5 [キャンセル]ボタンをクリックします。



6 [ハイパーターミナル]画面が表示されます。

7 [ハイパーターミナル]画面内にATコマンドを入力して通信動作を確認することができます。
以下の画面例は、以下の AT コマンドを入力した例です。
※これらの文字は、半角文字で入力する必要があります。

AT ↵
AT&F ↵
AT&W ↵
ATDxxxxxxxxx ↵

ご利用の携帯電話機がパケット通信対応電話機の場合、「AT&W ↵」の次に
AT^M3 ↵
も追記してください。

付録2
サービス品について

本製品にはいろいろなサービス品のソフトウェアが添付されています。
ここではそれらの添付ソフトを目的別に紹介します。必要に応じてお使いください。

2000 Windows 2000 対応　98/95 Windows 98/95 対応　NT 4.0 Windows NT 4.0 対応

次ページ以降の添付ソフトの使用方法については、弊社ではサポートしておりません。
添付ソフトについてのお問い合わせは、【サービス品に関するお問い合わせ】(286ページ)を参照してください。

パソコンからダイレクトに FAX 送信したい

2000　98/95　NT 4.0

「まいと～く FAX 2001 Lite」※を使用すれば、パソコン上で作成した文章やイラストを、プリントアウトせずに、簡単＆ダイレクトに相手の FAX に送信できます。

FAX 番号を登録しておけば、一斉送信もOK。プリントアウトしないので、とてもきれいに送信できます。

※インストール方法、その他詳細は、「まいと～く FAX 2001 Lite」 CD-ROM 内のオンラインマニュアルおよびヘルプを参照してください。

注意

1. FAXの通信制御手順(モデムクラス)は[class1][ECMを使用]にチェックを付けて使用してください。
《手順》
①[スタート]⇒[プログラム]⇒[まいと～く FAX 2001]⇒[バーチャルデスクトップ]を順にクリックします。
②[FAXモデム]画面で、[使用するモデム]に[I-O DATA PCDC-96P]を、[使用する回線]に[デジタル携帯電話回線] を設定し、[モデムのプロパティ]ボタンをクリックします。
③[バーチャルデスクトップ]画面で、[いいえ]をクリックします。
④[モデムのプロパティ]画面で[class1][ECMを使用]をチェックします。
2. 「まいと～くFAX 2001 Lite」のサポートは株式会社インターコムで行っております。
詳細は、「まいと～くFAX 2001 Lite」パッケージを参照してください。

10 円メールを使いたい

98/95

添付の「10 円メールマスター」※を使用すれば、NTT ドコモのデジタル携帯電話を使用して、通話料金 10 円でメールの送受信ができます。

※「10 円メールマスター」のインストールは、「10 円メール」ディスク内の Setup.exe を実行してください。

詳細は、「10 円メールマスター」のヘルプ、または「お読み下さい」を参照してください。

注意

「10 円メールマスター」を利用するには、マスターネットとの契約が必要です。
詳細は、「10 円メールマスター」のヘルプ、または「お読み下さい」を参照してください。

Lotus NOTES でモバイル通信をしたい

98/95

サポートソフトディスクに入っているLotus NOTES 用のモデムファイルをご利用ください。利用方法は以下の通りです。

1 **Lotus Notes がインストールされているフォルダの notes¥data¥modems フォルダの中にご使用になるモデムコマンドファイルをコピーしてください。**

① PCDC96P.MDM （通常のデータ通信）
② PCDC96PP.MDM （パケット通信）

2 **次に、Lotus NOTES を起動し、以下のような設定を行います。**

1. [ファイル]→[ツール]→[ユーザーリファレンス...]を選択します。
2. [ポート]をクリックします。
3. 本製品が接続されているポート（例えばCOM3）を選択します。
4. 必要に応じて[ポートを有効にする]をチェックしてポートを使用可能にします。
5. [ポートオプション]をクリックします。
   ポートは、接続されているポート名です。例えば、[COM3オプション]となります。
6. モデムの種類を選択します。
   通常は 「I-O DATA PCDC96P(PDC)」を選択
   パケット通信対応電話機でPDC通信をする場合
   「I-O DATA PCDC96P(PACKET)」を選択
7. 追加するモデム設定があれば追加します。特になければ省略しても結構です。
8. [OK]ボタンをクリックします。
9. [OK]ボタンをクリックして、[ユーザーリファレンス]画面を閉じます。

※Lotus NOTES についてはロータス社にお問い合わせください。

付録3

インストールしたソフトを削除するには

本製品のサポートソフトのインストールをもう１度やり直すときは、インストールした「サポートソフト」を削除（アンインストール）してから行う必要があります。
ここでは、その削除方法（アンインストール方法）について説明します。

削除方法は使用しているOSによって異なりますので、以下の使用しているOSのページを参照ください。

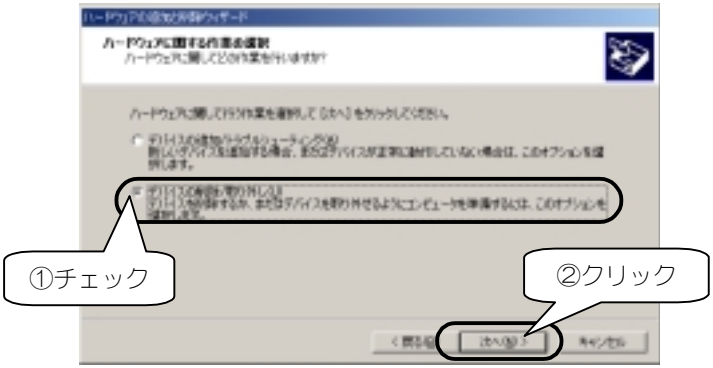
Windows 2000 で削除する場合
→【Windows 2000 での削除】（次ページ）～
Windows Me/98/95 で削除する場合
→【Windows Me/98/95 での削除】（278 ページ）～

Windows 2000 での削除

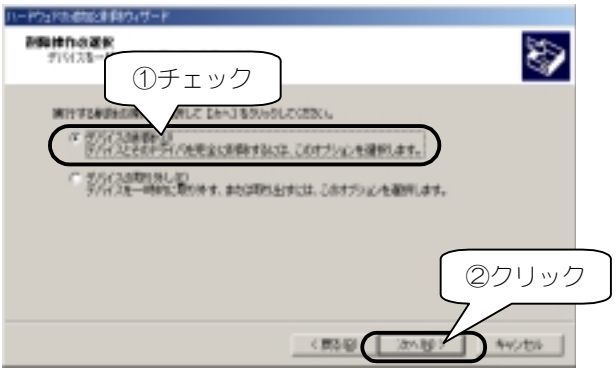
1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックし、[ハードウェアの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。

2 [ハードウェアの追加と削除ウィザードの開始]画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。

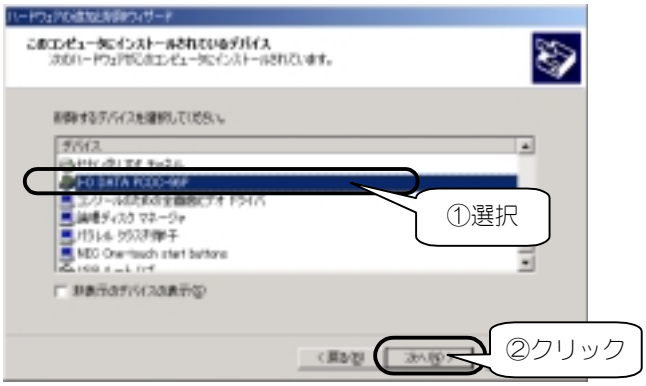
3 [デバイスの削除/取り外し]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



4 [デバイスの削除]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



5 [I-O DATA PCDC-96P]を選択し、
[次へ]ボタンをクリックします。



6 [はい、このデバイスを削除します]をチェックし、
[次へ]ボタンをクリックします。

7 [ハードウェアの追加と削除ウィザードの完了]画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。

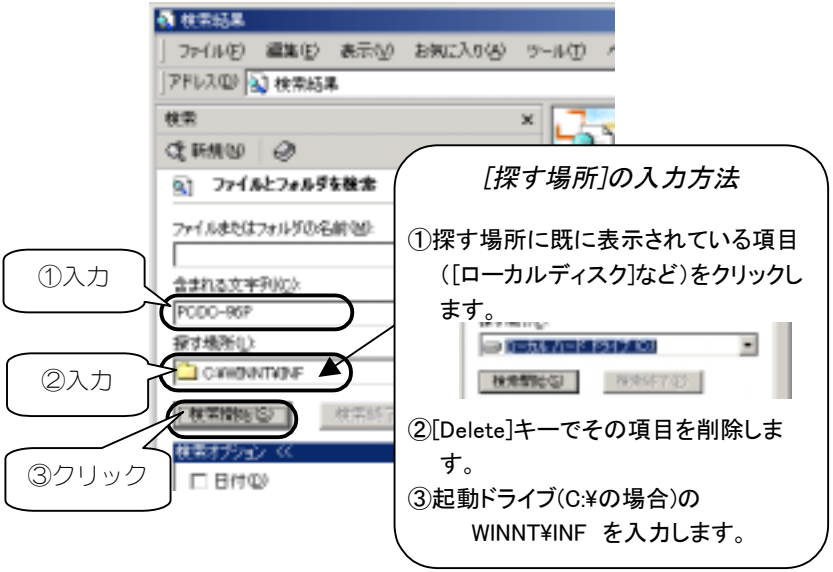
8 [スタート]→[検索]→[ファイルやフォルダ]を順にクリックします。

9 以下を入力し、[検索開始]をクリックします。

［含まれる文字列］ :　PCDC-96P

［探す場所］ :　C:¥WINNT¥INF

（Windows 2000 の起動ドライブが C:¥で、
WINNT フォルダにインストールされている場合）



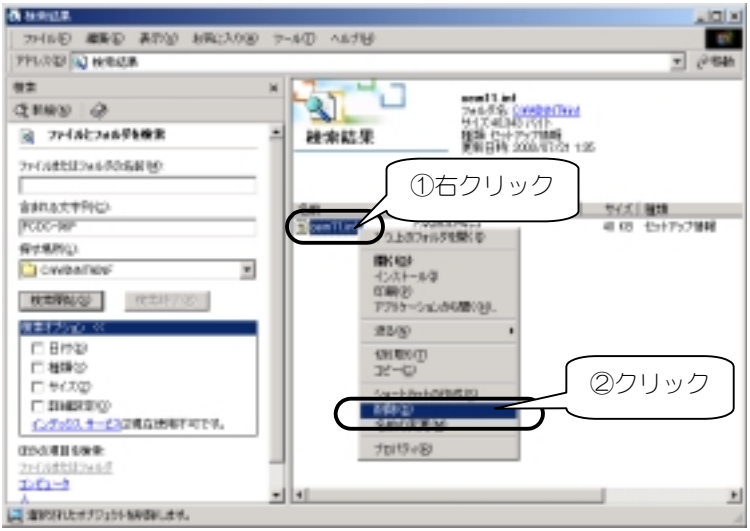
注意

・検索には、お使いのパソコンにより数分かかる場合があります。
・検索されるファイル名は、お使いのパソコンにより異なります。

10 検索後、検索されたファイルが表示されます。

※画面例ではOEM11.infが検索されていますが、ファイル名はお使いのパソコンにより異なります。

検索されたファイルを右クリックし、
表示されたメニュー内の[削除]をクリックします。



注意

検索されたファイル名は、お使いのパソコンにより異なります。（上記画面例では、OEM11.INF が検索されています。）

11 後は画面の指示に従ってください。

※本製品をパソコンから取り出す際は、削除した後にパソコンの電源を切ってから取り出してください。

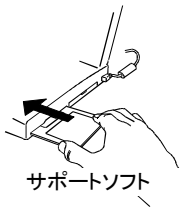
以上で、Windows 2000でのインストール情報の削除（アンインストール）は終了です。

Windows Me/98/95 での削除

1 本製品が使用中でないことを確認し、パソコンの PC カードスロットから本製品を取り出します。

【パソコンから取り出す場合】(Windows Me77ページ、Windows 98/95は133ページ)を参照して取り出します。

2 「サポートソフト」ディスクを
フロッピーディスクドライブにセットします。

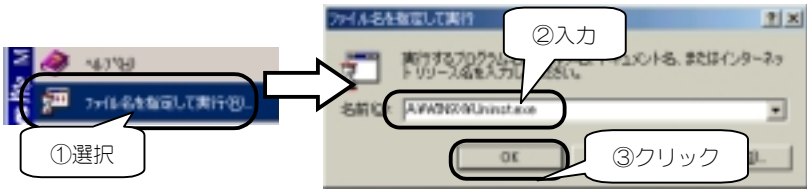


3 [スタート]→[ファイル名を指定して実行]を選び、[名前]欄に

A:¥WIN9X¥Uninst.exe

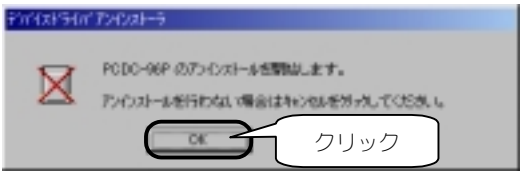
（フロッピーディスクドライブが A ドライブの場合）

と入力し、[OK]ボタンをクリックします。



（フロッピーディスクドライブが A ドライブの場合の例）

4 [OK]ボタンをクリックします。



5 [OK]ボタンをクリックします。

6 削除が完了すると、以下の画面が表示されます。
「PCDC-96P」サポートソフトディスクをフロッピーディスクドライブから抜き、[はい]ボタンをクリックしてください。

以上で、Windows Me/98/95でのインストール情報の削除（アンインストール）は終了です。

付録4

仕　様

■ PDC部

通信回線	1回線
適用回線	移動電話回線（デジタルPDC方式）／ 移動パケット通信網
制御コマンド	ATコマンド準拠
回線接続方式	16芯プラグ

■ データモデム部

通信方式		全二重	
同期方式		調歩同期式（非同期）	
通信速度	データ	9600/7200/4800/2400/1200/300bps	
	パケット	28800/9600bps	
通信規格	データ	ITU-T: Bell:	V.32bis/V.32/V.22bis/V.21 212A/103
送出レベル		−12～−15dBm	
エラー訂正機能		MNP：Class2/3/4、ITU-T：V.42(LAPM)	
データ圧縮伸張機能		MNP：Class5、ITU-T：V.42bis	
移動体通信機能		MNP：Class10	

■ FAXモデム部

通信方式	半二重
同期方式	調歩同期式（非同期）
通信速度	9600/7200/4800/2400/1200/300bps
通信規格	ITU-T：V.29/V.27ter/V.21channel2
通信制御手順	G3/EIA class 1

■ 一般仕様

端末インターフェイス	PCカード規格準拠
端末通信速度	38400/19200/9600/4800/2400/1200/300bps
供給電圧	+5.0V(±5%)または+3.3V(±0.3V)
消費電流	40mA(max)
使用温度湿度範囲	温度:0～40℃(パソコンの動作温度範囲であること) 湿度:35～90%(ただし、結露なきこと)
外形寸法	54.0(W)×85.6(D)×5.0(H)mm PC CARD規格TYPE Ⅱ準拠
質量	約27g
認定番号	A99-0201JP

付録5

用語解説

bps(ビーピーエス) (*Bit per Second*)

データ通信速度の単位です。1 秒間に送受信できるビット数を表します。
例）9600bps は 1 秒間に 9600bit の情報（データ）を送受信します。

COM ポート(コムポート)

Windows ではシリアルインターフェイスを COM ポートと呼びます。

ITU-T(アイティーユー・ティー)

ITU(国際通信連合)の付属機関である国際電信電話諮問委員会(旧 CCITT)を指します。
国際通信に関する審議と勧告を行います。

MNP(エムエヌピー)

MNP は米国マイクロコム社が開発したモデム間通信規格です。PCDC-96P は MNP クラス 2,3,4,5,10 を搭載しています。

MNP クラス 2:データが正しく送受信されたことを確認するためのプロトコルです。送信された文字を受信側から送信側に送り返すことで，送ったデータが途中で破損していないかどうかを確認できます。全二重通信が可能なモデムならいずれも実装が可能です。

MNP クラス 3:MNP2 を改良し，同期型で処理できるようにしたものです。これにより，データ転送のオーバーヘッドを削減できるようになりました。

MNP クラス 4:エラー訂正のための規格です。通信中のエラーを訂正することによって高品質な通信を行うことができます。

MNP クラス 5:データ圧縮のための規格です。最大 200%のデータ圧縮を行うことによって実質的な通信速度を最大 2 倍に向上させることができます。データ圧縮を行う場合は端末速度(パソコンとモデム間の通信速度)を回線速度(自分と相手のモデム間の通信速度)の 2～3 倍に設定し

ておくと効率よく通信できるようになります。

MNP クラス 10:移動体通信の場合など、回線状態が悪い場合に有効なプロトコルです。
通信中のエラー発生率に合わせてその都度最適な通信速度や転送データサイズを自動選択します。

いずれの場合も相手が同じ規格を装備している場合のみ有効です。

PDC(ピーディーシー) (*Personal Digital Cellular*)

デジタル携帯電話に関する日本国内の通信方式です。
TDMA 方式という時分割多重接続を採用。これに対し、cdmnaOne では CDMA 方式という符合分割多重接続を採用しています。

PPP(ピーピーピー) (*Point-to-Point Protocol*)

同期および非同期式のポイント・ツー・ポイント・シリアルリンク回線方式に関するパケット通信規約です。
不特定多数の人が、たまにしか利用しない場合に、IP アドレスを一義的に割り当てるのは不経済なため、PPP では利用時に一時的に割り当てる方式をとります。
ダイヤルアップネットワークのための IP 接続用の通信規約で、ファイルやデータの転送が可能です。

TCP/IP(ティーシーピーアイピー) (*Transmission Control Protocol/Internet Protocol*)

Advanced Research Projects Agency(ARPA)によって開発されたプロトコル(＝通信規約)一式です。
主にネットワーク層プロトコル(IP)と、トランスポートプロトコル(TCP)を含みます。
インターネットでは一般的に使われています。

V.42(ブイヨンジュウニ)

ITU-T(旧 CCITT)で規定されたモデムのエラー訂正・データ圧縮の規格です。

- V.42:エラー訂正の規格で、MNP と LAP-M という 2 つの規格がありますが、通常 V.42 というと LAP-M 規格をさします。
- V.42bis:データ圧縮のための規格で、最大 400%のデータ圧縮を行うことによって実質的な通信速度を最大 4 倍に向上させることができます。データ圧縮を行う場合は端末速度(パソコンとモデム間の通信速度)を回線速度(自分と相手のモデム間の通信速度)の 2～4 倍に設定しておくと効率よく通信できるようになります。

いずれの場合も相手が同じ規格を装備している場合のみ有効です。

アクセスポイント

プロバイダが設けたインターネット接続用の電話番号。
アクセスポイントにはインターネットに通じるサーバが接続され、ダイヤルアップ接続してきたユーザーをインターネットに接続します。

キャリア

「コモンキャリア」と呼ばれる自前の通信設備(特に回線網)を所有している通信事業者(第一種電気通信事業者)のこと。日本では NTT、KDDI、日本テレコムなどがこれにあたります。

ダイヤルアップ

電話回線などの公衆網を利用して、インターネットに接続できる通信業者(プロバイダ)に接続することです。

プロトコル

通信規約のことです。コンピュータ同士が相互で通信を行うための様々な取り決め(通信速度や通信方式、エラーチェックの方法、データの形式など)です。
インターネットでは、TCP/IP プロトコルを使用します。

プロバイダ

(インターネット)プロバイダとは、インターネットへの接続サービスを行っている接続業者のことです。インターネットを利用するためには、利用者もしくは所属する組織が各種学術研究ネットワークに加入するか、インターネットプロバイダと呼ばれる接続業者に加入する必要があります。

PLANT コールセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及び FAX 番号
2. ご使用の弊社製品名と、ハードウェアシリアル No.
3. ご使用のパソコン本体と電話機の機種。
4. ご使用の OS とアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■オンライン

インターネット　http://www.iodata.co.jp/support/
「PLANT コールセンターお問い合わせ」内のフォームを使用して、E-Mail をお送りください。

■郵便

〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
PLANT コールセンター「PCDC-96P」係宛

■電話

電話番号　金沢　076-260-3644
東京　03-3254-1144
受付時間　9:30～19:00　月～金曜日(祝祭日を除く)

■FAX

FAX 番号　金沢　076-260-3360
東京　03-3254-9055
宛先　株式会社アイ・オー・データ機器
PLANT コールセンター「PCDC-96P」係　宛

本製品に関するお問い合わせは、PLANT コールセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

サービス品に関するお問い合わせ

サービス品（添付ソフト）に関しては、以下へお問い合わせください。
※サービス品に付き、弊社ではサポート致しておりません。

「まいと～く FAX 2001 Lite」に関するお問い合わせ

住所　〒110-8654　東京都台東区北上野　1－10－14
住友上野ビル5号館2階
株式会社インターコム
『まいと～く』サポート係　宛

電話番号　03-3842-6017　（サポート専用）

FAX 番号　03-3842-6012

E-mail　myfax@intercom.co.jp

受付時間　9:00～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日、年末年始を除く）

サポートソフトのバージョンアップ

「サポートソフト」がバージョンアップした場合は、以下の方法で入手できます。

■オンライン

インターネット　　http://www.iodata.co.jp/　→「サポートライブラリ」

■サービス窓口からの郵送

以下の窓口までお問い合わせください。（**送料および手数料はお客様負担**）

住所　　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「PCDC-96P」サービス窓口　宛
電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

■ご注意

・インターネットによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。

ユーザー登録

以下の手順でユーザー登録を行うことができます。

1 添付のVerシールを、ユーザー登録カード、設定ユーティリティディスクの「Verシール」と書かれている欄、本書の巻末に貼ってください。

2 添付のハードウェアシリアルNo.シールを、ユーザー登録カード、ハードウェア保証書に貼ってください。

3 ●オンライン登録する場合*(インターネット http://www.iodata.co.jp/regist)*

インターネットに接続できる環境をお持ちの場合はこちらでユーザー登録を行ってください。

上記のアドレスにある[オンラインユーザー登録]のフォームにて、ユーザー登録を行ってください。

オンライン・ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

●ハガキで登録する場合

ユーザー登録カードに、必要な事項をご記入のうえ、弊社まで必ずご返送ください。

注意

ユーザー登録カードによる登録の場合、必要事項のご記入もれや必要なシールの貼り忘れがあった場合は、ユーザー登録できません。必ずご確認ください。

保証について

■保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。
弊社が販売終了を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

- ・本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。
- ・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
- ・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

修理について

弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼いただくか、または下記「修理品送付先」までお送りくださいます様、お願い致します。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
- 修理品にはご使用の環境や現在の状態(『PLANT コールセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」)をお書き添えください。
- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合
- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化(一体化)されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

■修理品送付先

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町2丁目84番地　アイ･オー･データ第2ビル
株式会社アイ･オー･データ機器
「PCDC-96P」修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱･梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、***宅配便***または***書留郵便小包***でのご送付をお願いいたします。

■修理品納期問い合わせについて

受付窓口 「PCDC-96P」サービス窓口
電話番号 本社　076-260-3663
受付時間 9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日(祝祭日を除く)

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、上記までお問い合わせください。

PCDC-96P 取扱説明書
2001.Jul.12 74127-02
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2000-2001 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

ここにＶｅｒシールをお貼りください

Ｖｅｒシール